

平成20年2月22日  
消 防 庁

## 「平成19年版 救急・救助の現況」

総務省消防庁では、全国の救急業務及び救助業務の実施状況等について、調査を例年実施しております。今般、「平成19年版 救急・救助の現況」を取りまとめましたので、公表いたします。

### 【連絡先】

(救急編) 消防庁救急企画室救急企画係

担当：荒木救急専門官、小坂橋係長

電話：03 - 5253 - 7529 (直通)

Fax：03 - 5253 - 7539

(救助編) 消防庁国民保護・防災部参事官付救助係

担当：坂野参事官補佐、皆川係長

電話：03 - 5253 - 7507 (直通)

Fax：03 - 5253 - 7576

(航空編) 消防庁国民保護・防災部防災課応急対策室航空係

担当：大塚航空専門官、山本係長

電話：03 - 5253 - 7527 (直通)

Fax：03 - 5253 - 7537

平成19年版

# 救急・救助の現況

総務省消防庁

## はじめに

消防機関の行う救急業務は、昭和 38 年に法制化されて以来、我が国の社会経済活動の進展に伴って年々その体制が整備され、現在、国民の生命・身体を守る上で不可欠な業務として定着している。一方、救急出場件数及び救急搬送人員は、今回、初めて微減となり、その数値はそれぞれ救急出場件数 524 万 478 件(3 万 9,950 件減)、救急搬送人員 489 万 5,328 人(6 万 3,035 人減)となったが、長期的にはいまだ増加傾向にある。こうした需給均衡の悪化につれて現場到着平均時間も遅延傾向にあり、平成 18 年においては 6.6 分であり、この傾向が続いた場合、救命率の低下等が懸念されるところである。

このような状況の中、消防庁では、より質の高い救急業務を実施するため、引き続き、救急業務の高度化や、救急需要対策などに取り組んでいる。救急業務の高度化については、救急救命士の処置範囲の拡大について、平成 15 年 4 月から医師の包括的指示下での除細動、平成 16 年 7 月から医師の具体的指示下での気管挿管、平成 18 年 4 月からは医師の具体的指示下における薬剤(アドレナリン)投与が開始されるなど、近年大きな発展をみている。また、平成 16 年 7 月に非医療従事者による自動体外式除細動器(AED)の使用が認められたことを受け、救急隊員、一般消防職員による自動体外式除細動器(AED)の使用に係る実施体制の整備も順次進められ、救命率の向上に寄与している。

救急需要対策に関しては、トリアージシステムの検討や民間患者搬送事業者の活用などを通じ、消防救急体制を効果的かつ効率的に運用する方策について検討会を設け、検討を重ねている。

また、傷病者に対する救命効果の向上のためには、現場に居合わせた人(バイスタンダー)による応急手当が重要であることから、消防庁においては、国際的な応急手当のガイドラインに基づいて、より効果的な応急手当の方法を取り入れつつ、住民に対する応急手当の普及啓発活動を推進している。消防機関による応急手当講習の受講者は、平成 18 年中に約 150 万人となるなど、消防機関は住民に対する応急手当普及啓発の代表的機関となっている。

今後とも国民の救急業務に対する期待と信頼に的確に応えるため、消防庁としても、更なる救急業務の高度化を総合的・計画的に推進していくこととしている。

救助活動体制については、平成 19 年 4 月 1 日現在、全国の消防本部の 96.8%に当たる 781 本部に配置され、平成 18 年中の救助活動件数は 5 万 3,619 件、救助人員は 5 万 6,728 人に達している。

また、救助器具の充実を図るため、「救助隊の編成、装備及び配置の基準を定める省令(昭和 61 年自治省令第 22 号)」を改正し(平成 19 年 10 月 1 日施行)、一般の救助隊も簡易画像探索機を地域の実情に応じて装備することとし、震災対策用資機材の充実を図った。さらに、流水域の救助活動が、より安全で確実・迅速に実施されるよう流水救助器具一式(流水用救命胴衣(PFD)、水難救助用ヘルメット、スローバック等)を、地域の実情に応じて装備するこ

とした。

航空消防防災体制については、45 都道府県域に 70 機の消防防災ヘリコプターが配備されている。消防防災ヘリコプターは、消防防災業務に幅広く活用され、出動件数は増加傾向にあり、平成 18 年中の出動実績は、火災出動 1,073 件、救助出動 1,562 件、救急出動 2,762 件、その他 209 件で、総出動件数は 5,606 件となっている。特に、救急出動が年々増加しており、総出動件数の約半数（49.1%）を占めるに至っている。消防防災ヘリコプターは、山間部、離島等における救急活動等に極めて有効であることから、今後とも、計画的な整備、積極的な活用と安全かつ効果的な運航を推進していくこととしている。

国際消防救助隊については、昭和 61 年 4 月の発足から平成 17 年 10 月のパキスタン・イスラム共和国地震災害の派遣まで、計 15 回の海外派遣実績を有しており、その高度な知識及び技術を用いた救助活動に対しては、被災国より高い評価が寄せられている。消防庁では、現在 62 消防本部、599 人の隊員を登録し、被災国からの要請に応じ、速やかに国際消防救助隊を現地に派遣することができるよう体制の充実強化を図っている。

これらの救急・救助をとりまく状況の中、本書においては、平成 19 年 4 月 1 日現在において消防本部・署を設置し、救急・救助業務を実施している市町村の状況及び平成 18 年中の業務の実態について調査し、平成 19 年 9 月にその速報値として公表したものを精査し、確定報告として取りまとめたものである。本書が広く関係者に利用され、救急・救助に対する理解を深める一助となることを願うものである。

平成 20 年 2 月

# 目 次

はじめに

## I 救 急 編

第1 救急業務実施体制の現状	5
1 消防本部	5
2 救急業務実施市町村	5
(1) 概 要	5
(2) 実施率、実施形態	6
3 救急隊、救急隊員、救急自動車等	7
(1) 救急隊	7
(2) 救急隊員	7
(3) 救急自動車	12
4 交通事故に対する救急体制	14
5 高速自動車国道、瀬戸中央自動車道、神戸淡路鳴戸自動車道における救急業務	14
6 救急業務の実施体制のない地域における補完体制	17
第2 救急業務の実施状況	18
1 救急出場件数及び搬送人員	18
2 救急自動車による事故種別出場件数及び搬送人員	20
3 救急自動車による医療機関別搬送人員の状況	29
4 救急自動車による傷病程度別搬送人員の状況	32
5 救急自動車による急病に係る搬送人員の状況	34
6 救急自動車による現場到着所要時間別出場件数及び収容所要時間別搬送人員の状況	37
(1) 救急自動車による現場到着所要時間別出場件数の状況	37
(2) 救急自動車による収容所要時間別搬送人員の状況	38
7 救急自動車による転送の状況	39
8 救急自動車による覚知時刻別搬送人員の状況	40
9 医師の現場出場の状況	40
10 救急隊員の行った応急処置等の状況	41
11 応急手当の普及啓発活動等の状況及び応急手当の救命効果	45
(1) 応急手当の普及啓発活動等の状況	45
(2) 応急手当の救命効果	46
第3 救急医療体制等	49
1 救急医療機関	49
2 メディカルコントロール体制の構築と救急救命処置範囲の拡大について	49
別表1 救急業務実施市町村数	52
別表2 救急業務実施市町村人口	53

別表3の1	都道府県別救急体制	54
別表3の2	資格別救急隊員数調	55
別表4	救急自動車による都道府県別事故種別救急出場件数	56
別表5	救急自動車による都道府県別事故種別救急搬送人員	58
別表6	医療機関別搬送人員の状況	60
別表7の1	現場到着所要時間別出場件数の状況	62
別表7の1	同(構成比)	63
別表8の1	収容所要時間別搬送人員の状況	64
別表8の2	同(構成比)	65
別表9	覚知時刻別事故種別搬送人員の状況	66
別表10	応急手当普及啓発活動状況	67
別表11	応急手当指導員養成状況	68
別表12	都道府県別経営主体別救急病院及び診療所告示状況一覧表	69

## II 救 助 編

第1	救助活動体制の現状	75
1	救助隊の範囲	75
2	救助隊の設置状況	75
3	救助隊及び救助隊員	79
第2	救助活動の状況	81
1	救助活動の範囲	81
2	救助活動状況の概要	82
3	事故種別救助活動状況	82
4	救助出動人員及び救助活動人員	84
5	火災以外の事故時における出動車両等	85
第3	機械器具等の保有状況	87
1	救助活動のための車両	87
2	救助活動のための機械器具等	88
第4	救助隊員の教育訓練の実施状況	90
第5	国際消防救助隊の活躍	91
別表1	都道府県別救助体制	93
別表2	都道府県別救助隊数、救助隊員数	95
別表3	都道府県別事故種別救助出動件数	96
別表4	都道府県別事故種別救助活動件数	97
別表5	都道府県別事故種別救助人員	98
別表6	都道府県別事故種別救助出動人員	99
別表7	都道府県別事故種別救助活動人員	101
別表8	救助活動のための主な資機材の保有状況(省令別表第1)	103
別表9	救助活動のための主な資機材の保有状況(省令別表第2)	104
別表10	救助活動のための主な資機材の保有状況	

〔省令別表第1(地域の実情に応じ備えるもの)〕	105
別表1 1 救助活動のための主な資機材の保有状況	
(省令別表第3)	106
別表1 2 救助活動に使用する車両等台数	107

### III 航空編

ヘリコプターによる救急・救助業務	111
1 消防防災ヘリコプターの保有状況	111
2 消防防災ヘリコプターの災害活動状況	112
3 消防防災ヘリコプターによる救急業務実施状況	113
(1) 救急出動件数	113
(2) 事故種別救急出動件数	114
4 消防防災ヘリコプターによる救助業務実施状況	115
(1) 救助出動件数	115
(2) 事故種別救助出動件数	115

# I 救 急 編



◎ 平成19年4月1日現在の救急業務実施体制

○ 消防本部数	807 本部
	(単独 487本部、組合 320本部)
○ 救急業務実施市町村数	1,769 市町村
	(783市、817町、169村)
・ 救急隊数	4,846 隊
・ 救急隊員数	59,216 人
・ 救急自動車数	5,875 台
○ 救急業務未実施町村数	36 町村

(注) 東京都特別区は全体を1市として計上している。以下同じ。

◎ 平成18年中の救急業務実施状況

○ 救急出場件数	
(ヘリコプターによる出場を含む。)	524万 478 件
○ 搬送人員	
(ヘリコプターによる搬送を含む。)	489万5,328 人
○ 交通事故による救急出場件数	61万8,723 件
○ 交通事故による搬送人員	65万6,222 人
参 考(警察庁交通事故統計)	
・ 全国の交通事故件数	88万6,864 件
・ 交通事故による死者	6,352 人
・ 交通事故による負傷者	109万8,199 人

## 第1 救急業務実施体制の現状

### 1 消防本部

消防本部数は平成19年4月1日現在807本部で、全ての消防本部において救急業務が実施されている。

第1表 消防本部数の推移

区分\年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年
単 独	425	422	427	463	482	487
組 合	475	472	459	385	329	320
計	900	894	886	848	811	807

(注) 各年とも4月1日現在の数値である。

### 2 救急業務実施市町村

#### (1) 概要

市町村合併の進展により全市町村数が大幅に減少したことなどに伴い、消防本部・署を設置して救急業務を実施している市町村及びこれらの市町村に委託して救急業務を実施している市町村(以下「救急業務実施市町村」という。)は、平成19年4月1日現在1,769市町村(783市、817町、169村)と、前年に比較し15市町村減少しているが、全国の1,805市町村のうち98.0%において救急業務が実施されている。(別表1参照)

第2表 救急業務実施市町村数の推移

区分\年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年
実施市町村数	3,162	3,136	3,048	2,352	1,784	1,769
対前年増減数	▲8	▲26	▲88	▲696	▲568	▲15
対前年増減率(%)	▲0.3	▲0.8	▲2.8	▲22.8	▲24.1	▲0.8

(注) 実施市町村数は各年とも4月1日現在の数値である。

(2) 実施形態

救急業務実施市町村の中には人口規模、事故の発生状況、地域の地理的条件等から市町村ごとに単独で実施するよりも複数市町村が共同で実施した方がより効果的であるとの理由で、事務委託又は一部事務組合(広域連合を含む。以下同じ。)による広域的共同処理方式により実施している市町村が多い。救急業務を実施している 1,769 市町村のうち、事務委託方式による市町村が 134 市町村(7.6%)、一部事務組合方式による市町村が 1,148 市町村(64.9%)となっており、広域的共同処理方式によるものが、全体の 72.5%を占めている。(別表 1 参照)

第 3 表 救急業務実施状況の推移

	平成 14年	平成 15年	平成 16年	平成 17年	平成 18年	平成 19年
全市町村数	3,219	3,191	3,101	2,396	1,821	1,805
救急業務 実施市町村	3,162 (98.2)	3,136 (98.3)	3,048 (98.3)	2,352 (98.2)	1,784 (98.0)	1,769 (98.0)
うち 事務委託方式	208	209	202	169	132	134
うち 一部事務組合方式	2,529	2,505	2,419	1,719	1,170	1,148
救急業務 未実施市町村	57	55	53	44	37	36

- (注) 1 各年とも 4 月 1 日現在の数値である。  
 2 ( )内の数値は割合(単位%)を示す。  
 3 東京都特別区は 1 市として計上している。

### 3 救急隊、救急隊員、救急自動車等

#### (1) 救急隊

救急隊は、平成19年4月1日現在、救急業務を実施している1,769市町村に4,846隊設置されており、前年の4,779隊に比べて67隊(1.4%)増加している。(第4表参照)

このうち救急救命士運用隊数は、4,181隊であり、前年の3,939隊に比べて242隊(6.1%)増加している。救急救命士運用隊の割合は、全救急隊の86.3%(前年比3.9%増)を示し、着実に増加しつつある。

(第7の1表、第7の2図及び第7の3表参照)

**第4表 救急隊数の推移**

年 区分	平成 14年	平成 15年	平成 16年	平成 17年	平成 18年	平成 19年
救急隊数	4,596	4,649	4,711	4,751	4,779	4,846
対前年 増減数	33	53	62	40	28	67
対前年 増減率(%)	0.7	1.2	1.3	0.8	0.6	1.4

(注) 各年とも4月1日現在の数値である。

#### (2) 救急隊員

救急隊員数は平成19年4月1日現在、全国で5万9,216人(うち、女性隊員は613人(1.0%))で、前年の5万8,510人に比べて706人(1.2%)増加している。救急隊員のうち救急業務のみに専従している専任隊員は1万9,685人(33.2%)で、このうち女性は473人、一方、救急業務以外の消防業務を兼務している兼任隊員は、3万9,531人(66.8%)で、このうち女性は140人となっている。(第5の1表、第6図及び別表3参照)

また、消防職員のうち、救急隊員としての資格を有している職員は、平成19年4月1日現在で、10万9,452人(前年10万9,057人)で、このうち女性は1,221人である。(第5の3表参照)

なお、救急隊員の行う応急処置等の範囲の拡大に対応した、救急科修了者(旧救急標準課程修了者を含む)及び旧救急Ⅱ課程修了者は、それぞれ3万3,240人(うち女性527人)、3万8,136人(うち女性171人)となっている。このうち救急隊員は、救急科修了者(旧救急標準課程修了者を含む)1万9,157人(うち女性214人)、旧救急Ⅱ課程修了者1万9,385人(うち女性57人)となっている。

平成19年4月1日現在、救急救命士の資格を有する消防職員数は、2万68人であり、このうち1万7,218人が806消防本部で救急救命士として運用されている。(第5の1表から第7の4図参照)

第5の1表 救急隊員の資格状況

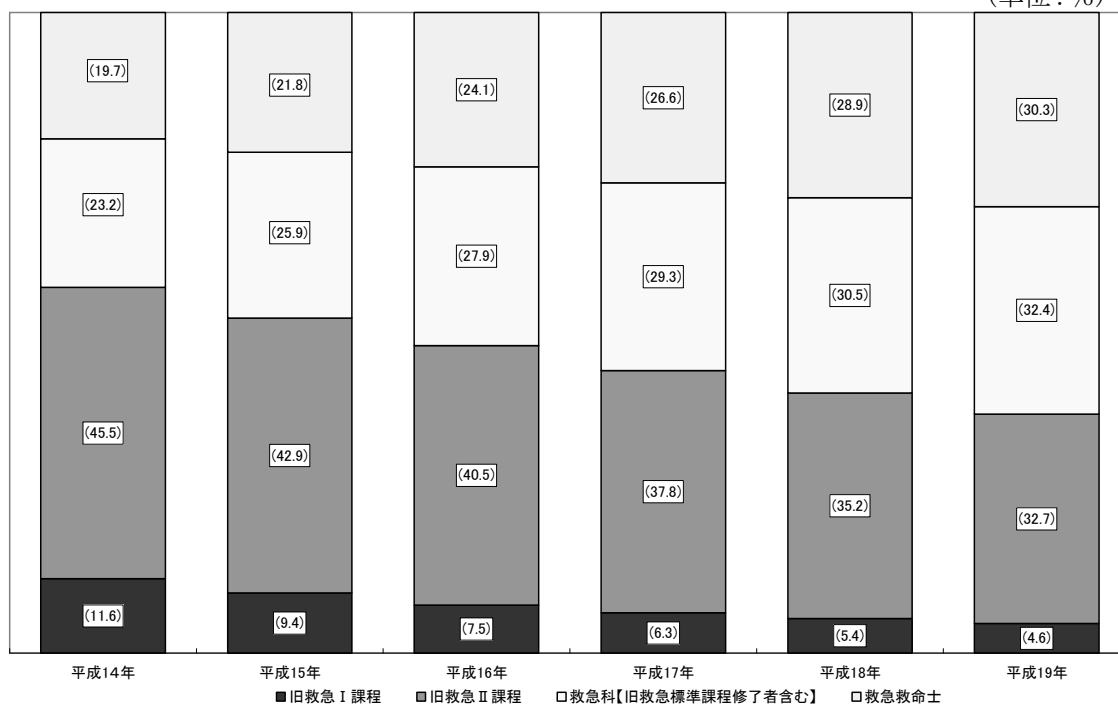
(単位:人)

区分	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成18年～19年 増減数
旧救急Ⅰ課程 (うち女性)	6,703 (1)	5,473 (4)	4,337 (6)	3,661 (6)	3,189 (2)	2,764 (0)	▲ 425 (▲ 2)
旧救急Ⅱ課程 (うち女性)	26,150 (32)	24,845 (43)	23,441 (47)	21,913 (52)	20,612 (62)	19,385 (57)	▲ 1,227 (▲ 5)
救急科【旧救急標準 課程修了者含む】 (うち女性)	13,358 (131)	14,984 (141)	16,203 (189)	16,998 (186)	17,823 (205)	19,157 (214)	1,334 (9)
救急救命士 (うち女性)	11,304 (86)	12,666 (120)	13,955 (151)	15,394 (205)	16,886 (277)	17,910 (342)	1,024 (65)
救急隊員総数 (うち女性)	57,515 (250)	57,968 (308)	57,936 (393)	57,966 (449)	58,510 (546)	59,216 (613)	706 (67)

(注) 各年とも4月1日現在の数値である。

第5の2図 救急隊員の資格状況の割合

(単位:%)



(注) 各年とも4月1日現在の割合である

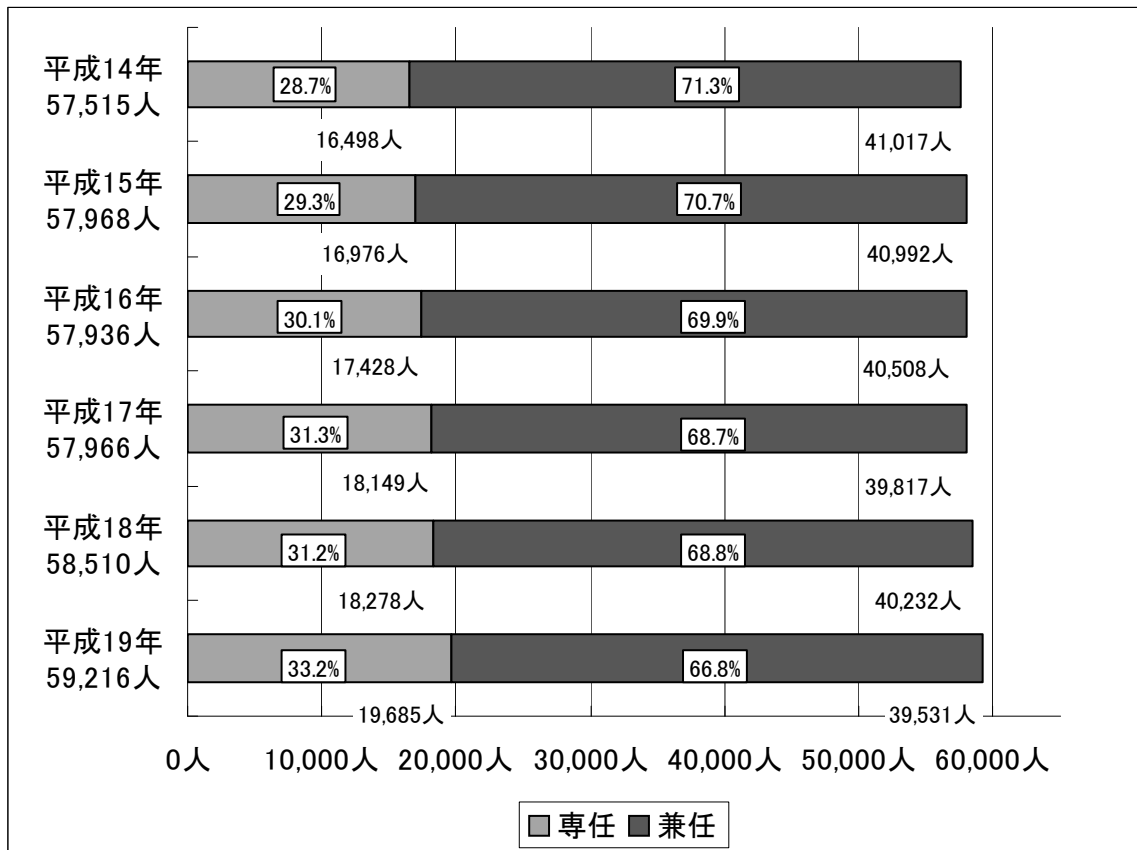
### 第5の3表 消防職員の救急資格の状況

(単位：人)

区分	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成18年～19年増減
旧救急Ⅰ課程 (うち女性)	28,382 (56)	24,958 (47)	23,137 (42)	21,134 (44)	20,926 (39)	18,008 (67)	▲ 2,918 (28)
旧救急Ⅱ課程 (うち女性)	41,308 (76)	41,085 (126)	40,545 (152)	39,894 (171)	39,418 (179)	38,136 (171)	▲ 1,282 ▲ (8)
救急科【救急標準課程 修了者を含む】 (うち女性)	19,653 (282)	22,012 (285)	24,564 (344)	26,894 (396)	29,847 (472)	33,240 (527)	3,393 (55)
救急救命士 (うち女性)	12,068 (114)	13,728 (158)	15,303 (199)	17,091 (282)	18,866 (370)	20,068 (456)	1,202 (86)
救急隊員 (うち女性)	101,411 (528)	101,783 (616)	103,549 (737)	105,013 (893)	109,057 (1060)	109,452 (1221)	395 (161)

(注) 各年とも4月1日現在の数値である。

### 第6図 救急隊員の専任・兼任状況の推移



第7の1表 都道府県別の救急救命士運用状況

(平成19年4月1日現在)

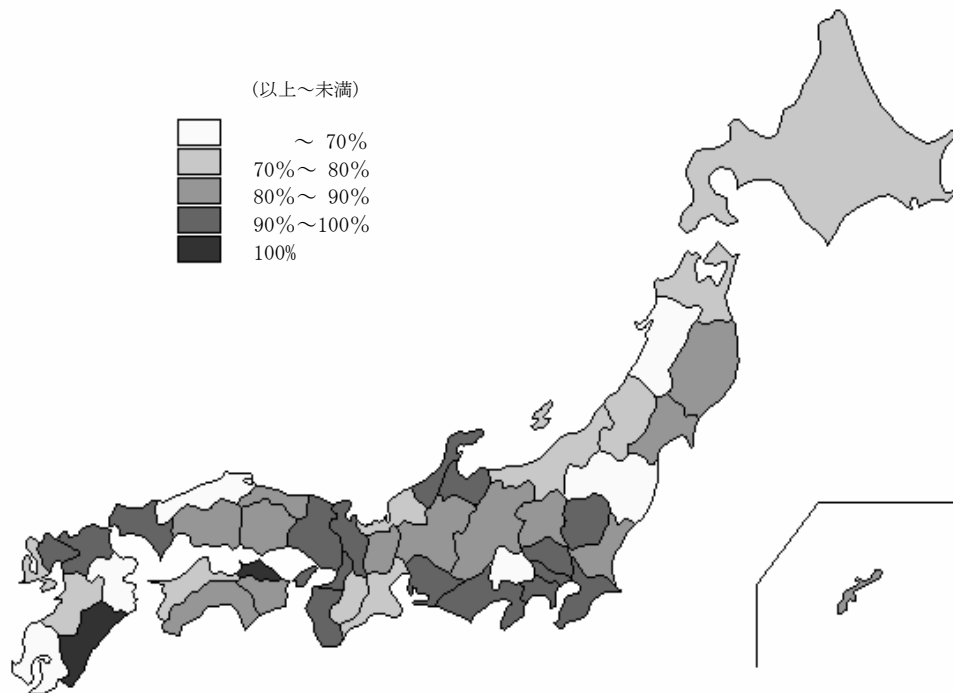
県名	救急隊					救急隊員			
	救急隊 総数 (a)	うち救命士 運用隊数 (b)	比率 (b)/(a)	うち救命士 常時運用隊 (c)	比率 (c)/(a)	総数 (a)	救命士 有資格者 (b)	うち運用 救命士 (c)	比率 (c)/(b)
北海道	308	242	78.6%	204	66.2%	4,446	1,313	1,182	90.0%
青森	87	66	75.9%	49	56.3%	1,258	250	240	96.0%
岩手	82	71	86.6%	56	68.3%	1,223	270	266	98.5%
宮城	85	74	87.1%	69	81.2%	983	303	302	99.7%
秋田	73	48	65.8%	38	52.1%	904	206	197	95.6%
山形	59	46	78.0%	36	61.0%	802	178	175	98.3%
福島	117	61	52.1%	56	47.9%	1,498	264	247	93.6%
茨城	144	123	85.4%	105	72.9%	2,285	402	381	94.8%
栃木	82	79	96.3%	79	96.3%	993	279	266	95.3%
群馬	94	80	85.1%	44	46.8%	928	250	241	96.4%
埼玉	211	200	94.8%	120	56.9%	2,141	779	777	99.7%
千葉	200	183	91.5%	159	79.5%	2,003	659	622	94.4%
東京	235	233	99.1%	233	99.1%	2,140	1,194	1,191	99.7%
神奈川	203	202	99.5%	202	99.5%	1,792	974	962	98.8%
新潟	134	102	76.1%	85	63.4%	1,684	375	359	95.7%
富山	53	50	94.3%	39	73.6%	618	206	202	98.1%
石川	47	46	97.9%	46	97.9%	657	195	187	95.9%
福井	49	38	77.6%	29	59.2%	485	153	151	98.7%
山梨	54	34	63.0%	34	63.0%	614	154	150	97.4%
長野	115	97	84.3%	67	58.3%	1,731	400	367	91.8%
岐阜	124	101	81.5%	76	61.3%	1,461	308	290	94.2%
静岡	132	119	90.2%	92	69.7%	1,492	393	377	95.9%
愛知	215	211	98.1%	211	98.1%	2,953	926	911	98.4%
三重	99	76	76.8%	49	49.5%	1,644	256	244	95.3%
滋賀	57	51	89.5%	51	89.5%	909	220	217	98.6%
京都	78	73	93.6%	70	89.7%	1,032	361	356	98.6%
大阪	203	202	99.5%	201	99.0%	2,405	1,103	1,063	96.4%
兵庫	178	175	98.3%	175	98.3%	2,129	921	906	98.4%
奈良	65	47	72.3%	43	66.2%	914	226	220	97.3%
和歌山	64	58	90.6%	47	73.4%	803	266	260	97.7%
鳥取	30	24	80.0%	21	70.0%	515	106	103	97.2%
島根	62	43	69.4%	28	45.2%	776	158	154	97.5%
岡山	96	86	89.6%	72	75.0%	1,761	283	277	97.9%
広島	126	113	89.7%	112	88.9%	1,260	541	512	94.6%
山口	69	67	97.1%	59	85.5%	993	255	250	98.0%
徳島	41	34	82.9%	26	63.4%	530	139	136	97.8%
香川	42	42	100.0%	42	100.0%	375	165	159	96.4%
愛媛	74	55	74.3%	46	62.2%	766	219	210	95.9%
高知	47	40	85.1%	40	85.1%	692	188	183	97.3%
福岡	143	135	94.4%	103	72.0%	1,548	548	496	90.5%
佐賀	42	41	97.6%	40	95.2%	582	167	155	92.8%
長崎	72	52	72.2%	44	61.1%	696	205	199	97.1%
熊本	95	73	76.8%	60	63.2%	849	246	237	96.3%
大分	61	42	68.9%	39	63.9%	634	185	176	95.1%
宮崎	38	38	100.0%	38	100.0%	500	167	152	91.0%
鹿児島	104	59	56.7%	59	56.7%	940	289	264	91.3%
沖縄	57	49	86.0%	40	70.2%	872	265	246	92.8%
合計	4,846	4,181	86.3%	3,634	75.0%	59,216	17,910	17,218	96.1%

(注) 「救命士運用隊」とは、特定行為に必要な資器材を積載する救急自動車に救急救命士の資格を持つ救急隊員が乗車し、医師からの指示体制を整えている救急隊をいう。

「救命士常時運用隊」とは、常に救急救命士が乗車している救急隊をいう。

## 第7の2図 都道府県別全救急隊のうち救急救命士運用隊の占める割合

(平成19年4月1日現在)



### 第7の3表 救急救命士の運用推移

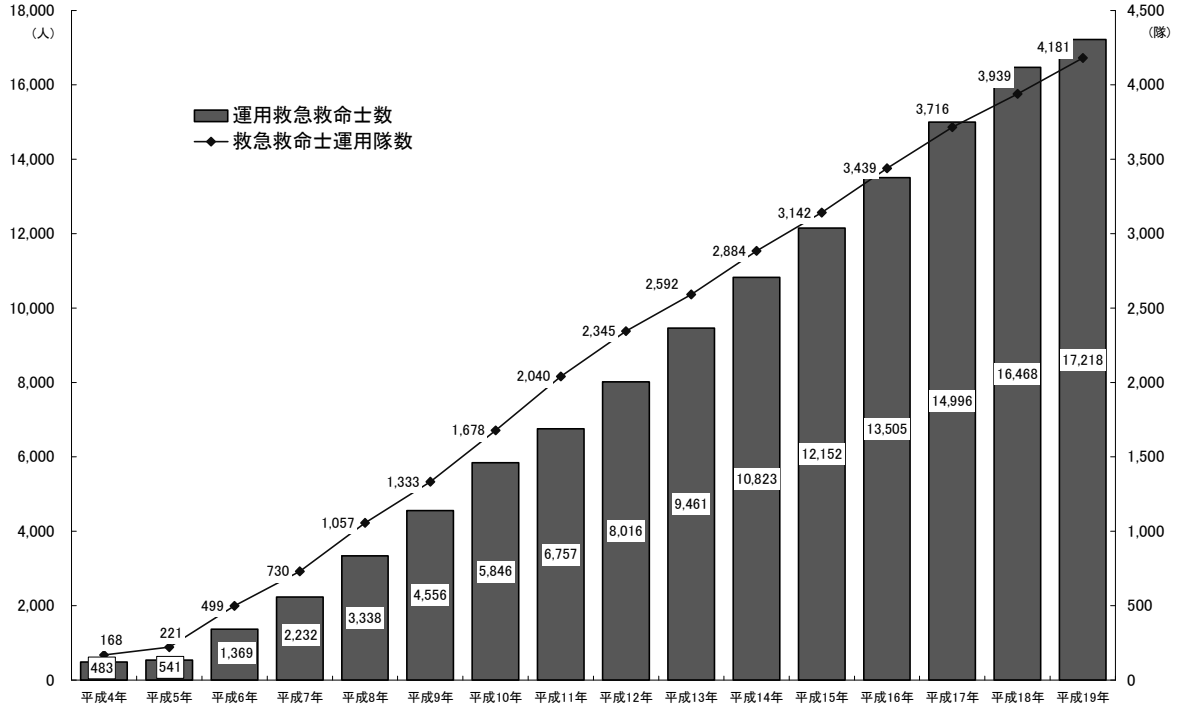
項目 年	本部数	救命士が 救急業務に 従事して いる本部数	割合 (%)	救急隊数	救命士が 救急業務に 従事して いる隊数	割合 (%)
平成10年	920	666	72.4	4,515	1,678	37.2
平成11年	911	751	82.4	4,553	2,040	44.8
平成12年	907	792	87.3	4,582	2,345	51.2
平成13年	904	842	93.1	4,563	2,592	56.8
平成14年	900	862	95.8	4,596	2,884	62.8
平成15年	894	866	96.9	4,649	3,142	67.6
平成16年	886	876	98.9	4,711	3,439	73.0
平成17年	848	843	99.4	4,751	3,716	78.2
平成18年	811	810	99.9	4,779	3,939	82.4
平成19年	807	806	99.9	4,846	4,181	86.3

(注) 各年とも4月1日現在の数値である。



## 第7の4図 運用救急救命士・救急救命士運用隊数の推移

(注) 各年とも4月1日現在の数値である。



### (3) 救急自動車

救急自動車の保有台数は非常用を含め5,875台で、前年の5,765台に比べて110台(1.9%)増加している。(第8の1表及び別表3の1参照)

また、救急自動車の保有台数のうち、高規格救急自動車の台数は、4,391台となっている。

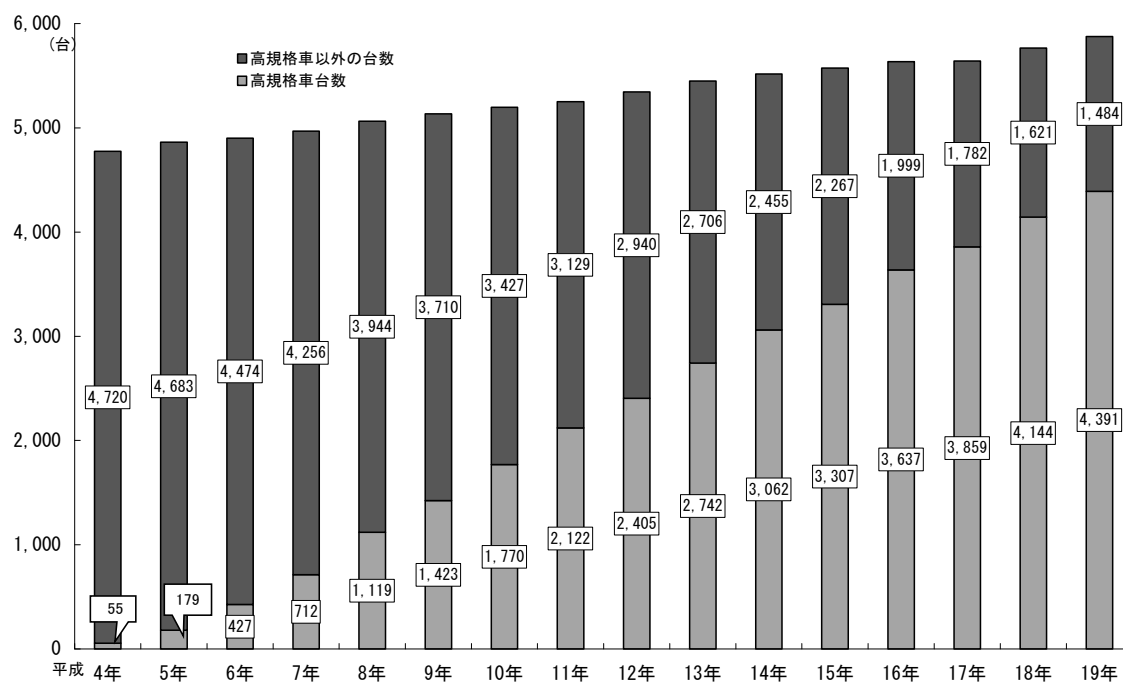
救急自動車については、交通安全対策特別交付金を含む一般財源、国庫補助金又は民間団体からの寄贈により整備を図っている。

第8の1表 救急自動車保有台数の推移

区分	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年
救急自動車数 (高規格車数)	5,197 (1,770)	5,251 (2,122)	5,345 (2,405)	5,448 (2,742)	5,517 (3,062)	5,574 (3,307)	5,636 (3,637)	5,641 (3,859)	5,765 (4,144)	5,875 (4,391)
対前年増減 (高規格車数)	70 (304)	54 (352)	94 (283)	103 (337)	69 (320)	57 (245)	62 (330)	5 (222)	124 (285)	110 (247)
対前年増減率(%) (高規格車数)	1.4 (27.2)	1.0 (19.9)	1.8 (13.3)	1.9 (14.0)	1.3 (11.7)	1.0 (8.0)	1.1 (10.0)	0.1 (6.1)	2.2 (7.4)	1.9 (6.0)

(注) 各年とも4月1日現在の数値である。

第8の2図 高規格救急車と救急自動車の推移



(注) 各年とも4月1日現在の数値である。

#### 4 交通事故に対する救急体制

消防庁の救急に関する統計の交通事故(警察庁の交通事故統計による交通事故を含んだすべての交通機関相互の衝突及び接触又は単一事故若しくは歩行者等が交通機関に接触したこと等による事故を対象)に対する救急出場件数は、平成元年からはしばらく横ばいの傾向にあり、平成11年以降に増加、平成14年からは減少傾向にある。なお、交通事故による救急出場件数は昨年より35,898件(5.5%)減少している。(第9図及び第10図参照)

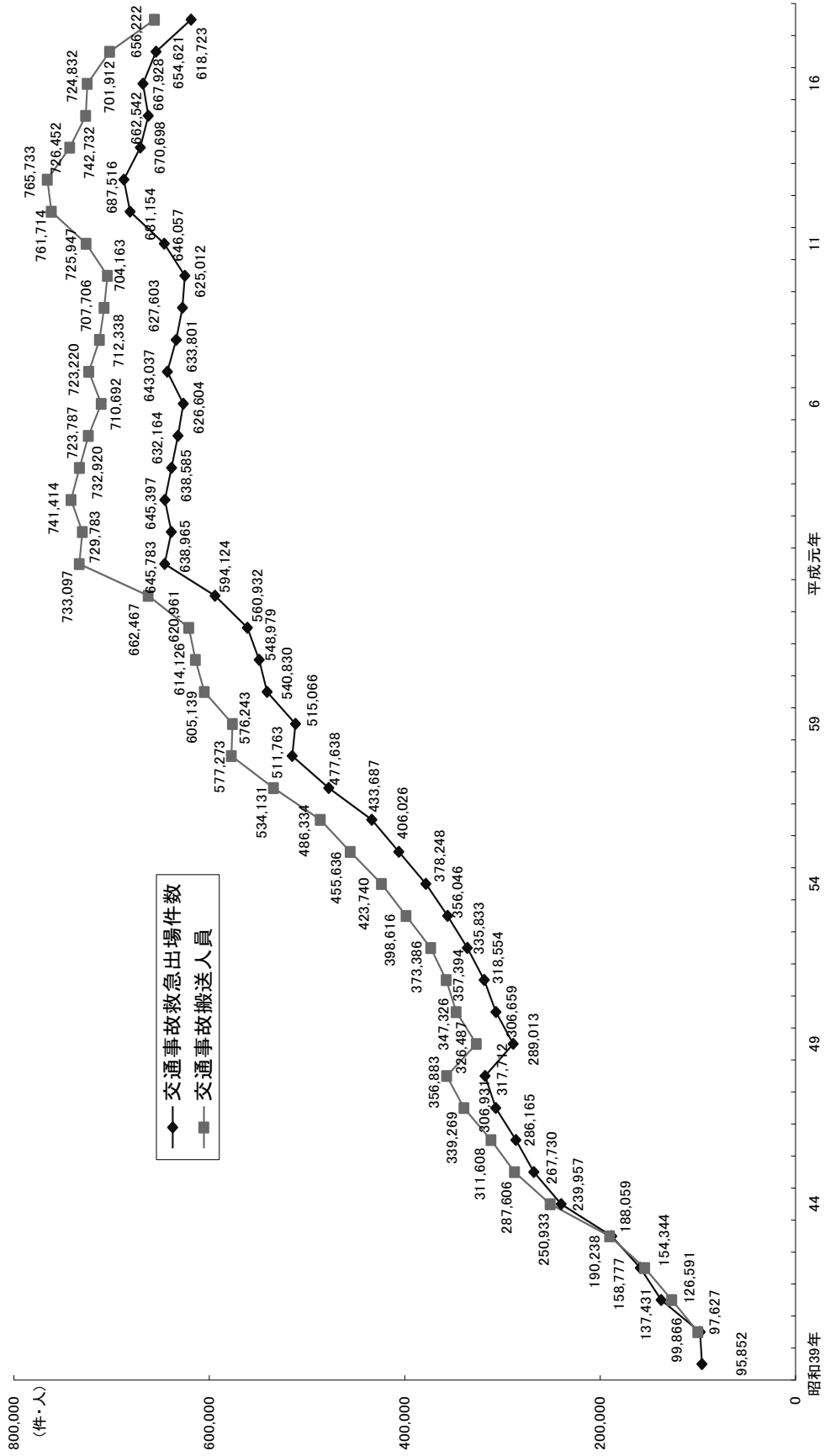
警察庁の交通事故統計による全国の交通事故発生件数(道路交通法に規定する道路において、車両等及び列車の交通によって起こされた人身事故を対象)は、昭和44年頃に急激に増加し、その後、年々減少した後、昭和53年以降再び増加の傾向を示し、平成12年からは横ばいであったが、平成17年、平成18年に減少傾向に転じている。(第10図参照)。

#### 5 高速自動車国道、瀬戸中央自動車道、神戸淡路鳴戸自動車道における救急業務

平成18年度に供用開始された高速自動車国道、瀬戸中央自動車道、神戸淡路鳴戸自動車道(以下「高速自動車国道等」という。)は、33kmである。

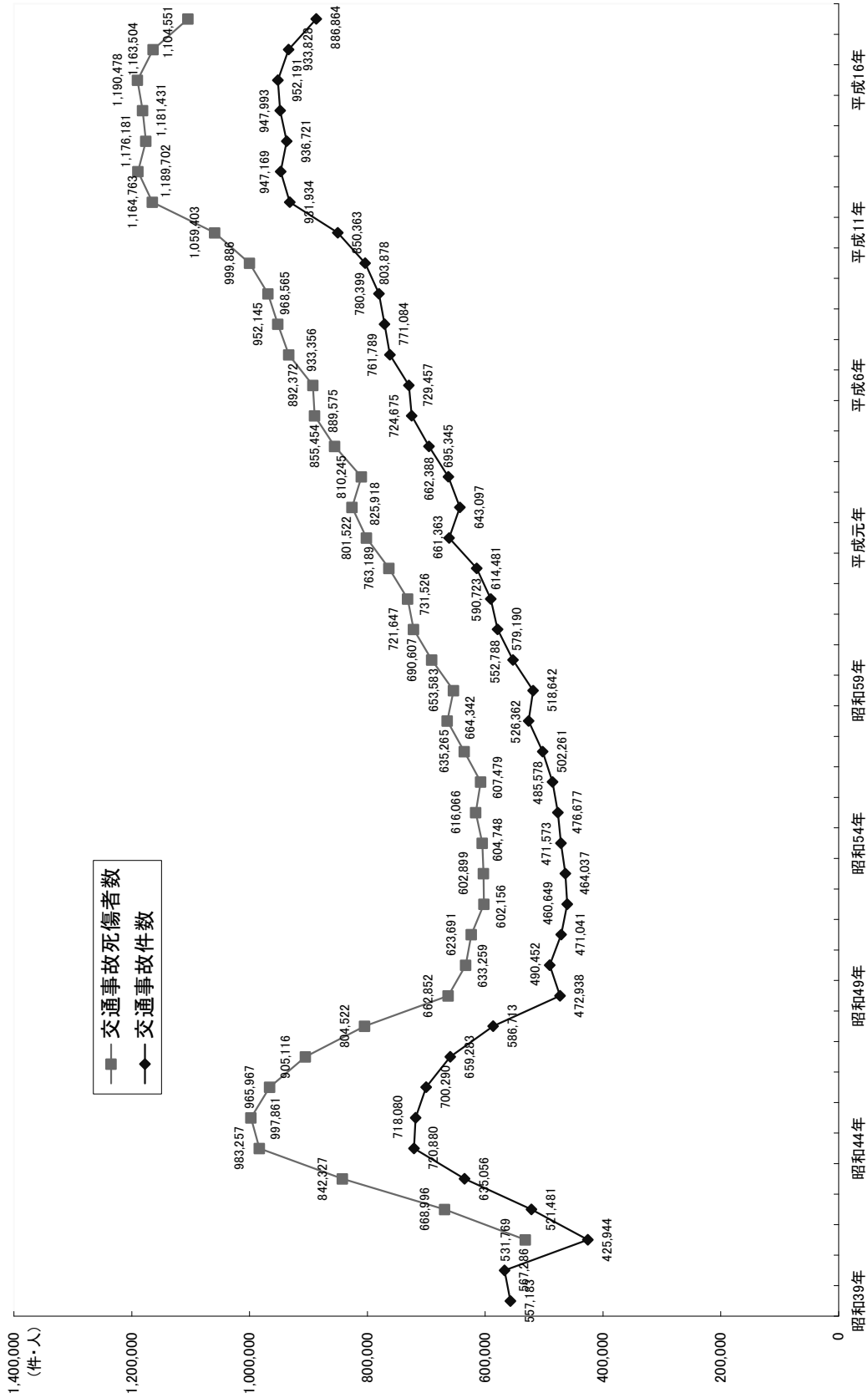
これにより、平成19年4月末現在における高速道路供用延長は、7,548kmとなり、全ての区間の救急業務を市町村の消防機関が行っている。(第11表参照)

第9図 消防の救急統計による交通事故救急出場件数及び交通事故搬送人員の推移



(注) 各年とも1月から12月までの数値である。

第10図 警察庁の交通事故統計による交通事故件数及び交通事故死傷者数の推移



(注) 各年とも1月から12月までの数値である。

**第11表 高速自動車国道等の年次別供用延長距離**

年 区 分	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年
距離(km)	7,324	7,470	7,490	7,515	7,548

(注)平成13年から平成15年については4月1日現在、平成16年以降にあつては4月末の数値である。

平成18年中の高速自動車国道等上における死傷者を伴う事故(以下「死傷事故」という。)の発生件数は6,851件(前年6,797件)、死傷者数は1万1,790人(前年1万1,749人)であり、死傷事故1件あたりの死傷者数は1.7人(前年1.7人)となり、高速自動車国道等における1kmあたりの死傷事故発生件数は0.9件(前年0.9件)となっている。(警察庁調べ)

高速自動車国道等の救急業務を実施している消防本部は、全国807消防本部の49.8%にあたる402本部となっている。これらの消防本部の高速自動車国道等への救急出場件数は、平成18年中9,720件となっている。(第12表参照)

**第12表 高速自動車国道等における救急出場件数及び搬送人員の推移**

年 区 分	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年
出場件数	10,494	9,972	9,973	9,657	9,720
搬送人員	12,096	11,355	11,003	10,301	10,258

(注) 各年とも1月から12月までの数値である。

## 6 救急業務の実施体制のない地域における補完体制

救急業務の実施体制のない地域においては、役場内に救急自動車を置き役場の職員が救急患者の搬送を実施する「役場救急」や、病院や診療所に救急車を置いて役場の職員などにより救急患者の搬送を実施する「病院(診療所)救急」という補完体制を整備しているところがある。

平成19年4月1日現在において救急業務を実施していない36町村(全市町村1,805市町村の2.0%)のうち、31町村が役場救急、1村が病院救急、1村が診療所救急、3町が役場救急・病院救急を併用して実施している。

(別表1参照)

## 第2 救急業務の実施状況

### 1 救急出場件数及び搬送人員

平成18年中における全国の救急業務実施状況をみると、救急出場件数は、ヘリコプターによる件数も含め、524万478件（対前年比3万9,950件減、対前年比0.8%減）、搬送人員は489万5,328人（対前年比6万3,035人減、対前年比1.3%減）である。

また、救急自動車による出場件数は、全国で1日平均1万4,350件（前年1万4,460件）であり、6.0秒に1回（前年6.0秒に1回）の割合で救急隊が出場し、国民の26人に1人（前年26人に1人）が救急隊によって搬送されたこととなる。

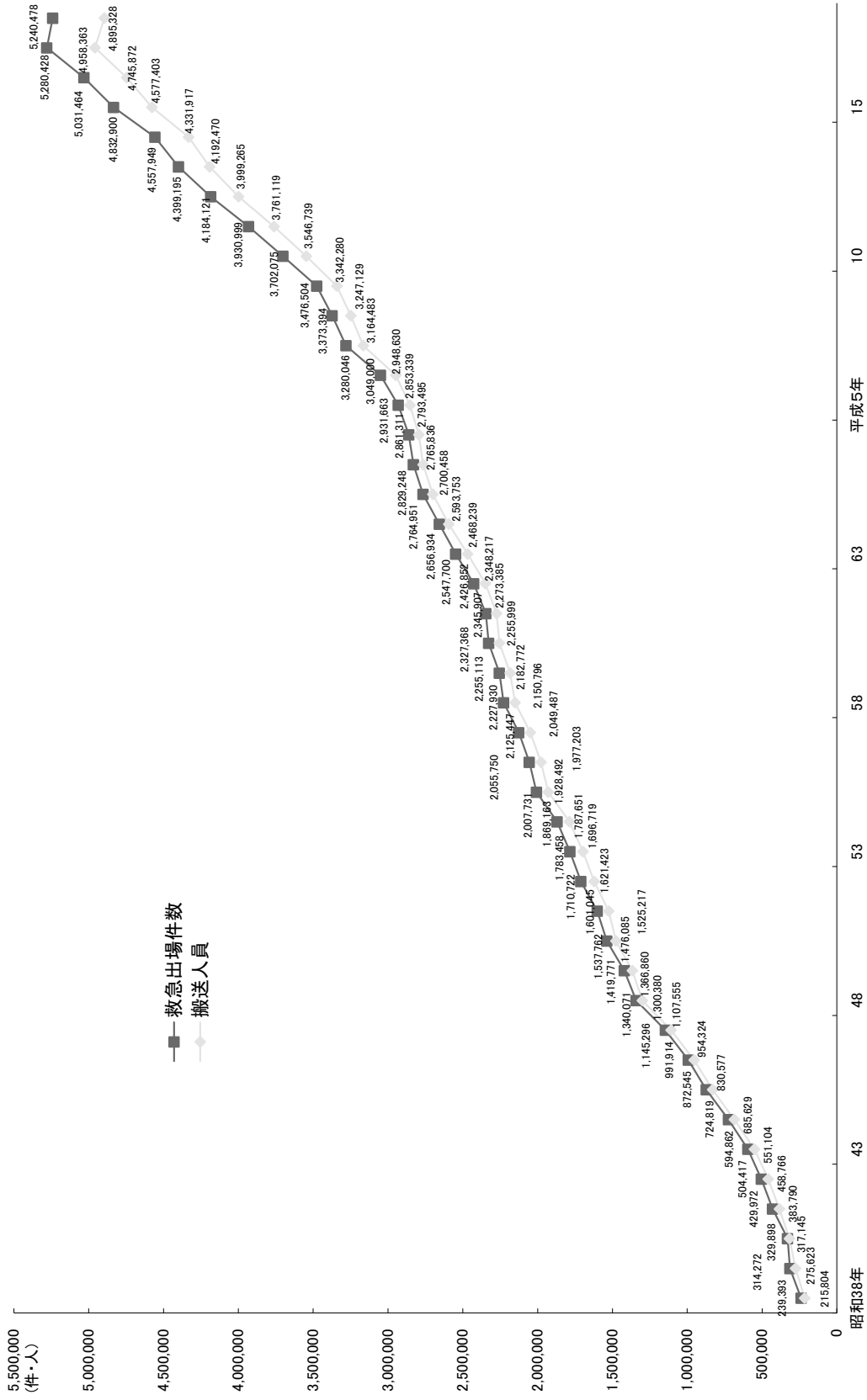
（第13の1表、第13の2図、別表4及び別表5参照）

第13の1表 救急出場件数及び搬送人員の推移

区 分	救急出場件数				搬送人員			
	全出場件数			増加数 前年比 (%)	全搬送人員			増加数 前年比 (%)
		うち 救急車に よる 件数	うち ヘリに よる 件数			うち 救急車に よる 人員	うち ヘリに よる 人員	
平成9年	3,476,504	3,476,504	—	103,110 (3.1)	3,342,280	3,342,280	—	95,151 (2.9)
平成10年	3,702,075	3,701,315	760	225,571 (6.5)	3,546,739	3,545,975	764	204,459 (6.1)
平成11年	3,930,999	3,930,024	975	228,924 (6.2)	3,761,119	3,759,996	1,123	214,380 (6.0)
平成12年	4,184,121	4,182,675	1,446	253,122 (6.4)	3,999,265	3,997,942	1,323	238,146 (6.3)
平成13年	4,399,195	4,397,527	1,668	215,074 (5.1)	4,192,470	4,190,897	1,573	193,205 (4.8)
平成14年	4,557,949	4,555,881	2,068	158,754 (3.6)	4,331,917	4,329,935	1,982	139,447 (3.3)
平成15年	4,832,900	4,830,813	2,087	274,951 (6.0)	4,577,403	4,575,325	2,078	245,486 (5.7)
平成16年	5,031,464	5,029,108	2,356	198,564 (4.1)	4,745,872	4,743,469	2,403	168,469 (3.7)
平成17年	5,280,428	5,277,936	2,492	248,964 (4.9)	4,958,363	4,955,976	2,387	212,491 (4.5)
平成18年	5,240,478	5,237,716	2,762	▲ 39,950 (▲0.8)	4,895,328	4,892,593	2,735	▲ 63,035 (▲1.3)

（注）各年とも1月から12月までの数値である。

第13の2図 救急出場件数及び搬送人員の推移

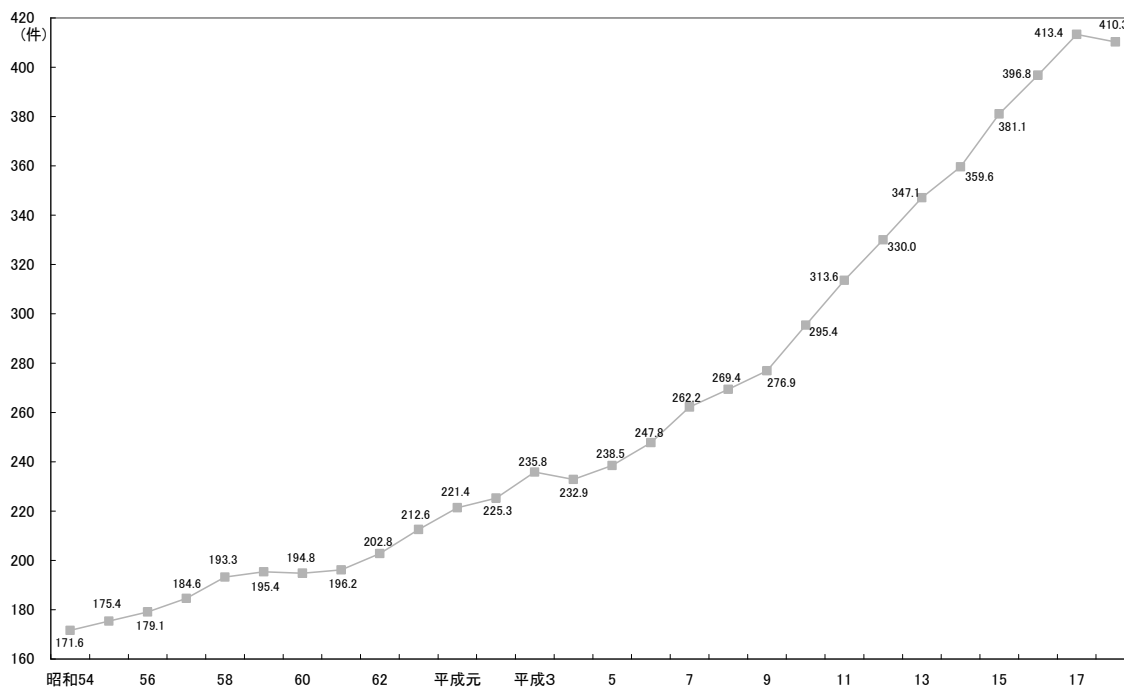


(注) 1 平成10年以降の救急出場件数及び搬送人員についてはヘリコプター出場分を含む。  
 2 各年も1月から12月までの数値である。



また、全国の救急業務実施市町村における人口1万人当たりの平均救急出場件数（ヘリコプターによる出場を含む。）をみると全国平均は410.3件となっている。（第14図及び別表4参照）

第14図 人口1万人当たりの平均出場件数の推移



(注) 管轄市町村の1月から12月までの救急出場件数から、4月1日現在の管轄人口を基準に算出した値である。

## 2 救急自動車による事故種別出場件数及び搬送人員

救急自動車による出場件数及び搬送人員を事故種別ごとにみると、出場件数は第1位が急病、第2位が一般負傷、第3位が交通事故の順となっており、搬送人員は第1位が急病、第2位が交通事故、第3位が一般負傷となっている。

(第15表及び第16表参照)

また、救急自動車による事故種別出場件数の構成比の推移をみると、急病の占める割合が高くなってきている。（第17図参照）

第15表 救急自動車による事故種別出場件数

事故種別	平成17年中		平成18年中		対前年比	
	出場件数	構成比 (%)	出場件数	構成比 (%)	増減数	増減率 (%)
急病	3,167,046	60.0	3,163,822	60.4	▲ 3,224	▲ 0.1
交通事故	654,621	12.4	618,723	11.8	▲ 35,898	▲ 5.5
一般負傷	685,657	13.0	688,149	13.1	2,492	0.4
加害	47,467	0.9	45,927	0.9	▲ 1,540	▲ 3.2
自損行為	68,242	1.3	71,113	1.4	2,871	4.2
労働災害	49,448	0.9	49,879	0.9	431	0.9
運動競技	36,603	0.7	37,668	0.7	1,065	2.9
火災	26,015	0.5	25,601	0.5	▲ 414	▲ 1.6
水難	4,089	0.1	4,334	0.1	245	6.0
自然災害	485	0.0	475	0.0	▲ 10	▲ 2.1
転院搬送	472,294	9.0	466,170	8.9	▲ 6,124	▲ 1.3
その他 (転院搬送除く)	65,969	1.2	65,855	1.3	▲ 114	▲ 0.2
合計	5,277,936	100.0	5,237,716	100.0	▲ 40,220	▲ 0.8

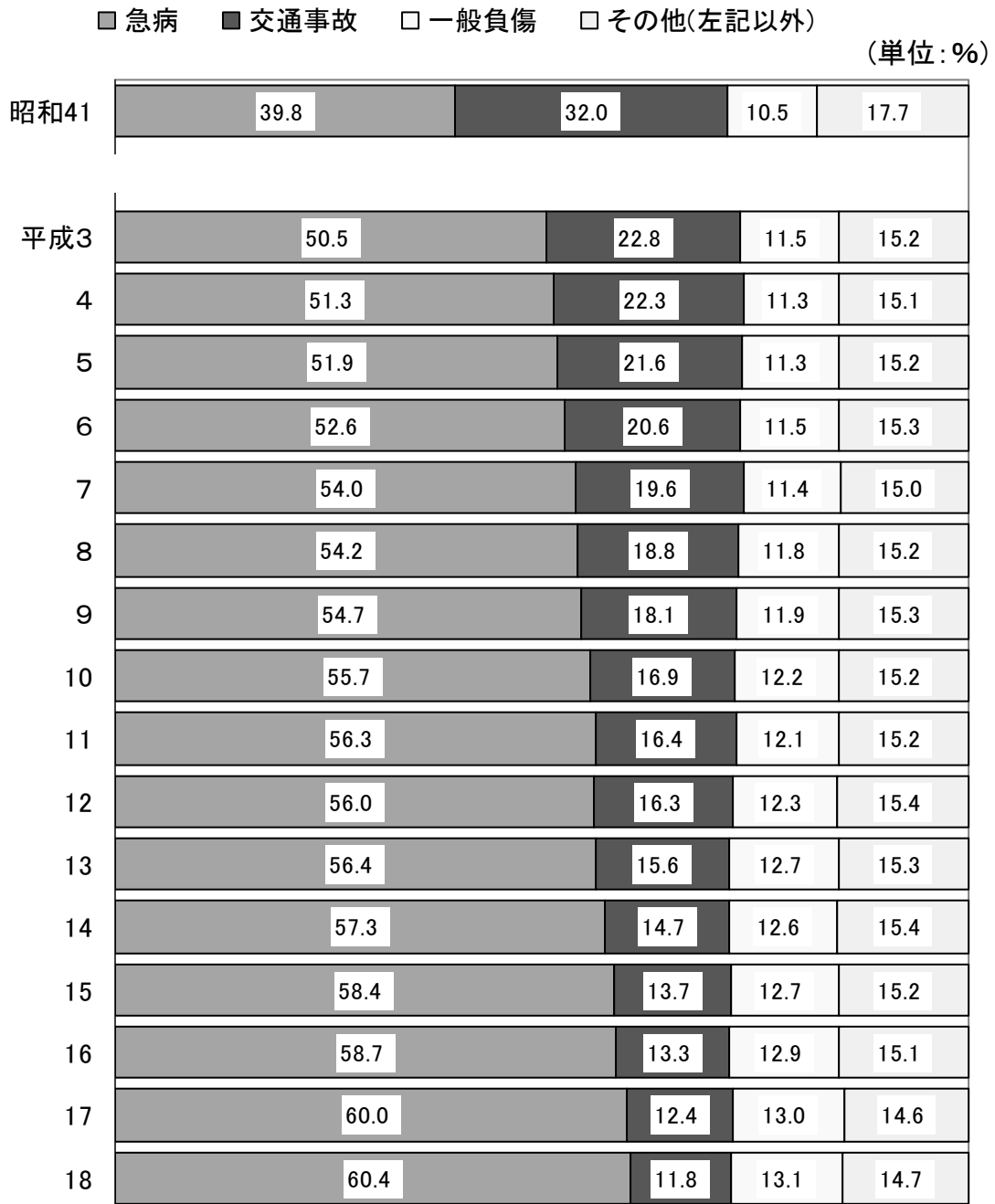
(注) 各年とも1月から12月までの数値である。

第16表 救急自動車による事故種別搬送人員

事故種別	平成17年中		平成18年中		対前年比	
	搬送人員	構成比 (%)	搬送人員	構成比 (%)	増減数	増減率 (%)
急病	2,943,831	59.4	2,930,550	59.9	▲ 13,281	▲ 0.5
交通事故	701,912	14.2	656,222	13.4	▲ 45,690	▲ 6.5
一般負傷	642,876	12.9	643,228	13.1	352	0.1
加害	42,920	0.9	40,861	0.8	▲ 2,059	▲ 4.8
自損行為	51,005	1.0	53,444	1.1	2,439	4.8
労働災害	48,536	1.0	48,962	1.0	426	0.9
運動競技	37,196	0.8	38,134	0.8	938	2.5
火災	7,879	0.2	7,811	0.2	▲ 68	▲ 0.9
水難	2,409	0.0	2,401	0.1	▲ 8	▲ 0.3
自然災害	456	0.0	412	0.0	▲ 44	▲ 9.6
その他	476,956	9.6	470,568	9.6	▲ 6,388	▲ 1.3
合計	4,955,976	100.0	4,892,593	100.0	▲ 63,383	▲ 1.3

(注) 各年とも1月から12月までの数値である。

第17図 救急自動車による事故種別出場件数構成比の推移



(注) 各年とも1月から12月までの件数に基づいた割合を示す。

救急自動車による全出場件数のうち、急病と交通事故及び一般負傷の全件数に対する割合を地域別にみると、大都市においては、出場件数183万9,251件のうち、急病が62.3%(114万5,922件)、交通事故が11.1%(20万3,861件)及び一般負傷が14.0%(25万6,921件)であり、その他の市町村では、出場件数339万8,465件のうち急病が59.4%(201万7,900件)、交通事故12.2%(41万4,862件)及び一般負傷が12.7%(43万1,228件)となっており、大都市、その他の市町村ともに急病の割合が高くなっている。(第18表及び第19表参照)

**第18表 救急自動車による全出場件数に対する急病と交通事故の占める割合**

区分 年	大 都 市									
	急 病		交通事故		一般負傷		その他(左記以外)		小 計	
	件 数	全件数に 対する 割合(%)	件 数	全件数に 対する 割合(%)	件 数	全件数に 対する 割合(%)	件 数	全件数に 対する 割合(%)	件 数	全件数に 対する 割合(%)
平成13年	840,466	58.5	205,207	14.3	192,277	13.4	198,066	13.8	1,436,016	100.0
平成14年	908,102	59.4	208,007	13.6	203,549	13.3	209,374	13.7	1,529,032	100.0
平成15年	972,382	60.3	205,425	12.7	216,789	13.5	217,222	13.5	1,611,818	100.0
平成16年	1,010,583	60.8	205,275	12.3	226,185	13.6	220,395	13.3	1,662,438	100.0
平成17年	1,084,868	62.0	203,794	11.6	240,784	13.7	221,630	12.7	1,751,076	100.0
平成18年	1,145,922	62.3	203,861	11.1	256,921	14.0	232,547	12.6	1,839,251	100.0

区分 年	その他の市町村									
	急 病		交通事故		一般負傷		その他(左記以外)		小 計	
	件 数	全件数に 対する 割合(%)	件 数	全件数に 対する 割合(%)	件 数	全件数に 対する 割合(%)	件 数	全件数に 対する 割合(%)	件 数	全件数に 対する 割合(%)
平成13年	1,638,345	55.3	482,309	16.3	365,015	12.3	475,842	16.1	2,961,511	100.0
平成14年	1,702,710	56.3	462,691	15.3	372,660	12.3	488,788	16.1	3,026,849	100.0
平成15年	1,847,238	57.4	457,117	14.2	398,295	12.4	516,345	16.0	3,218,995	100.0
平成16年	1,942,888	57.7	462,653	13.7	422,341	12.6	538,788	16.0	3,366,670	100.0
平成17年	2,082,178	59.0	450,827	12.8	444,873	12.6	548,982	15.6	3,526,860	100.0
平成18年	2,017,900	59.4	414,862	12.2	431,228	12.7	534,475	15.7	3,398,465	100.0

(注) 大都市とは、政令指定都市【17都市(平成19年4月1日現在)】及び東京都特別区(事務委託団体に係わるものを含む。)をいう。以下同じ。各年とも1月から12月までの数値である。

第19表 救急自動車による人口段階別救急出場件数

(平成18年中)

事故種別		急病	交通事故	一般負傷	その他 (左記以外)	うち転院	合計
人口段階							
単 独 実 施 市 町 村	大都市	1,145,922 (62.3)	203,861 (11.1)	256,921 (14.0)	232,547 (12.6)	118,524 (6.4)	1,839,251 (100.0)
	30万人以上	483,494 (60.1)	99,707 (12.4)	101,360 (12.6)	120,267 (14.9)	72,641 (9.0)	804,828 (100.0)
	10万人以上 30万人未満	486,503 (59.5)	103,532 (12.7)	102,873 (12.6)	123,930 (15.2)	75,803 (9.3)	816,838 (100.0)
	5万人以上 10万人未満	184,074 (59.4)	37,856 (12.2)	40,315 (13.0)	47,718 (15.4)	31,423 (10.1)	309,963 (100.0)
	5万人未満	127,891 (58.9)	23,214 (10.7)	29,246 (13.5)	36,618 (16.9)	25,997 (12.0)	216,969 (100.0)
	小計	2,427,884 (60.9)	468,170 (11.7)	530,715 (13.3)	561,080 (14.1)	324,388 (8.1)	3,987,849 (100.0)
	消 防 事 務 組 合	30万人以上	126,587 (59.3)	28,713 (13.4)	25,101 (11.7)	33,236 (15.6)	21,174 (9.9)
10万人以上 30万人未満	376,881 (58.9)	80,971 (12.6)	79,340 (12.4)	102,905 (16.1)	69,860 (10.9)	640,097 (100.0)	
5万人以上 10万人未満	164,165 (59.2)	29,605 (10.7)	37,028 (13.4)	46,454 (16.7)	33,543 (12.1)	277,252 (100.0)	
5万人未満	68,305 (57.5)	11,264 (9.5)	15,965 (13.4)	23,347 (19.6)	17,205 (14.5)	118,881 (100.0)	
小計	735,938 (58.9)	150,553 (12.0)	157,434 (12.6)	205,942 (16.5)	141,782 (11.3)	1,249,867 (100.0)	
合 計		3,163,822 (60.4)	618,723 (11.8)	688,149 (13.1)	767,022 (14.7)	466,170 (8.9)	5,237,716 (100.0)

(注) 1 ( )内は、構成比(単位：%)を示す。

2 他の市町村又は消防事務組合に救急業務を委託している市町村における数値は、委託先の市町村又は消防事務組合の数値に含めている。

年齢区分別事故種別搬送人員の状況は、第20表のとおりである。  
 高齢者は、平成17年国勢調査の人口割合20.2%に対して、搬送人員の割合では45.1%と高い割合を占め、高齢者11.6人に1人が搬送されていることとなり、全人口で算定した場合の26人に1人と比較して2.2倍となっている。

第20表 救急自動車による年齢区分別事故種別搬送人員の状況

(平成18年中)

事故種別 年齢区分	事故種別				合計	(参考) 平成17年度 国勢調査人口 (構成比)
	急病	交通事故	一般負傷	その他		
新生児 (構成比:%)	2,524 (0.1)	119 (0.0)	654 (0.1)	11,128 (1.7)	14,425 (0.3)	9,134,149 (7.2) 12,207,797 (9.6) 80,271,702 (63.0) 25,672,005 (20.2)
乳幼児 (構成比:%)	152,681 (5.2)	24,380 (3.7)	71,379 (11.1)	18,426 (2.8)	266,866 (5.5)	
少年 (構成比:%)	74,615 (2.5)	70,440 (10.8)	34,168 (5.3)	33,743 (5.1)	212,966 (4.3)	
成人 (構成比:%)	1,215,863 (41.5)	456,907 (69.6)	207,552 (32.3)	311,287 (47.0)	2,191,609 (44.8)	
高齢者 (構成比:%)	1,484,867 (50.7)	104,376 (15.9)	329,475 (51.2)	288,009 (43.4)	2,206,727 (45.1)	
合計 (構成比:%)	2,930,550 (100.0)	656,222 (100.0)	643,228 (100.0)	662,593 (100.0)	4,892,593 (100.0)	

(注) 1 年齢区分は、次によっている。(以下同じ)

- (1) 新生児 生後28日未満の者
- (2) 乳幼児 生後28日以上満7歳未満の者
- (3) 少年 満7歳以上満18歳未満の者
- (4) 成人 満18歳以上満65歳未満の者
- (5) 高齢者 満65歳以上の者

2 本表には、平成17年国勢調査人口中の年齢不詳482,341人は、含まれていない。

事故種別ごとに曜日別の救急自動車による救急出場件数及び搬送人員数をみると、交通事故は金曜日及び土曜日、一般負傷は土曜日及び日曜日に多くなっている。  
(第21の1表及び第21の2表参照)

第21の1表 救急自動車による事故種別曜日別出場件数

(平成18年中)

区分 曜日	急病		交通事故		一般負傷		その他(左記以外)		うち転院搬送		合計	
	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
月曜	471,680	14.9	89,002	14.4	96,260	14.0	118,960	15.5	78,422	16.8	775,902	14.8
火曜	437,223	13.8	87,313	14.1	89,871	13.1	113,771	14.8	73,524	15.8	728,178	13.9
水曜	435,540	13.8	88,176	14.3	91,340	13.3	111,706	14.6	71,501	15.3	726,762	13.9
木曜	438,619	13.9	88,119	14.2	91,219	13.3	108,611	14.2	68,329	14.7	726,568	13.9
金曜	442,850	14.0	92,327	14.9	95,796	13.9	118,963	15.5	77,841	16.7	749,936	14.3
土曜	455,678	14.4	92,842	15.0	109,090	15.8	104,745	13.6	57,710	12.4	762,355	14.5
日曜	482,232	15.2	80,944	13.1	114,573	16.6	90,266	11.8	38,843	8.3	768,015	14.7
合計	3,163,822	100.0	618,723	100.0	688,149	100.0	767,022	100.0	466,170	100.0	5,237,716	100.0

第21の2表 救急自動車による事故種別曜日別搬送人員

(平成18年中)

区分 曜日	急病		交通事故		一般負傷		その他(左記以外)		合計	
	搬送人員	割合(%)	搬送人員	割合(%)	搬送人員	割合(%)	搬送人員	割合(%)	搬送人員	割合(%)
月曜	439,020	15.0	93,735	14.3	90,365	14.0	104,352	15.7	727,472	14.9
火曜	406,482	13.9	91,218	13.9	84,017	13.1	99,020	14.9	680,737	13.9
水曜	404,298	13.8	92,247	14.0	85,434	13.3	97,289	14.7	679,268	13.9
木曜	406,807	13.9	91,916	14.0	85,353	13.3	94,453	14.3	678,529	13.9
金曜	409,818	14.0	96,456	14.7	89,314	13.9	103,960	15.7	699,548	14.3
土曜	419,589	14.3	100,360	15.3	101,659	15.8	88,849	13.4	710,457	14.5
日曜	444,536	15.1	90,290	13.8	107,086	16.6	74,670	11.3	716,582	14.6
合計	2,930,550	100.0	656,222	100.0	643,228	100.0	662,593	100.0	4,892,593	100.0

事故種別ごとに月別の救急自動車による救急出場件数及び搬送人員数を見ると、急病は1月及び12月に多く、交通事故は7月、8月及び12月に多くなっている。  
(第22の1表及び第22の2表参照)

**第22の1表 救急自動車による事故種別月別出場件数**

(平成18年中)

区分 月	急病		交通事故		一般負傷		その他(左記以外)		うち転院搬送		合計	
	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1月	309,532	9.8	44,932	7.3	63,441	9.2	66,044	8.6	43,157	9.3	483,949	9.2
2月	249,148	7.9	43,738	7.1	51,868	7.5	60,171	7.8	38,773	8.3	404,925	7.7
3月	261,785	8.3	51,932	8.4	56,256	8.2	65,210	8.5	41,009	8.8	435,183	8.4
4月	250,764	7.9	50,604	8.2	55,090	8.0	62,432	8.1	38,220	8.2	418,890	8.0
5月	256,596	8.1	52,786	8.5	55,680	8.1	64,190	8.4	38,889	8.4	429,252	8.2
6月	241,523	7.6	51,732	8.4	51,483	7.5	62,497	8.1	36,920	7.9	407,235	7.8
7月	266,872	8.4	55,573	9.0	57,344	8.3	64,849	8.5	37,036	8.0	444,638	8.5
8月	271,563	8.6	55,888	9.0	58,717	8.5	65,994	8.6	37,859	8.1	452,162	8.6
9月	235,281	7.5	50,052	8.1	54,591	7.9	61,097	8.0	35,295	7.6	401,021	7.6
10月	250,212	7.9	53,197	8.6	59,446	8.7	64,921	8.5	38,612	8.2	427,776	8.2
11月	266,028	8.4	52,899	8.5	58,119	8.5	62,847	8.2	38,851	8.3	439,893	8.4
12月	304,518	9.6	55,390	8.9	66,114	9.6	66,770	8.7	41,549	8.9	492,792	9.4
合計	3,163,822	100.0	618,723	100.0	688,149	100.0	767,022	100.0	466,170	100.0	5,237,716	100.0

**第22の2表 救急自動車による事故種別月別搬送人員**

(平成18年中)

区分 月	急病		交通事故		一般負傷		その他(左記以外)		合計	
	搬送人員	割合(%)	搬送人員	割合(%)	搬送人員	割合(%)	搬送人員	割合(%)	搬送人員	割合(%)
1月	287,103	9.8	48,002	7.3	59,143	9.2	57,236	8.6	451,484	9.2
2月	230,151	7.9	45,972	7.0	48,250	7.5	51,987	7.8	376,360	7.7
3月	241,792	8.3	54,985	8.4	52,455	8.1	56,187	8.5	405,419	8.3
4月	231,805	7.9	53,338	8.1	51,323	8.0	54,051	8.2	390,517	8.0
5月	238,194	8.1	56,214	8.6	52,222	8.1	55,852	8.4	402,482	8.2
6月	223,785	7.6	54,663	8.3	48,152	7.5	53,950	8.1	380,550	7.8
7月	247,710	8.5	59,488	9.1	53,754	8.4	55,852	8.4	416,804	8.5
8月	251,762	8.6	61,060	9.3	55,062	8.6	56,392	8.5	424,276	8.7
9月	218,000	7.4	52,813	8.0	51,340	8.0	52,834	8.0	374,987	7.6
10月	231,848	7.9	55,817	8.5	55,829	8.7	56,116	8.5	399,610	8.2
11月	246,989	8.4	55,802	8.5	54,323	8.4	54,728	8.3	411,842	8.4
12月	281,411	9.6	58,068	8.9	61,375	9.5	57,408	8.7	458,262	9.4
合計	2,930,550	100.0	656,222	100.0	643,228	100.0	662,593	100.0	4,892,593	100.0



救急自動車による搬送人員489万2,593人の住所について、出場した救急隊の所属消防本部管内管外別の割合を示したのが第23表であり、426万4,593人(87.2%)が出場した救急隊の所属消防本部の管轄内に住所を有する者である。

救急自動車による発生場所別搬送人員の割合を示したものが第24図であり、住宅内で発生した割合が半数を超えている(53.7%)。

**第23表 救急自動車による管内管外別搬送人員の状況**

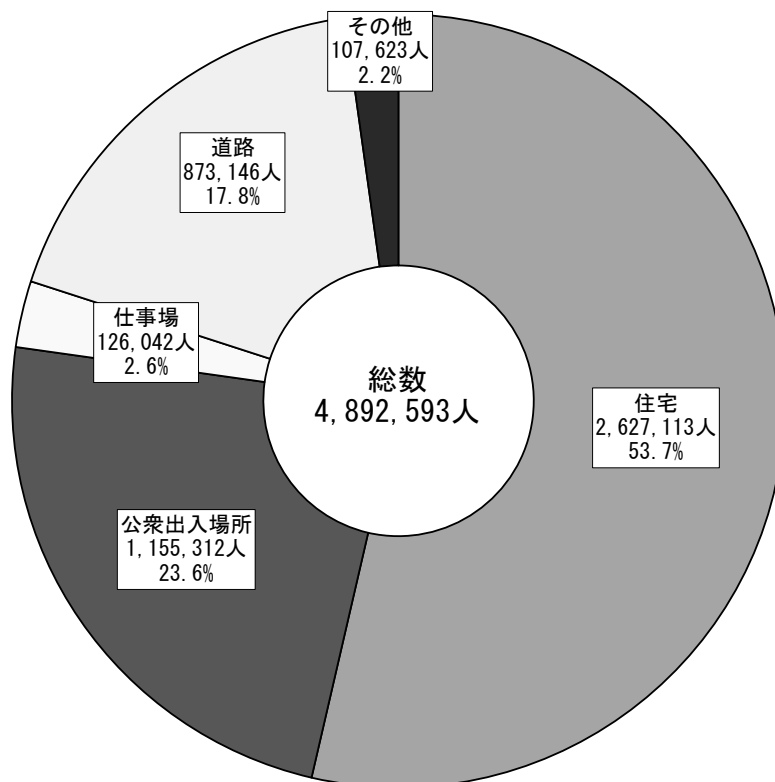
(平成18年中)

区分 \ 事故種別	急病	交通事故	一般負傷	その他 (左記以外)	合計
管内に住所を有する者 (構成比:%)	2,670,812 (91.1)	494,840 (75.4)	567,734 (88.3)	531,207 (80.2)	4,264,593 (87.2)
管外に住所を有する者 (構成比:%)	239,981 (8.2)	159,347 (24.3)	71,649 (11.1)	127,966 (19.3)	598,943 (12.2)
その他 (構成比:%)	19,757 (0.7)	2,035 (0.3)	3,845 (0.6)	3,420 (0.5)	29,057 (0.6)
合計 (構成比:%)	2,930,550 (100.0)	656,222 (100.0)	643,228 (100.0)	662,593 (100.0)	4,892,593 (100.0)

(注) 「その他」とは、外国人旅行者(外国人のうち日本に住所を有している者を除く外国人)、または住所が判明しない者等をいう。

**第24図 救急自動車による発生場所別搬送人員**

(平成18年中)



### 3 救急自動車による医療機関別搬送人員の状況

平成18年中における救急自動車による搬送人員489万2,593人について、医療機関等への搬送人員の状況を示したのが第25表である。医療機関に搬送された者488万5,020人について、救急病院等を定める省令(昭和39年厚生省令第8号)に基づく告示の有無ごとに開設者別搬送人員割合を示したのが第26図であり、開設者ごとに告示・非告示別に搬送人員割合を示したのが第27図である。(別表6参照)

第25表 救急自動車による医療機関種別搬送人員の状況

(平成18年中 単位：人)

		告示 (うち管外)		非告示 (うち管外)		合計 (うち管外)	
医療機関	国立	290,663	50,849	18,687	7,987	309,350	58,836
	公立	1,081,697	155,454	77,701	20,173	1,159,398	175,627
	公的	603,614	112,310	12,096	3,869	615,710	116,179
	私的病院	2,370,052	349,059	284,882	74,619	2,654,934	423,678
	私的診療所	34,072	2,512	111,556	12,252	145,628	14,764
	計	4,380,098	670,184	504,922	118,900	4,885,020	789,084
その他の場所	接骨院等	—	—	195	60	195	60
	その他	—	—	7,378	1,269	7,378	1,269
	計	—	—	7,573	1,329	7,573	1,329
合計		4,380,098	670,184	512,495	120,229	4,892,593	790,413

(注) 1 医療機関の分類は次により記載した。

- (1) 「国立」とは、開設者が国(国立大学法人、独立行政法人労働者健康福祉機構、独立行政法人国立病院機構等を含む。)であるもの。
- (2) 「公立」とは、開設者が都道府県、市町村及び地方自治法(昭和22年法律第67号)第284条第1項に規定する地方自治体の組合であるもの。
- (3) 「公的」とは開設者が次のものであるもの。
  - a 普通国民健康保険組合
  - b 日本赤十字社
  - c 社会福祉法人恩賜財団済生会
  - d 全国厚生農業協同組合の会員である厚生(医療)農業協同組合連合会
  - e 社会福祉法人北海道社会事業協会

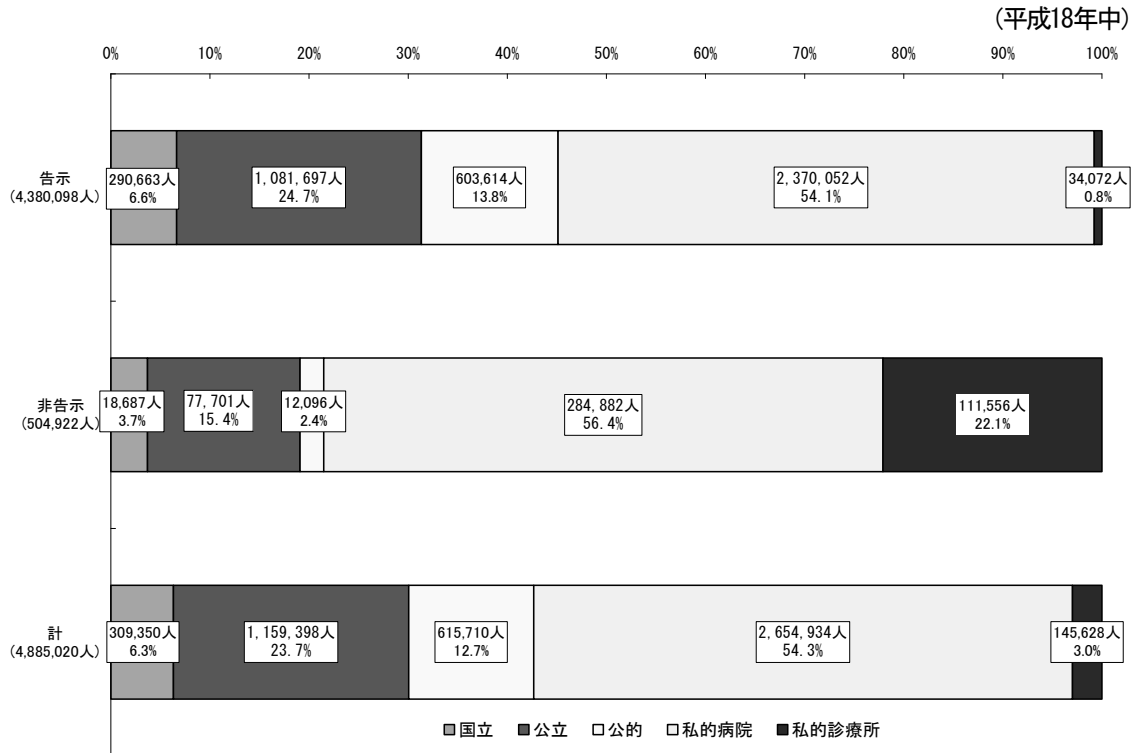
2 医療機関以外の場所へ搬送した場合は、「その他の場所」の欄に、その搬送人員を記載した。

3 「その他の場所」へ搬送した場合で搬送先があんま、はり、灸、接骨院及び助産所の場合は「接骨院等」の欄に、その他の場合は「その他」の欄に、その搬送人員を記載した。

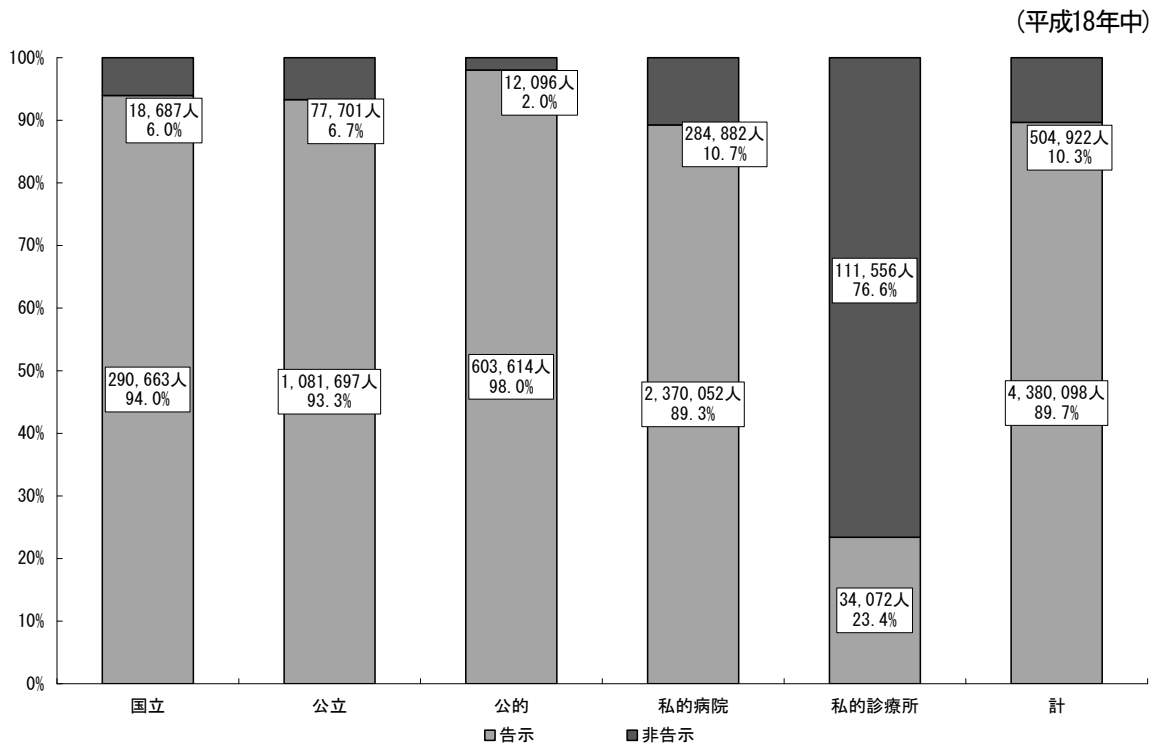
4 医療機関の区分は、傷病者を医療機関に収容した時点における区分によるものとした。

5 一つの搬送事例につき、傷病者を2以上の医療機関等へ搬送した場合は、収容された最終の医療機関等について記載した。

第26図 告示・非告示別の開設者別搬送人員割合



第27図 開設者別の告示・非告示別搬送人員割合



救急自動車による搬送人員489万2,593人のうち、79万413人（16.2%）が、出場した救急隊が所属する消防本部の管轄外の医療機関等に搬送されている。これを人口段階別にみると、単独、組合の別にかかわらず、人口段階が小さくなるほど管外搬送率が高くなる傾向が顕著であり、単独消防本部では大都市の平均が4.9%となっているのに対し、人口5万未満では45.1%となっている。（第28表参照）

第28表 救急自動車による人口段階別管外搬送状況

(平成18年中)

人口段階		搬送人員		
		搬送人員	うち管外搬送人員	管外搬送率
単独実施市町村	大都市	1,665,726	81,145	4.9%
	30万人以上	748,760	80,970	10.8%
	10万人以上30万人未満	773,249	141,066	18.2%
	5万人以上10万人未満	297,187	103,823	34.9%
	5万人未満	210,427	94,958	45.1%
	計	3,695,349	501,962	13.6%
消防事務組合	30万人以上	202,221	16,888	8.4%
	10万人以上30万人未満	613,580	139,743	22.8%
	5万人以上10万人未満	265,870	89,110	33.5%
	5万人未満	115,573	42,710	37.0%
	計	1,197,244	288,451	24.1%
合計		4,892,593	790,413	16.2%

(注) 他の市町村又は消防事務組合に救急業務を委託している市町村における数値は、委託先の市町村又は消防事務組合の数値に含めている。

#### 4 救急自動車による傷病程度別搬送人員の状況

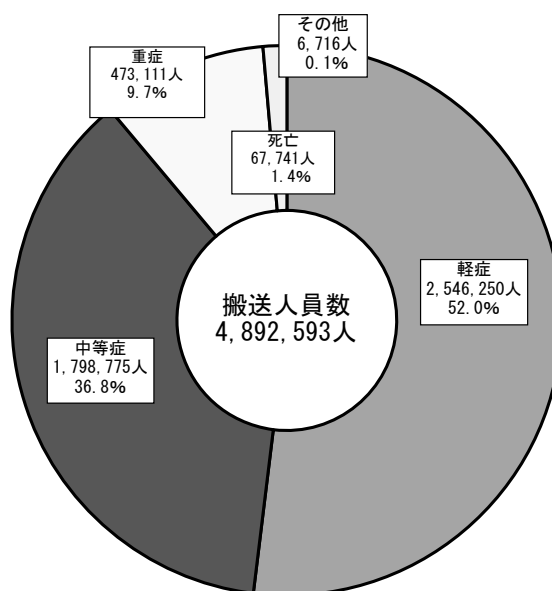
平成18年中の救急自動車による搬送人員489万2,593人について、傷病程度別搬送状況を示したのが第29図であり、事故種別ごとに傷病程度の状況を示したのが第31表である。事故種別ごとに軽症者の占める割合の推移をみると、交通事故に占める軽症者の割合が高くなっている。（第30表・第31表参照）

なお、傷病程度は入院加療の必要程度を基準に区分しているため、骨折等で入院の必要はないが、通院による治療が必要な者は軽症者として分類されている。

また、各年齢区分別傷病程度別搬送人員の状況は第32表のとおりである。

第29図 救急自動車による傷病程度別搬送人員の状況

(平成18年中)



(注) 傷病程度は、初診時における医師の診断に基づき、次のように分類した。

- (1) 死亡とは、初診時において死亡が確認されたものをいう。
- (2) 重症とは、傷病程度が3週間の入院加療を必要とするもの以上をいう。
- (3) 中等症とは、傷病程度が重症または軽症以外のものをいう。
- (4) 軽症とは、傷病程度が入院加療を必要としないものをいう。
- (5) その他とは、医師の診断がないもの及び傷病程度が不明なもの、並びにその他の場所に搬送したものをいう。

第30表 救急自動車による事故種別軽症者割合の推移

(単位：%)

事故種別	年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年
	軽症者の割合 (単位：%)		51.3	51.2	51.3	51.6	52.1
	急病	47.6	47.9	48.4	48.9	49.8	50.1
	交通事故	76.4	77.0	77.4	78.0	78.6	78.9
	一般負傷	62.7	62.7	62.8	63.0	63.1	63.0
	その他	22.9	22.9	23.1	23.4	23.2	23.4

(注) 各年の数値は1月から12月までの数値に基づく割合である。

第31表 事故種別の傷病程度別搬送人員の状況

(平成18年中)

事故種別		急病	交通事故	一般負傷	その他(左記以外)	合計
大 都 市	死亡	9,376 (0.9)	391 (0.2)	797 (0.3)	1,799 (0.9)	12,363 (0.7)
	重症	63,739 (6.1)	4,810 (2.4)	8,663 (3.7)	26,097 (14.0)	103,309 (6.2)
	中等症	389,655 (37.4)	26,637 (13.0)	61,556 (26.3)	102,912 (55.2)	580,760 (34.9)
	軽症	576,225 (55.4)	172,083 (84.3)	162,550 (69.5)	55,398 (29.7)	966,256 (58.0)
	その他	2,050 (0.2)	147 (0.1)	417 (0.2)	319 (0.2)	2,933 (0.2)
	計	1,041,045 (100.0)	204,068 (100.0)	233,983 (100.0)	186,525 (100.0)	1,665,621 (100.0)
そ の 他 の 市 町 村	死亡	41,837 (2.2)	3,120 (0.7)	3,874 (0.9)	6,547 (1.4)	55,378 (1.7)
	重症	190,313 (10.1)	21,574 (4.8)	41,798 (10.2)	116,117 (24.4)	369,802 (11.5)
	中等症	764,138 (40.4)	81,292 (18.0)	120,608 (29.5)	251,977 (52.9)	1,218,015 (37.7)
	軽症	892,169 (47.2)	345,646 (76.4)	242,595 (59.3)	99,584 (20.9)	1,579,994 (49.0)
	その他	1,048 (0.1)	522 (0.1)	370 (0.1)	1,843 (0.4)	3,783 (0.1)
	計	1,889,505 (100.0)	452,154 (100.0)	409,245 (100.0)	476,068 (100.0)	3,226,972 (100.0)
全 体	死亡	51,213 (1.7)	3,511 (0.5)	4,671 (0.7)	8,346 (1.2)	67,741 (1.4)
	重症	254,052 (8.7)	26,384 (4.0)	50,461 (7.9)	142,214 (21.5)	473,111 (9.7)
	中等症	1,153,793 (39.4)	107,929 (16.5)	182,164 (28.3)	354,889 (53.6)	1,798,775 (36.8)
	軽症	1,468,394 (50.1)	517,729 (78.9)	405,145 (63.0)	154,982 (23.4)	2,546,250 (52.0)
	その他	3,098 (0.1)	669 (0.1)	787 (0.1)	2,162 (0.3)	6,716 (0.1)
	合計	2,930,550 (100.0)	656,222 (100.0)	643,228 (100.0)	662,593 (100.0)	4,892,593 (100.0)

(注) ( )内は、事故種別ごとの構成比(単位：%)を示す。

第32表 救急自動車による年齢区分別の傷病程度別搬送人員の状況

(平成18年中)

年齢区分 程度	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合計
死亡	100 (0.7)	569 (0.2)	385 (0.2)	17,246 (0.8)	49,441 (2.3)	67,741 (1.4)
重症	2,685 (18.6)	4,357 (1.6)	5,471 (2.6)	137,557 (6.3)	323,041 (14.6)	473,111 (9.7)
中等症	9,059 (62.8)	48,291 (18.1)	44,900 (21.1)	652,372 (29.8)	1,044,153 (47.3)	1,798,775 (36.8)
軽症	2,450 (17.0)	213,332 (80.0)	161,983 (76.0)	1,380,981 (63.0)	787,504 (35.7)	2,546,250 (52.0)
その他	131 (0.9)	317 (0.1)	227 (0.1)	3,453 (0.1)	2,588 (0.1)	6,716 (0.1)
合計	14,425 (100.0)	266,866 (100.0)	212,966 (100.0)	2,191,609 (100.0)	2,206,727 (100.0)	4,892,593 (100.0)

(注) ( )内は年齢区分別の構成比(単位：%)を示す。

## 5 救急自動車による急病の搬送人員の状況

平成18年中の救急自動車による急病の搬送人員293万550人の疾病分類別、年齢区分別、傷病程度別の状況を示したのが第33表、第34表及び第35表である。これによると、疾病分類別では循環器系の疾患が多く、脳疾患、心疾患等を含む循環器系が多く58万6,733人(20.0%)となっている。特に高齢者では、その割合が高くなっており27.8%を占めている。(第33表参照)

また、傷病程度でみると中等症以上の割合は、49.8%となっているが、高齢者では64.4%と高くなっている。(第35表参照)

第33表 救急自動車による急病の年齢区別の疾病分類別搬送人員の状況

(平成18年中)

分類項目		年齢区分					合計
		新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	
循環器系	脳疾患	50 (2.0)	3,448 (2.3)	3,114 (4.2)	88,715 (7.3)	219,463 (14.8)	314,790 (10.7)
	心疾患等	113 (4.5)	413 (0.3)	887 (1.2)	76,686 (6.3)	193,844 (13.0)	271,943 (9.3)
消化器系		148 (5.9)	8,582 (5.6)	8,759 (11.7)	163,896 (13.5)	141,032 (9.5)	322,417 (11.0)
呼吸器系		309 (12.2)	22,879 (15.0)	9,358 (12.6)	74,857 (6.2)	171,246 (11.5)	278,649 (9.5)
精神系		11 (0.4)	512 (0.3)	6,330 (8.5)	126,164 (10.4)	20,824 (1.4)	153,841 (5.2)
感覚器系		71 (2.8)	10,071 (6.6)	7,776 (10.4)	65,647 (5.4)	44,670 (3.0)	128,235 (4.4)
泌尿器系		16 (0.6)	333 (0.2)	991 (1.3)	58,630 (4.8)	36,842 (2.5)	96,812 (3.3)
新生物		6 (0.2)	71 (0.1)	85 (0.1)	13,885 (1.1)	33,598 (2.3)	47,645 (1.6)
その他		857 (34.0)	28,280 (18.5)	13,141 (17.6)	195,660 (16.1)	217,701 (14.7)	455,639 (15.6)
症状・徴候・診断名不明確の状態		943 (37.4)	78,092 (51.1)	24,174 (32.4)	351,723 (28.9)	405,647 (27.3)	860,579 (29.4)
合計		2,524 (100.0)	152,681 (100.0)	74,615 (100.0)	1,215,863 (100.0)	1,484,867 (100.0)	2,930,550 (100.0)

(注) 1 急病の疾病分類とは、急病に係るものについて初診時の医師の診断に基づく傷病名をWHO(世界保健機関)で定める国際疾病分類(ICD)により分類したものである。

- (1) 「脳疾患」とは「IX循環器系の疾患」のうち「a-0904脳梗塞」及び「a-0905その他の脳疾患」をいう。
- (2) 「心疾患等」とは「IX循環器系の疾患」のうち「a-0901高血圧性疾患」から「a-0903その他の心疾患」まで、及び「a-0906その他循環器系の疾患」までをいう。
- (3) 「消化器系」とは、「XI消化器系の疾患」をいう。
- (4) 「呼吸器系」とは、「X呼吸器系の疾患」をいう。
- (5) 「精神系」とは、「V精神及び行動の傷害」をいう。
- (6) 「感覚器系」とは、「VI神経系の疾患」、「VIII眼及び付属器の疾患」、「VIII耳及び乳様突起の疾患」をいう。
- (7) 「泌尿器系」とは、「XIV腎尿路生殖器系の疾患」をいう。
- (8) 「新生物」とは、「II新生物」をいう。
- (9) 「症状・徴候・診断名不明確の状態」とは、「I・III・IV・XII・XIII・XV・XVI・XVII・XVIII・XIX・XX・XXI・XXII」に分類されるものおよび医療機関以外に搬送されたものをいう。なお「○の疑い」はすべてその疾患分類により分類している。

2 ( )内は年齢区別の構成比(単位:%)を示す。



第34表 救急自動車による急病の傷病程度別の疾病分類別搬送人員の状況

(平成18年中)

年齢区分		死亡	重症	中等症	軽症	その他	合計
分類項目	脳疾患	2,488 (4.9)	79,338 (31.2)	164,905 (14.3)	68,059 (4.6)	0 (0.0)	314,790 (10.7)
	心疾患等	21,111 (41.2)	48,446 (19.1)	116,033 (10.1)	86,353 (5.9)	0 (0.0)	271,943 (9.3)
	消化器系	894 (1.7)	18,023 (7.1)	146,544 (12.7)	156,956 (10.7)	0 (0.0)	322,417 (11.0)
	呼吸器系	2,596 (5.1)	29,308 (11.5)	132,942 (11.5)	113,803 (7.8)	0 (0.0)	278,649 (9.5)
	精神系	45 (0.1)	2,004 (0.8)	30,129 (2.6)	121,663 (8.3)	0 (0.0)	153,841 (5.2)
	感覚器系	88 (0.2)	2,305 (0.9)	39,304 (3.4)	86,538 (5.9)	0 (0.0)	128,235 (4.4)
	泌尿器系	298 (0.6)	3,398 (1.3)	34,214 (3.0)	58,902 (4.0)	0 (0.0)	96,812 (3.3)
	新生物	1,997 (3.9)	14,090 (5.6)	26,626 (2.3)	4,932 (0.3)	0 (0.0)	47,645 (1.6)
	その他	5,347 (10.4)	18,693 (7.4)	173,054 (15.0)	258,545 (17.6)	0 (0.0)	455,639 (15.6)
	症状・徴候・診断名 不明確の状態	16,349 (31.9)	38,447 (15.1)	290,042 (25.1)	512,643 (34.9)	3,098 (100.0)	860,579 (29.4)
	合計	51,213 (100.0)	254,052 (100.0)	1,153,793 (100.0)	1,468,394 (100.0)	3,098 (100.0)	2,930,550 (100.0)

(注) ( )内は構成比(単位: %)を示す。

第35表 救急自動車による急病に係る年齢区別の傷病程度別搬送人員の状況

(平成18年中)

年齢区分	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合計
程度						
死亡	78 (3.1)	374 (0.2)	107 (0.1)	9,679 (0.8)	40,975 (2.7)	51,213 (1.7)
重症	125 (5.0)	1,303 (0.9)	779 (1.1)	63,851 (5.3)	187,994 (12.7)	254,052 (8.7)
中等症	915 (36.2)	28,632 (18.8)	16,499 (22.1)	380,654 (31.3)	727,093 (49.0)	1,153,793 (39.4)
軽症	1,401 (55.5)	122,322 (80.1)	57,164 (76.6)	759,927 (62.5)	527,580 (35.5)	1,468,394 (50.1)
その他	5 (0.2)	50 (0.0)	66 (0.1)	1,752 (0.1)	1,225 (0.1)	3,098 (0.1)
合計	2,524 (100.0)	152,681 (100.0)	74,615 (100.0)	1,215,863 (100.0)	1,484,867 (100.0)	2,930,550 (100.0)

(注) ( )内は構成比(単位: %)を示す。

## 6 救急自動車による現場到着所要時間別出場件数及び収容所要時間別搬送人員の状況

### (1) 救急自動車による現場到着所要時間別出場件数の状況

平成18年中の救急自動車による救急出場件数523万7,716件について、現場到着所要時間別（救急事故の覚知から現場に到着するまでに要した時間別）の救急出場件数の状況を示したのが第36表及び第37図である。これによると最も多いのが5分以上10分未満の299万437件で全体の57.1%を占めている。

（別表7の1及び別表7の2参照）

**第36表 救急自動車による現場到着所要時間別事故種別出場件数の状況**

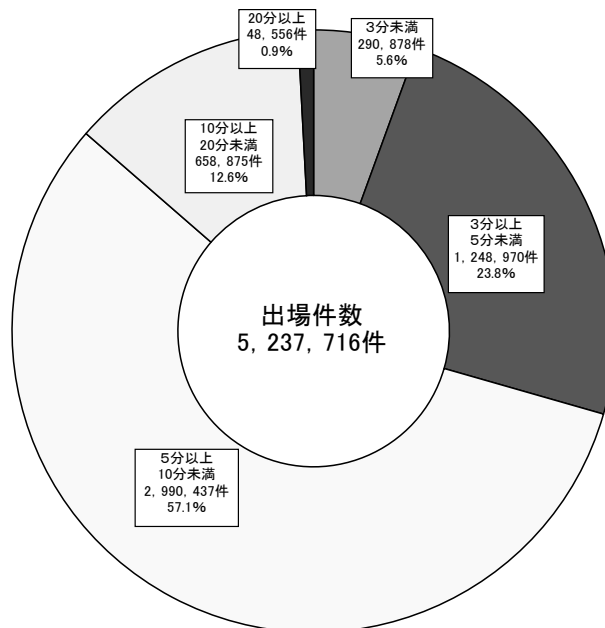
（平成18年中）

現場到着 所要時間 事故種別		現場到着所要時間					合計	平均(分)
		3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上		
件 数		290,878 (5.6)	1,248,970 (23.8)	2,990,437 (57.1)	658,875 (12.6)	48,556 (0.9)	5,237,716 (100.0)	6.6
	急病	151,651 (4.8)	722,383 (22.8)	1,862,460 (58.9)	402,980 (12.7)	24,348 (0.8)	3,163,822 (100.0)	6.4
	交通事故	39,473 (6.4)	154,671 (25.0)	335,753 (54.3)	80,762 (13.0)	8,064 (1.3)	618,723 (100.0)	6.4
	一般負傷	36,079 (5.2)	160,377 (23.3)	392,838 (57.1)	90,964 (13.2)	7,891 (1.2)	688,149 (100.0)	6.5
	その他	63,675 (8.3)	211,539 (27.6)	399,386 (52.0)	84,169 (11.0)	8,253 (1.1)	767,022 (100.0)	6.1

（注）（ ）内は構成比(単位：%)を示す。

**第37図 救急自動車による現場到着所要時間別出場件数の状況**

（平成18年中）



(2) 救急自動車による収容所要時間別搬送人員の状況

平成18年中の救急自動車による搬送人員489万2,593人について、収容所要時間別(救急事故の覚知から医療機関に収容するまでに要した時間別)の搬送人員の状況を示したのが第38表及び第39図である。これによると最も多いのが30分以上60分未満の199万1,713人で全体の40.7%を占めている。(別表8の1及び別表8の2参照)

第38表 救急自動車による収容所要時間別事故種別搬送人員の状況

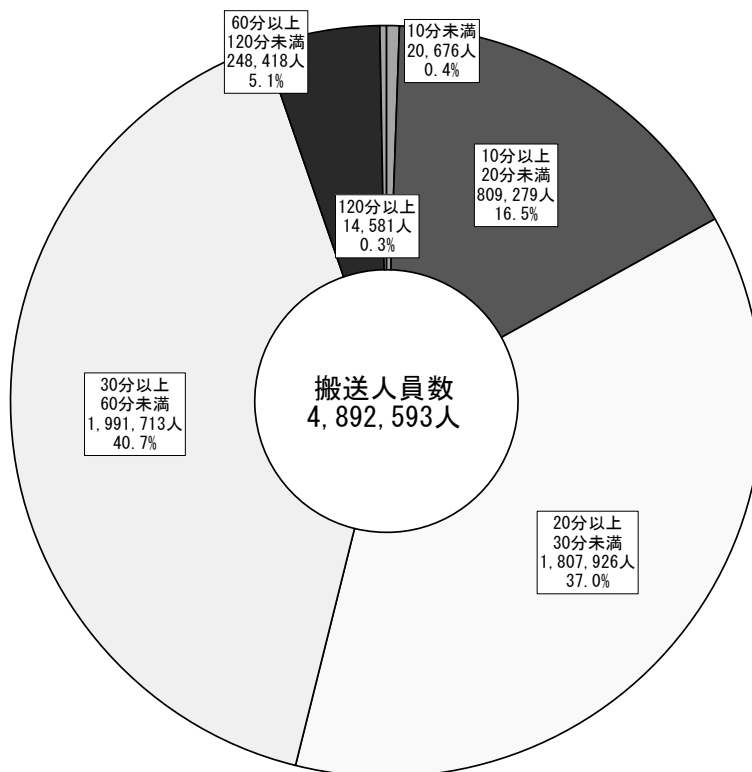
(平成18年中)

事故種別	収容所要時間						合計	平均(分)
	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 120分未満	120分 以上		
搬送人員	20,676 (0.4)	809,279 (16.5)	1,807,926 (37.0)	1,991,713 (40.7)	248,418 (5.1)	14,581 (0.3)	4,892,593 (100.0)	32.0
急病	10,841 (0.4)	450,362 (15.4)	1,111,745 (37.9)	1,217,800 (41.5)	132,254 (4.5)	7,548 (0.3)	2,930,550 (100.0)	31.5
交通事故	3,295 (0.5)	132,296 (20.2)	245,613 (37.4)	245,995 (37.5)	27,447 (4.2)	1,576 (0.2)	656,222 (100.0)	30.1
一般負傷	2,940 (0.5)	103,094 (16.0)	230,041 (35.8)	266,318 (41.4)	38,551 (6.0)	2,284 (0.3)	643,228 (100.0)	32.5
その他 (上記以外)	3,600 (0.5)	123,527 (18.6)	220,527 (33.3)	261,600 (39.5)	50,166 (7.6)	3,173 (0.5)	662,593 (100.0)	32.9

(注) ( )内は構成比(単位: %)を示す。

第39図 救急自動車による収容所要時間別搬送人員の状況

(平成18年中)



## 7 救急自動車による転送の状況

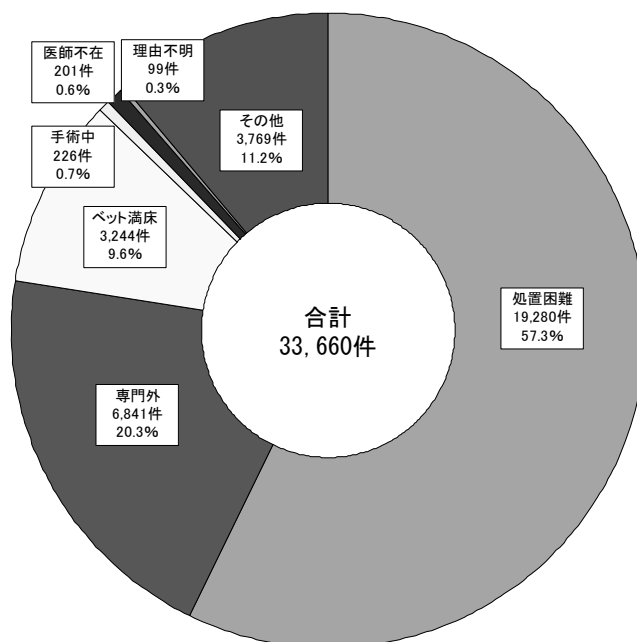
「転送」とは、傷病者を搬送した医療機関が収容不能であったため同一救急隊が引き続いて同一傷病者を他の医療機関に搬送した場合をいう。平成18年中の救急自動車による搬送人員489万2,593人のうち、3万3,232人(0.7%)が何らかの理由により1回以上転送されている。

1回以上転送された者3万3,232人(転送回数3万3,660回)について、転送されたつど医療機関側において収容できなかった理由を示したのが第40図である。

また転送者数の推移を見ると、平成18年中の全搬送人員のうち0.7%の傷病者が1回以上転送されているが、ここ数年その割合は横ばいである。

### 第40図 救急自動車による転送理由の状況

(平成18年中)



(注) 1件の事故で2名以上転送した場合は、搬送人員ごとにその転送理由を記載している。したがって、1件の事故で2名を転送した場合は、その理由が同じであっても、転送件数(理由)は2件となっている。

### 第41表 転送者数と全搬送人員数に占める割合の推移

区分	年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年
転送者数		36,423	36,833	35,057	33,901	33,708	35,122	33,232
搬送人員数に占める 転送者数の割合(%)		0.9	0.9	0.8	0.7	0.7	0.7	0.7
対前年増減数 (増減率%)		▲253 (▲0.7)	410 (1.1)	▲1,776 (▲4.8)	▲1,156 (▲3.3)	▲193 (▲0.6)	1,414 (4.2)	▲1,890 (▲5.4)

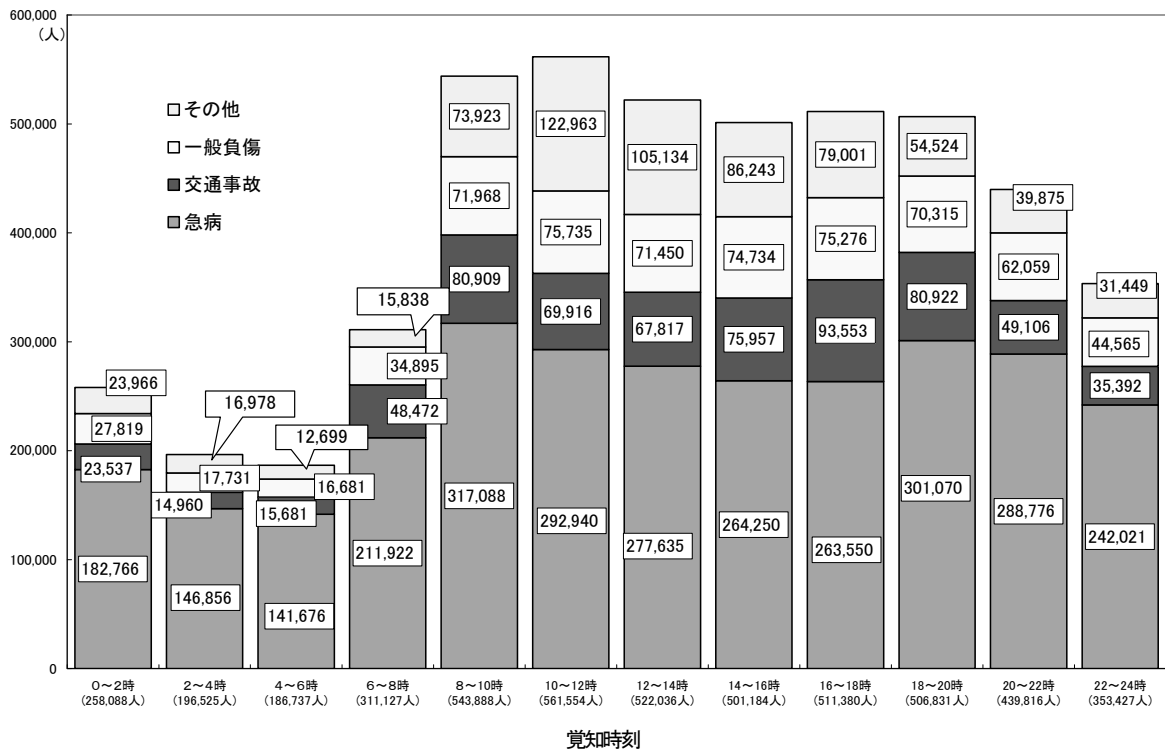
(注) 各年とも1月から12月までの数値と、それに基づく割合である。

## 8 救急自動車による覚知時刻別搬送人員の状況

覚知時刻による搬送人員は第42図のとおり、10時から12時までに於ける搬送人員が56万1,554人と最も多く、4時から6時までが18万6,737人と最も少なくなっている。(別表9参照)

第42図 救急自動車による覚知時刻別搬送人員の状況

(平成18年中 単位：人)



## 9 医師の現場出場の状況

交通事故、急病あるいは転院搬送などにおいて救急業務を実施する場合に傷病者が重篤な状態であり、医師の指示のもとに救急活動を行う場合は少なくない。このような事態に対応するため、消防機関において、あらかじめ医師を嘱託し、又は医師に要請して現場活動を実施しているところがある。

平成18年中において医師が現場に赴いた件数は、7,287件となっており、このうち急病が4,028件(55.3%)となっている。

## 10 救急隊員の行った応急処置等の状況

救急自動車による平成18年中の搬送人員のうち、応急処置等を実施した傷病者は、全体の98.1%にあたる480万1,493人で、その実施状況を事故種別ごとに示したのが第44表であり、傷病程度別に示したものが第45表である。

応急処置等の内容をみると、いずれの種別においても血圧測定及び血中酸素飽和度測定の処置が約4分の1で行われている。加えて急病においては保温と酸素吸入及び心音・呼吸音聴取の処置が、交通事故においては固定処置が多くなっている。

平成3年8月の「救急隊員の行う応急処置等の基準」（昭和53年消防庁告示第2号）の改正により拡大された応急処置等が実施された件数は、1,162万8,405件である。（第43表参照）

**第43表 拡大された応急処置等実施件数及び特定行為件数の推移**

区 分	年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年
拡大された 応急処置等件数		8,090,817	8,892,323	9,855,527	10,614,551	11,515,480	11,628,405
うち、医師による 指示を必要とする 応急処置等件数		36,777	41,962	47,135	54,383	67,129	78,490

(注) 1 拡大された応急処置等とは次のもの、及び2に掲げるものをいう。

- (1) 自動式心マッサージ
  - (2) 在宅療法の継続
  - (3) ショックパンツを使用した血圧保持等
  - (4) 血圧測定
  - (5) 聴診器を使用した心音・呼吸音聴取
  - (6) 血中酸素飽和度測定
  - (7) 心電図測定等
  - (8) 経鼻エアウェイによる気道確保
  - (9) 喉頭鏡、マギール鉗子による異物除去
- 2 医師による指示を必要とする応急処置等とは、次のものをいう。
- (1) 自動体外式除細動器による除細動(平成16年7月から可能となった救急救命士以外の救急隊員による実施分も含む)
  - (2) 静脈路確保のための輸液
  - (3) ラリングアルマスク等、器具による気道確保
  - (4) 気管挿管(救急救命士が実施可能とされた平成16年7月以降の数値である)
  - (5) 薬剤投与【アドレナリン投与】(救急救命士が実施可能とされた平成18年4月以降の数値である)
- 3 各年とも1月から12月までの数値である。

第44表 救急隊員の行った応急処置等の状況（事故種別別による分類）

（平成18年中 単位：人）

事故種別	急病	交通事故	一般負傷	その他	合計
応急処置等 対象搬送人員	2,901,051	635,008	628,166	637,268	4,801,493
応急処置等項目					
止血	14,698 (0.1)	35,869 (1.6)	61,764 (2.8)	21,348 (0.9)	133,679 (0.8)
被覆	17,211 (0.2)	141,131 (6.3)	182,539 (8.2)	55,351 (2.5)	396,232 (2.2)
固定	27,490 (0.3)	282,844 (12.7)	126,956 (5.7)	53,411 (2.4)	490,701 (2.8)
保温	1,082,156 (9.8)	125,629 (5.6)	185,392 (8.4)	196,948 (8.7)	1,590,125 (9.0)
酸素吸入	858,780 (7.8)	58,778 (2.6)	56,928 (2.6)	224,031 (9.9)	1,198,517 (6.8)
人工呼吸	14,793 (0.1)	907 (0.1)	1,587 (0.1)	3,815 (0.2)	21,102 (0.1)
胸骨圧迫	3,294 (0.0)	231 (0.0)	403 (0.0)	518 (0.0)	4,446 (0.0)
※うち自動式心マッサージ器	114	8	14	17	153
心肺蘇生	79,835 (0.7)	4,244 (0.2)	8,782 (0.4)	11,863 (0.5)	104,724 (0.6)
※うち自動式心マッサージ器	959	25	112	150	1,246
※在宅療法継続	19,891 (0.2)	288 (0.0)	1,458 (0.1)	12,487 (0.6)	34,124 (0.2)
※ショックパンツ	193 (0.0)	50 (0.0)	39 (0.0)	72 (0.0)	354 (0.0)
※血圧測定	2,658,598 (24.1)	571,742 (25.6)	540,086 (24.4)	538,431 (23.9)	4,308,857 (24.3)
※心音・呼吸音聴取	978,543 (8.9)	185,544 (8.3)	165,100 (7.5)	146,574 (6.5)	1,475,761 (8.3)
※血中酸素飽和度測定	2,792,384 (25.3)	598,750 (26.8)	584,159 (26.4)	599,055 (26.5)	4,574,348 (25.8)
※心電図測定	879,185 (8.0)	40,764 (1.8)	51,286 (2.3)	143,120 (6.3)	1,114,355 (6.3)
気道確保	153,791 (1.4)	8,504 (0.4)	15,208 (0.7)	26,576 (1.2)	204,079 (1.1)
※うち経鼻エアウェイ	18,592	673	1,524	2,720	23,509
※うち喉頭鏡、鉗子等	11,646	427	3,857	1,278	17,208
※うちラリソールマスク等	33,349	1,072	3,596	3,808	41,825
※うち気管挿管	4,074	118	790	353	5,335
※除細動	11,091 (0.1)	226 (0.0)	542 (0.0)	872 (0.0)	12,731 (0.1)
※静脈路確保	13,065 (0.1)	520 (0.0)	1,584 (0.1)	1,884 (0.1)	17,053 (0.1)
※薬剤投与	1,262 (0.0)	35 (0.0)	124 (0.0)	125 (0.0)	1,546 (0.0)
その他の処置	1,418,918 (12.9)	177,369 (8.0)	229,256 (10.3)	220,761 (9.8)	2,046,304 (11.5)
合計	11,025,178 (100.0)	2,233,425 (100.0)	2,213,193 (100.0)	2,257,242 (100.0)	17,729,038 (100.0)
拡大された応急処置等	7,422,946	1,400,242	1,354,271	1,450,946	11,628,405

第45表 救急隊員の行った現場応急処置等の状況（傷病程度別による分類）

（平成18年中 単位：人）

傷病程度	死亡	重症	中等症	軽症	その他	合計
応急処置等対象 搬送人員	67,474人	464,011人	1,769,750人	2,493,533人	6,725人	4,801,493人
応急処置等項目						
止血	489 (0.1)	8,511 (0.4)	32,947 (0.5)	91,567 (1.1)	165 (0.9)	133,679 (0.8)
被覆	849 (0.2)	17,320 (0.8)	80,557 (1.2)	296,992 (3.5)	514 (2.8)	396,232 (2.2)
固定	4,498 (1.2)	54,342 (2.6)	154,919 (2.3)	276,406 (3.3)	536 (2.9)	490,701 (2.8)
保温	14,404 (3.8)	145,612 (7.1)	648,933 (9.5)	779,747 (9.2)	1,429 (7.8)	1,590,125 (9.0)
酸素吸入	54,374 (14.4)	284,233 (13.9)	616,570 (9.0)	241,935 (2.8)	1,405 (7.7)	1,198,517 (6.8)
人工呼吸	3,379 (0.9)	12,802 (0.6)	4,026 (0.0)	848 (0.0)	47 (0.2)	21,102 (0.1)
胸骨圧迫	2,074 (0.6)	1,811 (0.1)	311 (0.0)	243 (0.0)	7 (0.0)	4,446 (0.0)
※うち自動式心マッサージ器	101	39	7	6	0	153
心肺蘇生	60,776 (16.1)	42,892 (2.1)	779 (0.0)	167 (0.0)	110 (0.6)	104,724 (0.6)
※うち自動式心マッサージ器	800	435	7	4	0	1,246
※在宅療法継続	1,510 (0.4)	8,639 (0.4)	18,837 (0.3)	5,126 (0.1)	12 (0.1)	34,124 (0.2)
※ショックパンツ	21 (0.0)	51 (0.0)	143 (0.0)	139 (0.0)	0 (0.0)	354 (0.0)
※血圧測定	11,227 (3.0)	396,419 (19.4)	1,653,978 (24.2)	2,242,841 (26.5)	4,392 (23.9)	4,308,857 (24.3)
※心音・呼吸音聴取	42,811 (11.3)	152,907 (7.5)	561,281 (8.2)	717,616 (8.5)	1,146 (6.2)	1,475,761 (8.3)
※血中酸素飽和度測定	24,196 (6.4)	427,166 (20.9)	1,726,449 (25.3)	2,391,641 (28.3)	4,896 (26.7)	4,574,348 (25.8)
※心電図測定	59,434 (15.7)	218,538 (10.7)	498,442 (7.3)	336,787 (4.0)	1,154 (6.3)	1,114,355 (6.3)
気道確保	59,108 (15.6)	81,149 (4.0)	46,703 (0.7)	16,887 (0.2)	232 (1.3)	204,079 (1.1)
※うち経鼻エアウェイ	7,358	10,067	4,548	1,525	11	23,509
※うち喉頭鏡、鉗子等	6,508	8,549	1,618	512	21	17,208
※うちラリゲアルマスク等	23,258	18,198	256	83	30	41,825
※うち気管挿管	3,070	2,231	21	6	7	5,335
※除細動	5,803 (1.5)	6,644 (0.3)	216 (0.0)	54 (0.0)	14 (0.1)	12,731 (0.1)
※静脈路確保	9,214 (2.4)	7,305 (0.4)	335 (0.0)	181 (0.0)	18 (0.1)	17,053 (0.1)
※薬剤投与	766 (0.2)	770 (0.0)	8 (0.0)	1 (0.0)	1 (0.0)	1,546 (0.0)
その他の処置	23,475 (6.2)	179,505 (8.8)	784,057 (11.5)	1,056,999 (12.5)	2,268 (12.4)	2,046,304 (11.5)
合計	378,408 (100.0)	2,046,616 (100.0)	6,829,491 (100.0)	8,456,177 (100.0)	18,346 (100.0)	17,729,038 (100.0)
拡大された応急処置等	196,077	1,257,958	4,466,146	5,696,522	11,702	11,628,405



(注) 第44表・第45表解説

- 1 1人につき複数の応急処置等を行うこともあるため、応急処置等対象搬送人員と事故種別ごとの応急処置等の計の数とは一致しない。
- 2 ( )内は構成比を示し、単位は%である。
- 3 ※は拡大された応急処置等の項目である。
- 4 応急処置等の項目は、次により記載した。
  - (1) 止血:止血帯・包帯等による止血処置
  - (2) 被覆:創傷をガーゼ等で被覆し、包帯をする創面保護
  - (3) 固定:副子等による固定又は安静保持
  - (4) 保温:傷病者の傷病状況から体温を保持する必要がある場合に行う保温処置
  - (5) 酸素吸入:酸素吸入器による酸素吸入
  - (6) 人工呼吸:口移し又は器具等による人工呼吸
  - (7) 胸骨圧迫:胸骨圧迫による心マッサージ
  - (8) 心肺蘇生:心肺機能停止状態の傷病者に行う気道確保、人工呼吸、胸骨圧迫を合わせた処置
  - (9) 自動式心マッサージ器:自動式心マッサージ器を使用した胸骨圧迫、心肺蘇生
  - (10) 在宅療法継続:在宅療法継続中の傷病者に対して、その療法維持のために行った必要な処置(安全確保等に留意し観察等を行ったことを含む)及び在宅療法に異常のあった場合に行った応急処置
  - (11) ショックパンツ:ショックパンツを使用した血圧保持(骨折肢の固定を含む)
  - (12) 血圧測定:血圧計を使用しての血圧測定
  - (13) 心音・呼吸音聴取:聴診器を使用しての心音・呼吸音の聴取
  - (14) 血中酸素飽和度測定:動脈血酸素飽和度測定器を使用しての血中酸素飽和度の測定
  - (15) 心電図測定:心電計を使用しての心電図測定及び伝送
  - (16) 気道確保:気道確保のための処置並びに口腔内の清拭及び吸引をいう。(経鼻エアウェイ、喉頭鏡・マギール鉗子等による異物除去法、救急救命士法に基づき重度傷病者に対して行う救急救命処置のうち、ラリングアルマスク等を使用しての気道確保については内数として記載)
  - (17) 気管挿管:救急救命士法に基づき重度傷病者に対して行う救急救命処置のうち、気管チューブを用いて行う気道確保をいう。
  - (18) 除細動:救急救命士法に基づき重度傷病者に対して行う救急救命処置のうち、自動体外式除細動器による除細動
  - (19) 静脈路確保:救急救命士法に基づき重度傷病者に対して行う救急救命処置のうち静脈路確保のための輸液
  - (20) 薬剤投与:救急救命士法に基づき重度傷病者に対して行う救急救命処置のうち静脈路よりの薬剤(アドレナリン)の投与
  - (21) その他:上記以外の応急処置
- 5 気管挿管処置件数については、救急救命士が実施可能とされた平成16年7月以降の実施件数である。
- 6 除細動処置件数は、平成16年7月から可能となった救急救命士以外の救急隊員による実施分も含む。
- 7 薬剤投与処置件数については、救急救命士が実施可能とされた平成18年4月以降の実施件数(全処置件数のうち、事故種別が判明しているもの)である。

## 11 応急手当の普及啓発活動等の状況及び応急手当の救命効果

### (1) 応急手当の普及啓発活動等の状況

応急手当の普及啓発活動については、「応急手当の普及啓発活動の推進に関する実施要綱」（平成5年3月30日付け消防救第41号消防庁次長通知平成16年12月改正）に基づき行われている。

その内容としては、リーダー育成として応急手当指導員講習（普通救命講習又は上級救命講習の指導にあたる応急手当指導員を養成する講習）及び応急手当普及員講習（事業所又は防災組織等において当該事業所の従業員又は防災組織等の構成員に対して行う普通救命講習の指導にあたる応急手当普及員を養成する講習）、バイスタンダー育成として普通救命講習（自動体外式除細動器（AED）の使用法を含む成人を対象とする心肺蘇生法、並びに大出血時の止血法の講習）及び上級救命講習（普通救命講習の内容に加え、小児・幼児・新生児の心肺蘇生法、傷病者管理法、外傷の手当、搬送法の講習）が行われている。

平成18年中に応急手当指導員養成講習は936回開催され、修了者数は9,391名であった。

一方、応急手当普及員養成講習は563回開催され、修了者数は1万612名であった。

地域住民等に対する応急手当普及啓発活動については、全国で普通救命講習は7万2,809回開催され、138万8,212名が受講し、上級救命講習は3,853回開催され、7万8,922名が受講したことから、受講者は四年連続100万人を突破した。

消防機関における普及啓発用資器材の保有状況は、蘇生訓練用人形が成人用1万5,713体、乳児用7,618体、外傷用模型セットが579セット、また、訓練用AEDが7,325個である。（第46表、別表10及び別表11参照）

第46表 応急手当普及啓発活動状況

(単位：人)

区分 年	指導員 講習等 修了者数	普及員 講習等 修了者数	普通講習 受講者数	上級講習 受講者数
平成6年中	20,887	4,646	246,356	10,680
平成7年中	13,690	7,292	395,045	19,212
平成8年中	10,144	6,208	491,300	25,758
平成9年中	9,329	7,037	589,798	33,670
平成10年中	8,983	7,244	655,700	34,807
平成11年中	9,796	8,006	797,979	41,135
平成12年中	10,175	7,966	861,699	48,393
平成13年中	7,996	7,626	901,039	53,795
平成14年中	7,579	7,999	970,898	58,410
平成15年中	7,979	8,983	1,081,946	61,746
平成16年中	6,918	9,494	1,053,715	65,895
平成17年中	9,004	10,385	1,147,904	68,081
平成18年中	9,391	10,612	1,388,212	78,922

(注) 各年とも1月から12月までの数値である。

(2) 応急手当の救命効果

平成18年中の救急自動車による現場到着所要平均時間は約6.6分であるが、それまでに救急現場近くの一般住民による応急手当が適切に実施されれば、より高い救命効果が期待できる。

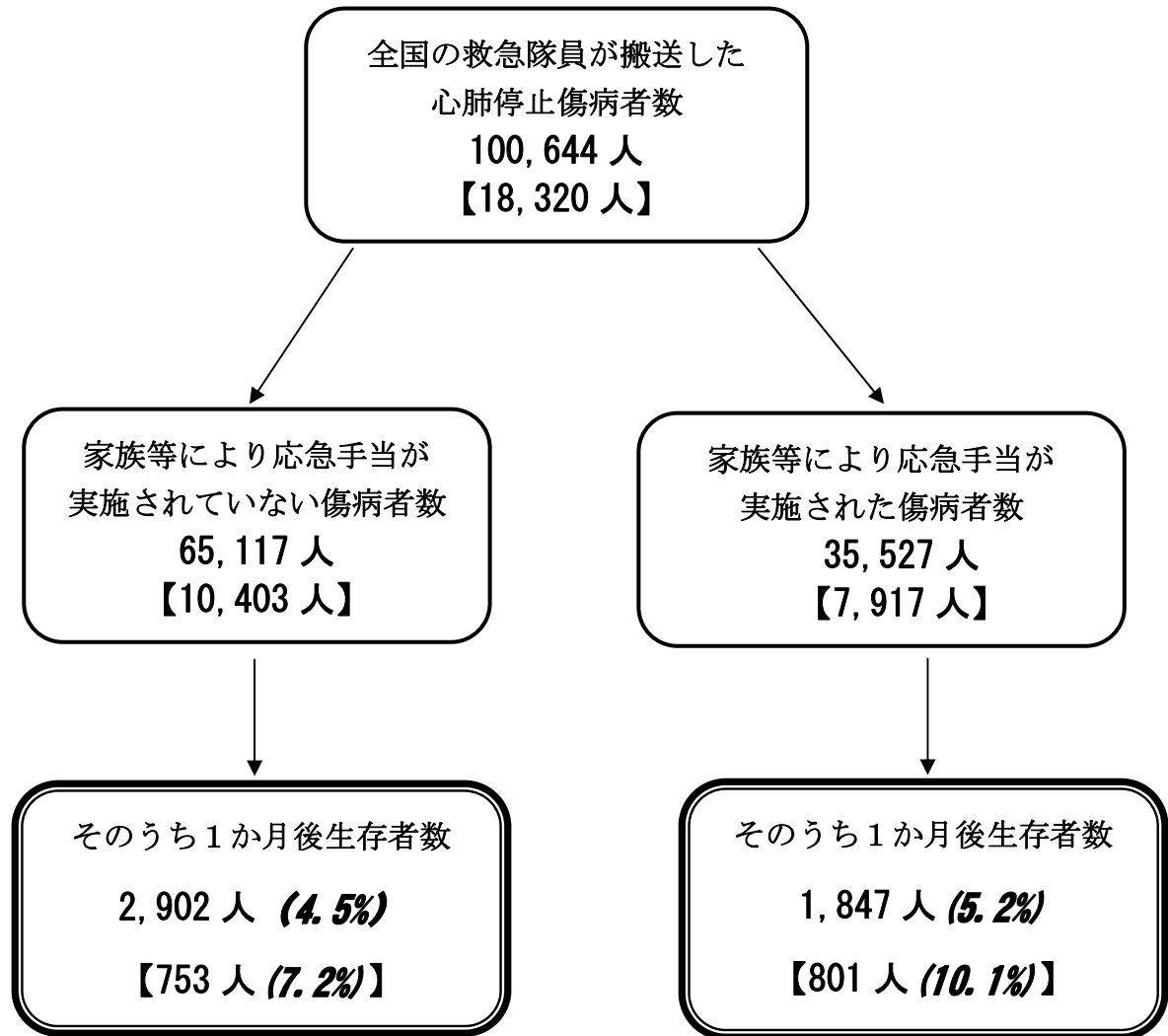
平成18年中における全国の救急隊が搬送したすべての心肺停止傷病者のうち、救急隊の到着時に家族等により応急手当が実施されている場合の傷病者の1か月後の生存者数の割合と、応急手当が実施されていない場合の割合を比較すると、第47図のとおり家族等により応急手当が実施されている場合の方が、0.7ポイント(約1.2倍)その救命効果が向上している。

また、心肺停止の時点が目撃された傷病者に限ってみると、救急隊の到着時に家族等により応急手当が実施されている場合の傷病者の1か月後の生存者数の割合と、応急手当が実施されていない場合の割合を比較すると、第47図のとおり家族等により応急手当が実施されている場合の方が、2.9ポイント(約1.4倍)その救命効果が向上している。

救急蘇生指標の集計を開始した平成6年からの推移を示したのが第48表である。家族等により応急手当が実施された傷病者の割合が年々増加している。(第49図参照)

### 第47図 応急手当の救命効果

(平成 18 年中)



(注) 【 】内は各々の項目のうち、心肺停止の時点が市民により目撃された心原性の傷病者数である。

第48表 応急手当の救命効果の推移

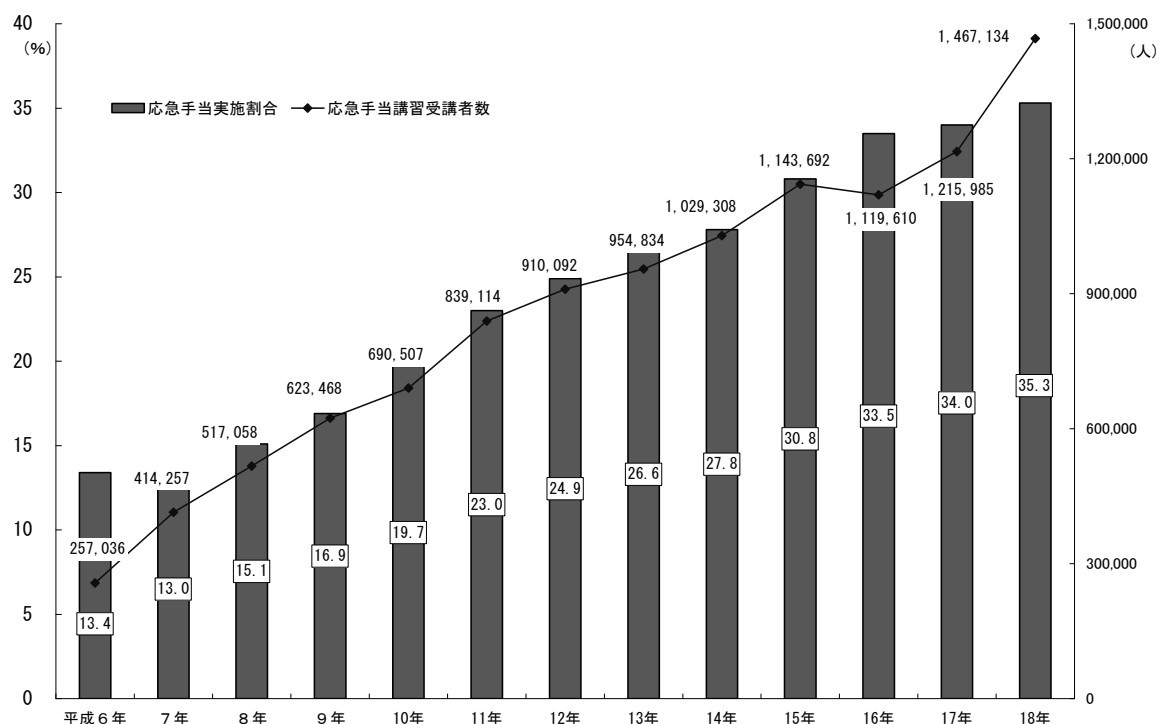
(単位：人)

	救急隊が搬送した 全ての心肺停止 傷病者数	家族等により 応急手当が 実施された 傷病者数		家族等による 応急手当が 実施されない 傷病者数	
			うち 1か月後 生存者数		うち 1か月後 生存者数
平成6年	31,206 (100.0)	4,172 (13.4)	185 (4.4)	27,034 (86.6)	617 (2.3)
平成7年	72,016 (100.0)	9,389 (13.0)	437 (4.7)	62,627 (87.0)	1,531 (2.4)
平成8年	72,542 (100.0)	10,954 (15.1)	446 (4.1)	61,588 (84.9)	1,488 (2.4)
平成9年	76,272 (100.0)	12,901 (16.9)	605 (4.7)	63,371 (83.1)	1,541 (2.4)
平成10年	80,970 (100.0)	15,923 (19.7)	830 (5.2)	65,047 (80.3)	1,733 (2.7)
平成11年	83,353 (100.0)	19,212 (23.0)	861 (4.5)	64,141 (77.0)	1,807 (2.8)
平成12年	84,899 (100.0)	21,121 (24.9)	881 (4.2)	63,778 (75.1)	1,964 (3.1)
平成13年	88,058 (100.0)	23,398 (26.6)	879 (3.8)	64,660 (73.4)	2,003 (3.1)
平成14年	91,691 (100.0)	25,491 (27.8)	1,065 (4.2)	66,200 (72.2)	2,160 (3.3)
平成15年	94,845 (100.0)	29,255 (30.8)	1,267 (4.3)	65,590 (69.2)	2,245 (3.4)
平成16年	94,920 (100.0)	31,815 (33.5)	1,376 (4.3)	63,105 (66.5)	2,363 (3.7)
平成17年	92,047 (100.0)	31,316 (34.0)	1,459 (4.7)	60,731 (66.0)	2,522 (4.2)
平成18年	100,644 (100.0)	35,527 (35.3)	1,847 (5.2)	65,117 (64.7)	2,902 (4.5)
合計	1,063,463 (100.0)	270,474 (25.4)	12,138 (4.5)	792,989 (74.6)	24,876 (3.1)

(注) 1 ( ) 内は構成比(単位：%)を示す。

- 平成6年は7～12月まで、平成7年以降は1～12月までの数値である。
- 平成6年～平成16年については、救急蘇生指標に基づいた数値である。
- 平成17年、平成18年については、ウツタイン様式に基づいた数値である。
- 平成18年中のデータについては、速報値である。

第49図 応急手当講習受講者数と心肺停止傷病者への応急手当実施率の推移



(注) 各年とも1月から12月までの数値である。

### 第3 救急医療体制等

#### 1 救急医療機関

救急病院等を定める省令(昭和39年厚生省令第8号)に基づき、救急隊により搬送される傷病者に関する医療を担当する医療機関として都道府県知事の告示を受けた救急病院及び救急診療所(以下「救急医療機関」という。)の状況を示したのが第50表である。全国で4,737箇所の救急医療機関があり、人口10万人あたりの救急医療機関数の全国平均は3.7箇所となっている。

(別表12参照)

第50表 開設者別救急医療機関の状況

(平成19年4月1日現在)

開設者 区分	公設医療機関				私的 医療機関	合計
	国立	公立	公的等	小計		
救急病院	171	766	368	1,305	2,824	4,129
救急診療所					608	608
合計	171	766	368	1,305	3,432	4,737

#### 2 メディカルコントロール体制の構築と救急救命処置範囲の拡大について

救急救命士を含む救急隊員が行う応急処置等の質を向上させ、救急業務を円滑に実施するためには、消防機関と医療機関との連携が必要不可欠であり、それぞれの地域における救急に係る諸課題について関係機関が恒常的に協議する場として、消防機関と救急医療機関との連絡協議会(メディカルコントロール協議会)を設置するよう推進してきた。平成16年中に各都道府県単位及び各地域単位のメディカルコントロール協議会について、全て設置が完了し、救急業務の質的向上に積極的に取り組んでいるところである。

救命効果の向上を図るための、救急救命士の処置範囲の拡大については、メディカルコントロール体制の整備を前提とした上で、平成15年4月から医師の包括的指示下による除細動、平成16年7月からは医師の具体的指示下における気管挿管が可能となり、さらに平成18年4月からは医師の具体的指示下において薬剤(アドレナリン)の使用が認められている。

救急救命士制度導入の効果として、平成18年中に救急隊が搬送した心肺停止傷病者のうち、心原性による心肺停止の時点が目撃された傷病者について、救急救命士によって処置された場合と、一般隊員によって処置された場合の1ヵ月後の生存者数と割合を比較すると、救急救命士によって処置をされた傷病者の方が5.1ポイント(約2.4倍)、救命効果が向上している。

(第51表参照)

第51表 救急救命士の導入効果

	救急隊が搬送した心肺停止傷病者総数	一般市民により心肺停止の時点が目撃された心原性の傷病者	救急救命士によって処置された傷病者数		一般救急隊員によって処置された傷病者数			1か月後生存者合計		救急救命士の導入効果		
			傷病者数	うち1か月後生存者	傷病者数	うち1か月後生存者		A-B	倍率			
				(A)		(B)	(B)					
平成17年	92,047	16,257	14,914	1,138	7.6	1,343	31	2.3	1,169	7.2	5.3	3.3
平成18年	100,644	18,320	17,194	1,512	8.8	1,126	42	3.7	1,554	8.5	5.1	2.4

(注) 1 本表については、ウツタイン様式に基づいた数値である。

2 平成18年中のデータについては、速報値である。





別表1 救急業務実施市町村数

(平成19年4月1日現在)

	市 町 村 数				救 急 業 務 実 施 市 町 村 数																未実施			実施率 (B)/(A) (%)
	市	町	村	計 (A)	単 独 実 施				組 合 実 施				委 託 実 施				計				(役場救急等含む)			
					市	町	村	計	市	町	村	計	市	町	村	計	市	町	村	計(B)	町	村	計	
北海道	35	130	15	180	20	6	0	26	15	123	15	153	0	1	0	1	35	130	15	180	0	0	0	100.0
青森	10	22	8	40	3	1	0	4	7	21	8	36	0	0	0	0	10	22	8	40	0	0	0	100.0
岩手	13	16	6	35	4	0	0	4	9	15	5	29	0	2	0	2	13	17	5	35	0	0	0	100.0
宮城	13	22	1	36	5	0	0	5	8	22	1	31	0	0	0	0	13	22	1	36	0	0	0	100.0
秋田	13	9	3	25	6	1	0	7	7	8	2	17	0	0	1	1	13	9	3	25	0	0	0	100.0
山形	13	19	3	35	9	2	0	11	4	13	3	20	0	4	0	4	13	19	3	35	0	0	0	100.0
福島	13	32	15	60	2	0	0	2	11	32	15	58	0	0	0	0	13	32	15	60	0	0	0	100.0
茨城	32	10	2	44	14	4	1	19	18	5	1	24		1		1	32	10	2	44	0	0	0	100.0
栃木	14	17	0	31	5	0	0	5	9	16	0	25	0	1	0	1	14	17	0	31	0	0	0	100.0
群馬	12	16	10	38	4	0	0	4	7	14	9	30	1	2	1	4	12	16	10	38	0	0	0	100.0
埼玉	40	29	1	70	20	3	0	23	20	25	1	46	0	1	0	1	40	29	1	70	0	0	0	100.0
千葉	36	17	3	56	22	1	0	23	14	15	3	32	0	1	0	1	36	17	3	56	0	0	0	100.0
東京	27	5	8	40	3	2	1	6	0	0	0	0	24	3	1	28	27	5	2	34	0	6	6	85.0
神奈川	19	13	1	33	18	7	0	25	1	5	0	6	0	1	1	2	19	13	1	33	0	0	0	100.0
新潟	20	9	6	35	11	1	0	12	9	6	5	20	0	2	1	3	20	9	6	35	0	0	0	100.0
富山	10	4	1	15	8	4	0	12	2	0	0	2	0	0	1	1	10	4	1	15	0	0	0	100.0
石川	10	9	0	19	4	2	0	6	6	7	0	13	0	0	0	0	10	9	0	19	0	0	0	100.0
福井	9	8	0	17	3	1	0	4	6	7	0	13	0	0	0	0	9	8	0	17	0	0	0	100.0
山梨	13	9	6	28	5	0	0	5	8	9	3	20	0	0	3	3	13	9	6	28	0	0	0	100.0
長野	19	25	37	81	2	0	0	2	17	21	34	72	0	4	3	7	19	25	37	81	0	0	0	100.0
岐阜	21	19	2	42	14	1	0	15	6	18	1	25	1	0	1	2	21	19	2	42	0	0	0	100.0
静岡	23	19	0	42	13	3	0	16	10	14	0	24	0	2	0	2	23	19	0	42	0	0	0	100.0
愛知	35	26	2	63	25	3	0	28	10	18	1	29	0	5	1	6	35	26	2	63	0	0	0	100.0
三重	14	15	0	29	10	1	0	11	3	6	0	9	1	8	0	9	14	15	0	29	0	0	0	100.0
滋賀	13	13	0	26	3	0	0	3	10	10	0	20	0	3	0	3	13	13	0	26	0	0	0	100.0
京都	15	10	1	26	9	2	0	11	6	6	1	13	0	2	0	2	15	10	1	26	0	0	0	100.0
大阪	33	9	1	43	23	5	0	28	10	1	0	11	0	2	1	3	33	8	1	42	1	0	1	97.7
兵庫	29	12	0	41	25	2	0	27	4	3	0	7	0	7	0	7	29	12	0	41	0	0	0	100.0
奈良	12	15	12	39	6	0	0	6	6	15	8	29	0	0	2	2	12	15	10	37	0	2	2	94.9
和歌山	9	20	1	30	7	6	0	13	2	10	0	12	0	3	0	3	9	19	0	28	1	1	2	93.3
鳥取	4	14	1	19	0	0	0	0	4	14	1	19	0	0	0	0	4	14	1	19	0	0	0	100.0
島根	8	12	1	21	5	0	0	5	3	10	1	14	0	2	0	2	8	12	1	21	0	0	0	100.0
岡山	15	10	2	27	10	0	0	10	5	8	0	13	0	2	2	4	15	10	2	27	0	0	0	100.0
広島	14	9	0	23	9	2	0	11	5	2	0	7	0	5	0	5	14	9	0	23	0	0	0	100.0
山口	13	9	0	22	9	0	0	9	4	7	0	11	0	2	0	2	13	9	0	22	0	0	0	100.0
徳島	8	15	1	24	5	0	0	5	3	13	0	16	0	0	0	0	8	13	0	21	2	1	3	87.5
香川	8	9	0	17	4	1	0	5	4	4	0	8	0	3	0	3	8	8	0	16	1	0	1	94.1
愛媛	11	9	0	20	7	3	0	10	4	6	0	10	0	0	0	0	11	9	0	20	0	0	0	100.0
高知	11	18	6	35	8	0	0	8	3	17	5	25	0	1	1	2	11	18	6	35	0	0	0	100.0
福岡	28	34	4	66	11	1	0	12	17	33	4	54	0	0	0	0	28	34	4	66	0	0	0	100.0
佐賀	10	13	0	23	2	1	0	3	8	11	0	19	0	1	0	1	10	13	0	23	0	0	0	100.0
長崎	13	10	0	23	6	1	0	7	6	2	0	8	1	7	0	8	13	10	0	23	0	0	0	100.0
熊本	14	26	8	48	1	0	0	1	13	26	8	47	0	0	0	0	14	26	8	48	0	0	0	100.0
大分	14	3	1	18	12	0	0	12	2	3	0	5	0	0	1	1	14	3	1	18	0	0	0	100.0
宮崎	9	18	3	30	7	0	0	7	2	7	0	9	0	7	0	7	9	14	0	23	4	3	7	76.7
鹿児島	17	28	4	49	7	1	0	8	10	27	2	39	0	0	0	0	17	28	2	47	0	2	2	95.9
沖縄	11	11	19	41	10	1	0	11	1	8	9	18	0	0	0	0	11	9	9	29	2	10	12	70.7
計	783	827	195	1,805	416	69	2	487	339	663	146	1,148	28	85	21	134	783	817	169	1,769	11	25	36	98.0

別表 2 救急業務実施市町村人口

(平成19年4月1日現在)

	市町村数	17年国調		実施市町村合計		単独実施市町村		組合実施市町村		委託実施市町村		実施率 (B)/(A)
		人口(A)	市町村数	人口(B)	市町村数	人口	市町村数	人口	市町村数	人口		
北海道	180	5,627,737	180	5,627,737	26	3,904,187	153	1,713,153	1	10397	100.0%	
青森	40	1,436,657	40	1,436,657	4	130,908	36	1,305,749	0	0	100.0%	
岩手	35	1,385,041	35	1,385,041	4	286,957	29	1,079,652	2	18432	100.0%	
宮城	36	2,360,218	36	2,360,218	5	1,307,245	31	1,052,973	0	0	100.0%	
秋田	25	1,145,501	25	1,145,501	7	689,519	17	452,875	1	3107	100.0%	
山形	35	1,216,181	35	1,216,181	11	766,157	20	405,259	4	44,765	100.0%	
福島	60	2,091,319	60	2,091,319	2	645,361	58	1,445,958	0	0	100.0%	
茨城	44	2,975,167	44	2,975,167	19	1,704,347	24	1,247,827	1	22,993	100.0%	
栃木	31	2,016,631	31	2,016,631	5	1,020,741	25	969,983	1	25,907	100.0%	
群馬	38	2,024,135	38	2,024,135	4	862,367	30	1,007,699	4	154069	100.0%	
埼玉	70	7,054,243	70	7,054,243	23	4,504,529	46	2,512,653	1	37,061	100.0%	
千葉	56	6,056,462	56	6,056,462	23	4,877,061	32	1,172,696	1	6705	100.0%	
東京	40	12,576,601	34	12,567,835	6	8,701,453	0	0	28	3,866,382	99.9%	
神奈川	33	8,791,597	33	8,791,597	25	8,667,362	6	112,014	2	12,221	100.0%	
新潟	35	2,431,459	35	2,431,459	12	1,681,958	20	730,644	3	18,857	100.0%	
富山	15	1,111,729	15	1,111,729	12	1,001,487	2	107,569	1	2,673	100.0%	
石川	19	1,174,026	19	1,174,026	6	736,128	13	437,898	0	0	100.0%	
福井	17	821,592	17	821,592	4	354,712	13	466,880	0	0	100.0%	
山梨	28	884,515	28	884,515	5	238,648	20	642,018	3	3,849	100.0%	
長野	81	2,196,114	81	2,196,114	2	432,180	72	1,710,941	7	52,993	100.0%	
岐阜	42	2,107,226	42	2,107,226	15	1,296,596	25	758,638	2	51,992	100.0%	
静岡	42	3,792,377	42	3,792,377	16	2,912,637	24	844,052	2	35,688	100.0%	
愛知	63	7,254,704	63	7,254,704	28	5,810,179	29	1,371,908	6	72,617	100.0%	
三重	29	1,866,963	29	1,866,963	11	1,373,125	9	346,249	9	147,589	100.0%	
滋賀	26	1,380,361	26	1,380,361	3	487,448	20	869,247	3	23,666	100.0%	
京都	26	2,647,660	26	2,647,660	11	2,209,332	13	419,317	2	19,011	100.0%	
大阪	43	8,817,166	42	8,804,269	28	6,621,255	11	2,154,753	3	28,261	99.9%	
兵庫	41	5,590,601	41	5,590,601	27	5,168,504	7	258,554	7	163,543	100.0%	
奈良	39	1,421,310	37	1,416,177	6	708,950	29	705,213	2	2,014	99.6%	
和歌山	30	1,035,969	28	1,031,893	13	769,422	12	238,977	3	23,494	99.6%	
鳥取	19	607,012	19	607,012	0	0	19	607,012	0	0	100.0%	
島根	21	742,223	21	742,223	5	490,498	14	210,088	2	41637	100.0%	
岡山	27	1,957,264	27	1,957,264	10	1,541,307	13	387,293	4	28,664	100.0%	
広島	23	2,876,642	23	2,876,642	11	2,124,678	7	658,221	5	93,743	100.0%	
山口	22	1,492,606	22	1,492,606	9	1,133,518	11	347,367	2	11,721	100.0%	
徳島	24	809,950	21	798,892	5	485,715	16	313,177	0	0	98.6%	
香川	17	1,012,400	16	1,008,862	5	644,584	8	292,400	3	71,878	99.7%	
愛媛	20	1,467,815	20	1,467,815	10	1,145,003	10	322,812	0	0	100.0%	
高知	35	796,292	35	796,292	8	533,170	25	255,528	2	7,594	100.0%	
福岡	66	5,049,908	66	5,049,908	12	3,178,648	54	1,871,260	0	0	100.0%	
佐賀	23	866,369	23	866,369	3	210,876	19	648,755	1	6,738	100.0%	
長崎	23	1,478,632	23	1,478,632	7	891,538	8	424,491	8	162,603	100.0%	
熊本	48	1,842,233	48	1,842,233	1	669,603	47	1,172,630	0	0	100.0%	
大分	18	1,209,571	18	1,209,571	12	1,042,346	5	164,756	1	2469	100.0%	
宮崎	30	1,153,042	23	1,114,643	7	832,543	9	159,317	7	122,783	96.7%	
鹿児島	49	1,753,179	47	1,752,044	8	894,664	39	857,380	0	0	99.9%	
沖縄	41	1,361,594	29	1,340,447	11	1,023,794	18	316,653	0	0	98.4%	
合計	1,805	127,767,994	1,769	127,661,845	487	86,713,240	1,148	35,550,489	134	5,398,116	99.9%	

別表3の1 都道府県別救急体制

(平成19年4月1日現在)

区分 都道府県	救急自動車数					救急 隊数	救急隊員数					
	合計 (a)	高規格の 救急自動 車数(b)	高規格の 救急自動 車以外	比率 (b)/(a)	(a)の うち 非常用		合計	うち 女性	専任	うち 女性	兼任	うち 女性
北海道	385	227	158	59.0%	71	308	4,446	21	844	12	3,602	9
青森	108	60	48	55.6%	19	87	1,258	2	336	2	922	0
岩手	96	80	16	83.3%	14	82	1,223	3	231	0	992	3
宮城	101	80	21	79.2%	16	85	983	11	339	5	644	6
秋田	84	43	41	51.2%	10	73	904	0	116	0	788	0
山形	68	39	29	57.4%	8	59	802	1	125	1	677	0
福島	129	50	79	38.8%	12	117	1,498	7	175	2	1,323	5
茨城	162	129	33	79.6%	18	144	2,285	13	538	8	1,747	5
栃木	96	78	18	81.3%	13	82	993	7	374	3	619	4
群馬	106	91	15	85.8%	12	94	928	10	247	10	681	0
埼玉	246	209	37	85.0%	35	211	2,141	57	1,289	50	852	7
千葉	247	186	61	75.3%	48	200	2,003	34	1,222	34	781	0
東京	321	317	4	98.8%	86	235	2,140	86	2,117	86	23	0
神奈川	267	260	7	97.4%	65	203	1,792	60	1,588	59	204	1
新潟	152	83	69	54.6%	27	134	1,684	11	348	2	1,336	9
富山	63	56	7	88.9%	10	53	618	2	91	0	527	2
石川	55	52	3	94.5%	8	47	657	4	149	2	508	2
福井	54	36	18	66.7%	5	49	485	4	100	1	385	3
山梨	63	36	27	57.1%	11	54	614	0	148	0	466	0
長野	144	94	50	65.3%	26	115	1,731	15	241	6	1,490	9
岐阜	142	98	44	69.0%	21	124	1,461	11	140	4	1,321	7
静岡	160	123	37	76.9%	29	132	1,492	24	528	14	964	10
愛知	242	231	11	95.5%	27	215	2,953	28	1,023	14	1,930	14
三重	115	74	41	64.3%	15	99	1,644	8	128	2	1,516	6
滋賀	65	55	10	84.6%	8	57	909	3	184	3	725	0
京都	105	89	16	84.8%	23	78	1,032	18	415	16	617	2
大阪	277	252	25	91.0%	67	203	2,405	28	1,495	26	910	2
兵庫	206	181	25	87.9%	25	178	2,129	33	893	28	1,236	5
奈良	78	44	34	56.4%	11	65	914	4	181	2	733	2
和歌山	79	67	12	84.8%	14	64	803	10	141	9	662	1
鳥取	33	24	9	72.7%	3	30	515	1	60	0	455	1
島根	78	43	35	55.1%	13	62	776	2	75	1	701	1
岡山	111	74	37	66.7%	15	96	1,761	7	191	4	1,570	3
広島	159	126	33	79.2%	31	126	1,260	12	642	10	618	2
山口	85	71	14	83.5%	13	69	993	13	146	4	847	9
徳島	48	31	17	64.6%	7	41	530	2	114	2	416	0
香川	52	44	8	84.6%	0	42	375	1	212	0	163	1
愛媛	90	59	31	65.6%	17	74	766	0	220	0	546	0
高知	62	31	31	50.0%	14	47	692	4	121	4	571	0
福岡	171	146	25	85.4%	27	143	1,548	33	800	28	748	5
佐賀	50	42	8	84.0%	4	42	582	2	140	0	442	2
長崎	85	45	40	52.9%	13	72	696	1	131	1	565	0
熊本	111	58	53	52.3%	21	95	849	7	307	7	542	0
大分	70	38	32	54.3%	12	61	634	3	216	3	418	0
宮崎	47	43	4	91.5%	8	38	500	1	148	1	352	0
鹿児島	134	47	87	35.1%	32	104	940	3	279	3	661	0
沖縄	73	49	24	67.1%	19	57	872	6	137	4	735	2
合計	5,875	4,391	1,484	74.7%	1,003	4,846	59,216	613	19,685	473	39,531	140

## 別表3の2 資格別救急隊員数調

(平成19年4月1日現在)

都道府県	専任 合計	旧救急 I 課程 修了者	旧救急 II 課程 修了者	救急科【旧救急 標準課程 修了者含む】	救急 救命士 資格者	兼任 合計	旧救急 I 課程 修了者	旧救急 II 課程 修了者	救急科【旧救急 標準課程 修了者含む】	救急 救命士 資格者
北海道	844	2	184	203	455	3,602	226	1,368	1,150	858
青森	336	3	73	107	153	922	50	269	506	97
岩手	231	0	50	111	70	992	23	304	465	200
宮城	339	0	12	89	238	644	5	154	420	65
秋田	116	0	13	21	82	788	30	177	457	124
山形	125	0	4	32	89	677	52	299	237	89
福島	175	5	24	26	120	1,323	189	640	350	144
茨城	538	6	91	156	285	1,747	103	685	842	117
栃木	374	0	106	101	167	619	21	284	202	112
群馬	247	0	38	54	155	681	58	242	286	95
埼玉	1,289	1	146	522	620	852	101	220	372	159
千葉	1,222	4	225	468	525	781	75	193	379	134
東京	2,117	0	875	55	1,187	23	0	7	9	7
神奈川	1,588	28	262	374	924	204	16	84	54	50
新潟	348	5	83	89	171	1,336	125	535	472	204
富山	91	0	9	19	63	527	9	234	141	143
石川	149	0	8	32	109	508	20	174	228	86
福井	100	0	10	28	62	385	8	106	180	91
山梨	148	10	16	36	86	466	27	191	180	68
長野	241	1	59	40	141	1,490	31	783	417	259
岐阜	140	0	17	15	108	1,321	94	651	376	200
静岡	528	19	82	185	242	964	102	244	467	151
愛知	1,023	1	190	184	648	1,930	81	917	654	278
三重	128	0	3	6	119	1,516	123	866	390	137
滋賀	184	0	20	26	138	725	112	215	316	82
京都	415	0	49	126	240	617	64	207	225	121
大阪	1,495	21	93	478	903	910	90	222	398	200
兵庫	893	27	90	183	593	1,236	68	546	294	328
奈良	181	2	45	22	112	733	23	402	194	114
和歌山	141	0	17	21	103	662	51	254	194	163
鳥取	60	0	4	10	46	455	28	267	100	60
島根	75	0	10	18	47	701	3	396	191	111
岡山	191	0	5	53	133	1,570	73	872	475	150
広島	642	0	81	176	385	618	15	197	250	156
山口	146	0	12	29	105	847	56	315	326	150
徳島	114	2	7	42	63	416	16	185	139	76
香川	212	1	35	50	126	163	15	37	72	39
愛媛	220	0	24	43	153	546	21	244	215	66
高知	121	0	34	9	78	571	22	321	118	110
福岡	800	30	168	181	421	748	97	210	314	127
佐賀	140	0	15	20	105	442	56	163	161	62
長崎	131	0	26	36	69	565	46	276	107	136
熊本	307	0	44	94	169	542	62	99	304	77
大分	216	8	49	30	129	418	22	214	126	56
宮崎	148	1	10	43	94	352	0	166	113	73
鹿児島	279	4	27	52	196	661	43	257	268	93
沖縄	137	1	10	23	103	735	30	238	305	162
合計	19,685	182	3,455	4,718	11,330	39,531	2,582	15,930	14,439	6,580

別表4 救急自動車による都道府県別

区分	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病
北海道	1,317	18	224	16,815	2,228	1,444	28,244	1,218	4,346	130,411
青森	300	0	92	3,741	329	235	4,729	242	591	24,605
岩手	135	8	33	4,071	363	375	5,081	182	706	26,450
宮城	414	8	87	8,590	649	568	9,150	490	1,441	48,559
秋田	168	24	28	3,124	375	265	4,412	112	603	23,775
山形	187	7	30	3,563	374	269	4,886	122	563	23,874
福島	286	7	44	7,753	663	625	8,310	360	1,004	44,114
茨城	491	5	129	15,966	1,182	847	11,922	876	1,561	61,667
栃木	339	5	38	10,063	739	438	6,854	454	1,154	38,732
群馬	368	0	18	9,737	851	629	9,026	458	980	43,934
埼玉	1,840	12	130	37,463	3,315	2,531	32,745	3,036	4,405	159,958
千葉	1,307	30	204	30,481	2,433	1,476	32,991	2,524	3,474	153,643
東京	3,904	13	575	80,943	5,105	5,674	105,806	9,067	6,129	431,125
神奈川	1,980	23	207	42,379	3,482	2,875	54,434	4,124	5,007	240,794
新潟	278	22	119	8,828	1,080	614	11,222	390	1,276	48,164
富山	136	1	44	3,836	382	247	4,600	158	505	19,649
石川	111	4	44	4,249	445	277	4,867	172	486	20,377
福井	99	0	45	3,002	293	205	3,188	105	299	13,322
山梨	158	2	23	4,693	318	368	4,342	174	500	19,182
長野	332	45	47	8,230	857	721	11,478	339	897	47,049
岐阜	165	2	89	10,777	934	516	9,217	384	997	43,596
静岡	526	2	192	16,764	1,745	998	17,015	816	1,659	81,089
愛知	1,468	3	167	35,481	3,252	1,647	32,585	2,203	3,675	175,890
三重	315	2	75	9,017	846	395	9,031	438	908	43,383
滋賀	224	0	32	7,664	789	505	6,642	292	666	31,024
京都	543	7	69	17,180	919	764	15,234	1,103	1,539	72,864
大阪	2,883	5	133	57,425	4,197	2,674	66,203	7,121	6,757	319,481
兵庫	1,018	2	129	26,103	1,962	1,344	31,237	1,951	3,354	134,005
奈良	255	1	23	7,209	595	352	7,810	346	737	33,064
和歌山	88	4	81	6,030	414	201	6,079	301	574	27,259
鳥取	194	0	37	2,214	182	192	2,803	106	271	13,264
島根	41	9	46	2,561	217	247	3,598	85	367	15,276
岡山	237	3	65	10,152	734	384	9,237	389	849	40,955
広島	405	11	115	14,396	1,080	819	14,917	729	1,402	62,210
山口	310	10	60	6,499	597	464	8,381	330	785	36,783
徳島	33	0	42	4,129	313	208	3,402	169	262	15,702
香川	268	1	37	6,217	412	338	5,196	255	503	22,557
愛媛	187	3	50	7,403	566	375	7,202	353	782	33,341
高知	97	0	50	3,922	381	276	5,203	242	491	20,220
福岡	886	57	187	22,508	1,622	1,413	25,893	1,584	3,321	123,833
佐賀	124	15	38	3,914	308	246	3,613	166	360	15,075
長崎	61	41	70	4,452	332	363	6,737	242	666	29,816
熊本	375	12	82	8,569	572	721	8,836	379	1,235	40,742
大分	118	5	46	4,440	335	296	5,412	187	494	22,904
宮崎	203	14	45	4,013	271	302	3,842	221	608	19,290
鹿児島	237	21	84	6,717	537	516	7,825	375	969	37,174
沖縄	190	11	129	5,440	304	429	6,712	557	955	33,641
合計	25,601	475	4,334	618,723	49,879	37,668	688,149	45,927	71,113	3,163,822
平成17年中	26,015	485	4,089	654,621	49,448	36,603	685,657	47,467	68,242	3,167,046
増減数	▲ 414	▲ 10	245	▲ 35,898	431	1,065	2,492	▲ 1,540	2,871	▲ 3,224
増減率	▲ 1.6	▲ 2.1	6.0	▲ 5.5	0.9	2.9	0.4	▲ 3.2	4.2	▲ 0.1

# 事故種別救急出場件数

(平成18年中)

転院搬送	医師搬送	資器材等 輸送	その他	合 計	平成17年中	増減数	対前年 増減率 (%)	人 口 (平成17年 国勢調査値)	救急業務実施 市町村人口	人口1万 人あたりの救急出 場件数	区分
											都道府県
28,647	501	16	4,185	<b>219,614</b>	218,623	991	0.5	5,627,737	5,627,737	390.2	北海道
6,037	29	36	331	<b>41,297</b>	42,317	▲ 1,020	▲ 2.4	1,436,657	1,436,657	287.5	青 森
5,393	7	6	164	<b>42,974</b>	43,127	▲ 153	▲ 0.4	1,385,041	1,385,041	310.3	岩 手
12,905	5	15	1,383	<b>84,264</b>	83,906	358	0.4	2,360,218	2,360,218	357.0	宮 城
3,201	3	1	354	<b>36,445</b>	36,299	146	0.4	1,145,501	1,145,501	318.2	秋 田
4,000	2	1	223	<b>38,101</b>	38,957	▲ 856	▲ 2.2	1,216,181	1,216,181	313.3	山 形
6,405	86	107	605	<b>70,369</b>	72,058	▲ 1,689	▲ 2.3	2,091,319	2,091,319	336.5	福 島
9,047	68	7	1,116	<b>104,884</b>	103,644	1,240	1.2	2,975,167	2,975,167	352.5	茨 城
7,889	13	3	620	<b>67,341</b>	68,003	▲ 662	▲ 1.0	2,016,631	2,016,631	333.9	栃 木
7,011	64	1	632	<b>73,709</b>	75,300	▲ 1,591	▲ 2.1	2,024,135	2,024,135	364.2	群 馬
19,927	63	101	3,659	<b>269,185</b>	272,565	▲ 3,380	▲ 1.2	7,054,243	7,054,243	381.6	埼 玉
22,315	69	50	5,610	<b>256,607</b>	259,838	▲ 3,231	▲ 1.2	6,056,462	6,056,462	423.7	千 葉
35,887	239	546	10,127	<b>695,140</b>	708,612	▲ 13,472	▲ 1.9	12,576,601	12,567,835	553.1	東 京
24,612	49	106	4,807	<b>384,879</b>	396,841	▲ 11,962	▲ 3.0	8,791,597	8,791,597	437.8	神奈川
9,199	5	2	1,008	<b>82,207</b>	83,694	▲ 1,487	▲ 1.8	2,431,459	2,431,459	338.1	新 潟
3,095	15	45	290	<b>33,003</b>	32,834	169	0.5	1,111,729	1,111,729	296.9	富 山
2,866	2	1	315	<b>34,216</b>	33,675	541	1.6	1,174,026	1,174,026	291.4	石 川
2,728	12	6	152	<b>23,456</b>	23,478	▲ 22	▲ 0.1	821,592	821,592	285.5	福 井
2,877	2	47	380	<b>33,066</b>	33,308	▲ 242	▲ 0.7	884,515	884,515	373.8	山 梨
8,212	128	7	534	<b>78,876</b>	78,468	408	0.5	2,196,114	2,196,114	359.2	長 野
6,198	40	27	328	<b>73,270</b>	73,672	▲ 402	▲ 0.5	2,107,226	2,107,226	347.7	岐 阜
14,396	49	20	1,239	<b>136,510</b>	136,818	▲ 308	▲ 0.2	3,792,377	3,792,377	360.0	静 岡
21,110	269	462	2,447	<b>280,659</b>	283,992	▲ 3,333	▲ 1.2	7,254,704	7,254,704	386.9	愛 知
5,609	1	4	338	<b>70,362</b>	70,069	293	0.4	1,866,963	1,866,963	376.9	三 重
3,277	2	0	269	<b>51,386</b>	50,425	961	1.9	1,380,361	1,380,361	372.3	滋 賀
5,797	27	1	1,442	<b>117,489</b>	117,199	290	0.2	2,647,660	2,647,660	443.7	京 都
27,786	15	3	3,277	<b>497,960</b>	494,276	3,684	0.7	8,817,166	8,804,269	565.6	大 阪
18,131	127	11	3,630	<b>223,004</b>	224,873	▲ 1,869	▲ 0.8	5,590,601	5,590,601	398.9	兵 庫
5,407	1	0	161	<b>55,961</b>	56,549	▲ 588	▲ 1.0	1,421,310	1,416,177	395.2	奈 良
3,994	11	5	264	<b>45,305</b>	44,847	458	1.0	1,035,969	1,031,893	439.0	和歌山
2,316	60	3	75	<b>21,717</b>	20,974	743	3.5	607,012	607,012	357.8	鳥 取
2,932	63	0	90	<b>25,532</b>	25,428	104	0.4	742,223	742,223	344.0	島 根
8,433	69	18	191	<b>71,716</b>	71,855	▲ 139	▲ 0.2	1,957,264	1,957,264	366.4	岡 山
14,757	133	12	1,263	<b>112,249</b>	113,303	▲ 1,054	▲ 0.9	2,876,642	2,876,642	390.2	広 島
7,850	91	9	598	<b>62,767</b>	63,501	▲ 734	▲ 1.2	1,492,606	1,492,606	420.5	山 口
3,546	13	6	139	<b>27,964</b>	27,571	393	1.4	809,950	798,892	350.0	徳 島
5,251	38	31	276	<b>41,380</b>	41,504	▲ 124	▲ 0.3	1,012,400	1,008,862	410.2	香 川
6,838	14	2	300	<b>57,416</b>	57,191	225	0.4	1,467,815	1,467,815	391.2	愛 媛
4,431	5	0	145	<b>35,463</b>	35,804	▲ 341	▲ 1.0	796,292	796,292	445.4	高 知
22,388	14	2	3,936	<b>207,644</b>	208,605	▲ 961	▲ 0.5	5,049,908	5,049,908	411.2	福 岡
5,419	56	5	371	<b>29,710</b>	30,125	▲ 415	▲ 1.4	866,369	866,369	342.9	佐 賀
8,418	2	35	932	<b>52,167</b>	52,045	122	0.2	1,478,632	1,478,632	352.8	長 崎
8,665	23	1	742	<b>70,954</b>	71,432	▲ 478	▲ 0.7	1,842,233	1,842,233	385.2	熊 本
8,797	20	25	368	<b>43,447</b>	43,469	▲ 22	▲ 0.1	1,209,571	1,209,571	359.2	大 分
5,907	23	5	186	<b>34,930</b>	35,979	▲ 1,049	▲ 2.9	1,153,042	1,114,643	313.4	宮 崎
11,145	9	7	1,226	<b>66,842</b>	67,040	▲ 198	▲ 0.3	1,753,179	1,752,044	381.5	鹿 児 島
5,119	3	5	784	<b>54,279</b>	53,843	436	0.8	1,361,594	1,340,447	404.9	沖 縄
<b>466,170</b>	<b>2,540</b>	<b>1,803</b>	<b>61,512</b>	<b>5,237,716</b>	5,277,936	▲ 40,220	▲ 0.8	127,767,994	127,661,845	410.3	合 計
472,294	2,672	1,897	61,400	5,277,936							
▲ 6,124	▲ 132	▲ 94	112	▲ 40,220							
▲ 1.3	▲ 4.9	▲ 5.0	0.2	▲ 0.8							

別表5 救急自動車による都道府県別

区分	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害
都道府県								
北海道	361	23	124	18,978	2,180	1,452	26,766	1,062
青森	105	0	60	4,140	325	236	4,483	216
岩手	68	5	16	4,582	356	379	4,856	159
宮城	110	8	44	9,070	642	574	8,439	430
秋田	31	18	16	3,502	364	269	4,149	103
山形	58	6	16	4,041	369	272	4,626	110
福島	119	7	21	8,603	635	636	7,911	327
茨城	141	0	82	17,901	1,163	861	11,363	788
栃木	137	4	14	11,268	723	452	6,505	384
群馬	127	0	8	10,811	842	643	8,654	430
埼玉	448	9	34	38,970	3,262	2,553	30,615	2,597
千葉	380	22	93	32,678	2,373	1,496	30,908	2,281
東京	1,155	9	356	82,079	5,054	5,705	97,524	8,011
神奈川	464	21	97	43,423	3,436	2,901	50,954	3,629
新潟	142	22	63	9,754	1,059	617	10,603	352
富山	46	0	35	4,447	381	257	4,428	151
石川	55	3	25	4,673	436	285	4,700	156
福井	39	0	34	3,704	292	206	3,093	99
山梨	43	2	8	5,295	301	364	4,165	162
長野	149	44	27	9,623	840	729	11,050	315
岐阜	89	0	42	12,391	916	527	8,853	366
静岡	205	0	110	18,528	1,717	1,021	16,290	740
愛知	508	1	78	37,648	3,190	1,669	30,575	1,982
三重	92	1	44	10,528	825	406	8,644	408
滋賀	74	0	21	8,659	777	544	6,327	255
京都	208	5	36	18,078	914	772	14,408	1,003
大阪	672	2	59	58,187	4,131	2,707	59,028	6,387
兵庫	300	1	76	26,937	1,902	1,336	28,719	1,767
奈良	78	1	13	7,674	566	364	7,397	296
和歌山	50	2	61	6,506	407	207	5,766	269
鳥取	51	0	22	2,453	174	190	2,669	90
島根	34	6	31	2,797	206	250	3,451	74
岡山	124	1	41	11,019	720	399	8,770	343
広島	186	5	52	14,868	1,046	823	14,009	639
山口	84	9	41	6,852	593	474	7,978	289
徳島	31	0	28	4,591	313	215	3,248	158
香川	64	1	23	6,662	421	357	4,972	231
愛媛	63	3	32	7,928	560	385	6,900	327
高知	32	0	25	4,100	382	286	4,927	216
福岡	257	49	91	22,805	1,577	1,416	24,016	1,371
佐賀	41	14	26	4,318	303	252	3,454	157
長崎	63	37	50	4,653	324	365	6,403	215
熊本	59	11	38	8,709	541	721	8,286	322
大分	55	5	35	4,906	329	302	5,186	169
宮崎	43	15	21	4,168	266	300	3,533	193
鹿児島	86	23	56	7,138	529	524	7,345	342
沖縄	84	17	76	5,577	300	435	6,282	490
合計	7,811	412	2,401	656,222	48,962	38,134	643,228	40,861
平成17年中	7,879	456	2,409	701,912	48,536	37,196	642,876	42,920
増減数	▲ 68	▲ 44	▲ 8	▲ 45,690	426	938	352	▲ 2,059
増減率	▲ 0.9	▲ 9.6	▲ 0.3	▲ 6.5	0.9	2.5	0.1	▲ 4.8

# 事故種別救急搬送人員

(平成18年中)

自損行為	急病	その他	合計	平成 17年中	増減数	対前年 増減率 (%)	区分
							都道府県
3,223	122,505	29,171	<b>205,845</b>	205,666	179	0.1	北海道
386	22,780	6,061	<b>38,792</b>	40,036	▲ 1,244	▲ 3.1	青森
484	24,896	5,414	<b>41,215</b>	41,438	▲ 223	▲ 0.5	岩手
1,067	44,920	12,966	<b>78,270</b>	78,406	▲ 136	▲ 0.2	宮城
411	22,083	3,211	<b>34,157</b>	33,892	265	0.8	秋田
388	22,396	4,029	<b>36,311</b>	37,388	▲ 1,077	▲ 2.9	山形
712	41,737	6,467	<b>67,175</b>	69,055	▲ 1,880	▲ 2.7	福島
1,150	57,507	9,121	<b>100,077</b>	99,530	547	0.5	茨城
849	35,589	7,912	<b>63,837</b>	65,195	▲ 1,358	▲ 2.1	栃木
741	41,283	7,074	<b>70,613</b>	72,355	▲ 1,742	▲ 2.4	群馬
3,239	147,165	20,070	<b>248,962</b>	254,427	▲ 5,465	▲ 2.1	埼玉
2,558	142,271	22,988	<b>238,048</b>	242,326	▲ 4,278	▲ 1.8	千葉
4,955	393,966	35,495	<b>634,309</b>	651,920	▲ 17,611	▲ 2.7	東京
4,067	222,680	24,976	<b>356,648</b>	369,203	▲ 12,555	▲ 3.4	神奈川
929	45,132	9,293	<b>77,966</b>	79,611	▲ 1,645	▲ 2.1	新潟
381	18,697	3,126	<b>31,949</b>	31,845	104	0.3	富山
339	19,249	2,890	<b>32,811</b>	32,281	530	1.6	石川
197	12,651	2,745	<b>23,060</b>	23,218	▲ 158	▲ 0.7	福井
372	17,900	2,923	<b>31,535</b>	31,938	▲ 403	▲ 1.3	山梨
691	44,643	8,226	<b>76,337</b>	76,170	167	0.2	長野
716	41,005	6,245	<b>71,150</b>	71,878	▲ 728	▲ 1.0	岐阜
1,256	76,497	14,560	<b>130,924</b>	131,686	▲ 762	▲ 0.6	静岡
2,862	162,016	21,310	<b>261,839</b>	266,695	▲ 4,856	▲ 1.8	愛知
648	40,953	5,636	<b>68,185</b>	68,031	154	0.2	三重
497	29,103	3,323	<b>49,580</b>	48,965	615	1.3	滋賀
1,149	67,491	5,885	<b>109,949</b>	110,352	▲ 403	▲ 0.4	京都
5,118	289,775	28,014	<b>454,080</b>	453,793	287	0.1	大阪
2,485	123,702	18,240	<b>205,465</b>	208,108	▲ 2,643	▲ 1.3	兵庫
540	30,672	5,416	<b>53,017</b>	53,829	▲ 812	▲ 1.5	奈良
449	25,704	4,028	<b>43,449</b>	43,150	299	0.7	和歌山
203	12,425	2,333	<b>20,610</b>	20,075	535	2.7	鳥取
257	14,574	2,939	<b>24,619</b>	24,642	▲ 23	▲ 0.1	島根
677	38,521	8,430	<b>69,045</b>	69,685	▲ 640	▲ 0.9	岡山
1,055	57,709	14,552	<b>104,944</b>	106,607	▲ 1,663	▲ 1.6	広島
585	34,577	7,877	<b>59,359</b>	60,311	▲ 952	▲ 1.6	山口
204	14,861	3,564	<b>27,213</b>	26,794	419	1.6	徳島
391	21,336	5,267	<b>39,725</b>	39,841	▲ 116	▲ 0.3	香川
580	31,280	6,924	<b>54,982</b>	54,746	236	0.4	愛媛
376	18,958	4,467	<b>33,769</b>	34,164	▲ 395	▲ 1.2	高知
2,538	114,309	22,896	<b>191,325</b>	192,960	▲ 1,635	▲ 0.8	福岡
272	14,271	5,513	<b>28,621</b>	28,919	▲ 298	▲ 1.0	佐賀
470	27,885	8,773	<b>49,238</b>	49,252	▲ 14	▲ 0.0	長崎
767	37,407	8,662	<b>65,523</b>	66,522	▲ 999	▲ 1.5	熊本
357	21,559	8,794	<b>41,697</b>	41,612	85	0.2	大分
428	17,712	5,948	<b>32,627</b>	33,687	▲ 1,060	▲ 3.1	宮崎
701	34,493	11,493	<b>62,730</b>	63,051	▲ 321	▲ 0.5	鹿児島
724	31,705	5,321	<b>51,011</b>	50,721	290	0.6	沖縄
<b>53,444</b>	<b>2,930,550</b>	<b>470,568</b>	<b>4,892,593</b>	4,955,976	▲ 63,383	▲ 1.3	合計
51,005	2,943,831	476,956	4,955,976				
2,439	▲ 13,281	▲ 6,388	▲ 63,383				
4.8	▲ 0.5	▲ 1.3	▲ 1.3				



別表6 救急自動車による都道府県別の医療機関別搬送人員の状況(その1)

(平成18年中)

区分 都道府県	救急医療機関						その他の医療機関					
	国立	公立	公的	私的		計 (A)	国立	公立	公的	私的		計 (B)
				病院	診療所					病院	診療所	
北海道	9,087	48,463	28,611	87,171	2,500	175,832	588	3,854	569	14,039	10,575	29,625
青森	3,448	24,252	2,034	6,079	153	35,966	47	288	2	1,280	1,195	2,812
岩手	17	27,651	3,881	5,013	76	36,638	266	2,527	57	1,018	661	4,529
宮城	9,236	25,658	4,598	28,350	132	67,974	622	1,340	230	3,977	4,108	10,277
秋田	1,397	7,677	19,447	4,897	1	33,419	6	138	3	345	220	712
山形	1,486	27,496	1,598	4,849	2	35,431	45	82	0	399	328	854
福島	1,627	10,976	7,407	39,827	12	59,849	113	2,264	7	2,778	2,131	7,293
茨城	6,084	6,250	27,438	52,556	445	92,773	3	1,292	470	2,928	2,566	7,259
栃木	2,420	4,124	22,397	29,621	837	59,399	526	523	22	1,762	1,575	4,408
群馬	5,888	20,638	8,041	31,422	847	66,836	266	788	22	1,704	985	3,765
埼玉	6,044	28,782	22,459	170,194	3,147	230,626	436	3,871	141	8,718	5,137	18,303
千葉	10,780	43,291	15,000	126,756	1,276	197,103	1,331	6,908	358	24,438	7,677	40,712
東京	42,930	73,044	27,765	432,599	6,624	582,962	1,619	1,222	1,084	42,390	4,889	51,204
神奈川	14,372	63,761	31,184	185,021	3,763	298,101	2,151	11,891	1,221	35,789	7,267	58,319
新潟	5,915	23,812	18,514	24,161	36	72,438	851	1,393	462	1,192	1,574	5,472
富山	3,324	16,224	9,951	1,859	54	31,412	46	79	1	223	161	510
石川	4,313	14,458	2,529	10,169	386	31,855	66	127	1	437	300	931
福井	2,630	7,891	5,116	6,058	314	22,009	42	206	40	528	222	1,038
山梨	2,381	12,225	2,534	12,618	402	30,160	118	41	2	553	598	1,312
長野	5,000	22,330	27,096	18,555	167	73,148	419	339	94	843	1,287	2,982
岐阜	2,072	30,681	15,359	20,517	169	68,798	139	154	11	1,359	634	2,297
静岡	7,035	57,443	19,418	32,958	738	117,592	474	5,427	84	2,411	4,409	12,805
愛知	17,135	85,966	43,585	91,044	1,028	238,758	844	907	42	17,307	3,735	22,835
三重	3,582	27,401	19,190	14,539	262	64,974	352	117	63	1,553	1,105	3,190
滋賀	3,302	20,896	13,372	10,118	0	47,688	80	472	21	1,091	199	1,863
京都	6,565	16,469	14,810	68,914	0	106,758	101	103	89	2,549	330	3,172
大阪	8,128	53,379	29,082	316,439	1,752	408,780	1,758	8,729	1,420	24,859	6,323	43,089
兵庫	6,533	56,721	15,093	96,076	1,040	175,463	708	4,082	377	19,415	5,328	29,910
奈良	305	13,443	5,819	26,667	1	46,235	84	627	27	4,806	1,217	6,761
和歌山	4,742	16,294	8,919	10,642	614	41,211	12	241	19	658	1,298	2,228
鳥取	4,907	7,128	2,495	5,059	73	19,662	95	1	2	542	250	890
島根	4,259	10,475	6,626	2,256	2	23,618	110	16	76	512	89	803
岡山	5,650	9,742	7,376	40,228	1,235	64,231	129	121	200	2,631	1,457	4,538
広島	12,021	20,826	13,049	44,493	1,595	91,984	162	2,365	643	5,569	4,092	12,831
山口	10,874	13,106	18,087	12,626	356	55,049	198	260	14	1,624	2,194	4,290
徳島	1,253	8,923	9,067	5,613	222	25,078	107	26	99	1,329	569	2,130
香川	7,283	12,579	5,343	11,384	600	37,189	279	292	0	763	1,163	2,497
愛媛	1,486	15,635	8,108	23,201	75	48,505	640	2,341	130	1,730	1,603	6,444
高知	2,638	9,478	5,957	12,728	229	31,030	21	50	76	1,934	504	2,585
福岡	12,166	10,575	20,470	117,282	503	160,996	434	8,373	1,707	15,002	4,269	29,785
佐賀	5,396	5,229	2,888	10,544	315	24,372	58	317	24	2,011	1,798	4,208
長崎	5,401	12,239	7,185	17,295	0	42,120	233	1,047	116	2,852	2,494	6,742
熊本	11,068	14,308	16,144	13,457	232	55,209	1,200	706	616	5,084	2,428	10,034
大分	3,745	5,841	4,747	15,479	230	30,042	183	84	1,309	8,221	1,834	11,631
宮崎	1,806	7,963	483	15,347	405	26,004	7	89	81	2,814	3,582	6,573
鹿児島	1,652	10,136	1,772	32,297	1,218	47,075	616	1,083	61	8,586	5,056	15,402
沖縄	1,280	19,818	1,570	25,074	4	47,746	102	498	3	2,329	140	3,072
合計	290,663	1,081,697	603,614	2,370,052	34,072	4,380,098	18,687	77,701	12,096	284,882	111,556	504,922

別表6 救急自動車による都道府県別の医療機関別搬送人員の状況(その2)

(平成18年中)

区分 都道府県	医療機関合計						その他			全体合計	救急医療機関 に対する搬送 割合(A)/ (C)×100)	救急医療 機関 数 (D)	左の1か所 あたりの 搬送人員 (A)/(D))
	国立	公立	公的	私的		計 (C)	接骨院	その他	計				
				病院	診療所								
北海道	9,675	52,317	29,180	101,210	13,075	205,457	7	381	388	205,845	85.6	298	590
青森	3,495	24,540	2,036	7,359	1,348	38,778	0	14	14	38,792	92.7	61	590
岩手	283	30,178	3,938	6,031	737	41,167	0	48	48	41,215	89.0	57	643
宮城	9,858	26,998	4,828	32,327	4,240	78,251	0	19	19	78,270	86.9	71	957
秋田	1,403	7,815	19,450	5,242	221	34,131	0	26	26	34,157	97.9	31	1,078
山形	1,531	27,578	1,598	5,248	330	36,285	0	26	26	36,311	97.6	37	958
福島	1,740	13,240	7,414	42,605	2,143	67,142	0	33	33	67,175	89.1	58	1,032
茨城	6,087	7,542	27,908	55,484	3,011	100,032	11	34	45	100,077	92.7	127	730
栃木	2,946	4,647	22,419	31,383	2,412	63,807	7	23	30	63,837	93.1	79	752
群馬	6,154	21,426	8,063	33,126	1,832	70,601	1	11	12	70,613	94.7	135	495
埼玉	6,480	32,653	22,600	178,912	8,284	248,929	12	21	33	248,962	92.6	200	1,153
千葉	12,111	50,199	15,358	151,194	8,953	237,815	7	226	233	238,048	82.9	150	1,314
東京	44,549	74,266	28,849	474,989	11,513	634,166	0	143	143	634,309	91.9	343	1,700
神奈川	16,523	75,652	32,405	220,810	11,030	356,420	19	209	228	356,648	83.6	177	1,684
新潟	6,766	25,205	18,976	25,353	1,610	77,910	2	54	56	77,966	93.0	71	1,020
富山	3,370	16,303	9,952	2,082	215	31,922	0	27	27	31,949	98.4	61	515
石川	4,379	14,585	2,530	10,606	686	32,786	0	25	25	32,811	97.2	71	449
福井	2,672	8,097	5,156	6,586	536	23,047	1	12	13	23,060	95.5	66	333
山梨	2,499	12,266	2,536	13,171	1,000	31,472	0	63	63	31,535	95.8	46	656
長野	5,419	22,669	27,190	19,398	1,454	76,130	2	205	207	76,337	96.1	94	778
岐阜	2,211	30,835	15,370	21,876	803	71,095	2	53	55	71,150	96.8	78	882
静岡	7,509	62,870	19,502	35,369	5,147	130,397	4	523	527	130,924	90.2	131	898
愛知	17,979	86,873	43,627	108,351	4,763	261,593	6	240	246	261,839	91.3	240	995
三重	3,934	27,518	19,253	16,092	1,367	68,164	3	18	21	68,185	95.3	72	902
滋賀	3,382	21,368	13,393	11,209	199	49,551	2	27	29	49,580	96.2	34	1,403
京都	6,666	16,572	14,899	71,463	330	109,930	13	6	19	109,949	97.1	96	1,112
大阪	9,886	62,108	30,502	341,298	8,075	451,869	26	2,185	2,211	454,080	90.5	277	1,476
兵庫	7,241	60,803	15,470	115,491	6,368	205,373	3	89	92	205,465	85.4	204	860
奈良	389	14,070	5,846	31,473	1,218	52,996	1	20	21	53,017	87.2	43	1,075
和歌山	4,754	16,535	8,938	11,300	1,912	43,439	1	9	10	43,449	94.9	70	589
鳥取	5,002	7,129	2,497	5,601	323	20,552	0	58	58	20,610	95.7	25	786
島根	4,369	10,491	6,702	2,768	91	24,421	2	196	198	24,619	96.7	24	984
岡山	5,779	9,863	7,576	42,859	2,692	68,769	1	275	276	69,045	93.4	94	683
広島	12,183	23,191	13,692	50,062	5,687	104,815	1	128	129	104,944	87.8	180	511
山口	11,072	13,366	18,101	14,250	2,550	59,339	0	20	20	59,359	92.8	74	744
徳島	1,360	8,949	9,166	6,942	791	27,208	1	4	5	27,213	92.2	38	660
香川	7,562	12,871	5,343	12,147	1,763	39,686	0	39	39	39,725	93.7	76	489
愛媛	2,126	17,976	8,238	24,931	1,678	54,949	0	33	33	54,982	88.3	59	822
高知	2,659	9,528	6,033	14,662	733	33,615	0	154	154	33,769	92.3	40	776
福岡	12,600	18,948	22,177	132,284	4,772	190,781	46	498	544	191,325	84.4	190	847
佐賀	5,454	5,546	2,912	12,555	2,113	28,580	5	36	41	28,621	85.3	67	364
長崎	5,634	13,286	7,301	20,147	2,494	48,862	1	375	376	49,238	86.2	66	638
熊本	12,268	15,014	16,760	18,541	2,660	65,243	0	280	280	65,523	84.6	79	699
大分	3,928	5,925	6,056	23,700	2,064	41,673	4	20	24	41,697	72.1	68	442
宮崎	1,813	8,052	564	18,161	3,987	32,577	0	50	50	32,627	79.8	54	482
鹿児島	2,268	11,219	1,833	40,883	6,274	62,477	4	249	253	62,730	75.3	100	471
沖縄	1,382	20,316	1,573	27,403	144	50,818	0	193	193	51,011	94.0	25	1,910
合計	309,350	1,159,398	615,710	2,654,934	145,628	4,885,020	195	7,378	7,573	4,892,593	89.7	4,737	925

別表7の1 現場到着所要時間別出場件数の状況  
(覚知から現場到着までの所要時間別出場件数)

(平成18年中 単位：件)

区分 都道府県	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上	合計	平均 (分)
北海道	16,244	64,509	113,494	22,619	2,748	219,614	6.1
青森	3,626	11,286	20,593	5,278	514	41,297	6.3
岩手	2,701	9,078	19,667	9,881	1,647	42,974	7.8
宮城	4,571	18,382	45,936	14,049	1,326	84,264	6.9
秋田	2,939	8,307	18,117	6,338	744	36,445	7.0
山形	2,657	9,227	19,104	6,469	644	38,101	6.9
福島	4,216	11,464	38,373	14,727	1,589	70,369	7.5
茨城	4,884	21,400	62,033	15,855	712	104,884	6.7
栃木	4,054	15,656	36,682	10,309	640	67,341	6.6
群馬	5,615	17,892	41,256	8,069	877	73,709	6.3
埼玉	13,961	71,573	158,269	24,561	821	269,185	6.1
千葉	11,676	57,548	150,972	34,859	1,552	256,607	6.5
東京	10,004	95,564	458,628	126,218	4,726	695,140	7.3
神奈川	15,072	95,524	241,292	32,100	891	384,879	6.1
新潟	4,401	18,349	45,226	12,976	1,255	82,207	6.9
富山	3,018	9,675	17,543	2,572	195	33,003	5.9
石川	2,403	10,199	17,666	3,711	237	34,216	6.0
福井	2,549	7,416	11,159	2,132	200	23,456	5.9
山梨	759	3,852	19,288	8,354	813	33,066	8.2
長野	6,139	19,355	39,786	11,581	2,015	78,876	7.0
岐阜	3,689	16,311	42,827	9,390	1,053	73,270	6.7
静岡	5,359	28,480	79,991	20,425	2,255	136,510	7.0
愛知	9,309	55,833	185,692	28,833	992	280,659	6.5
三重	3,398	14,415	40,911	10,872	766	70,362	6.8
滋賀	3,228	13,307	28,802	5,703	346	51,386	6.3
京都	11,033	43,436	54,552	7,470	998	117,489	5.6
大阪	42,418	156,580	270,658	27,596	708	497,960	5.8
兵庫	19,300	74,754	110,686	17,263	1,001	223,004	5.6
奈良	2,491	11,536	33,517	7,726	691	55,961	6.8
和歌山	3,430	11,827	23,947	5,470	631	45,305	6.3
鳥取	1,113	4,680	11,904	3,669	351	21,717	7.0
島根	1,132	4,511	13,221	5,742	926	25,532	8.0
岡山	3,108	14,920	40,492	11,725	1,471	71,716	6.8
広島	9,892	32,643	55,436	13,073	1,205	112,249	6.1
山口	4,481	15,921	32,313	9,171	881	62,767	6.6
徳島	2,049	7,149	14,431	3,781	554	27,964	6.6
香川	4,153	12,294	21,407	3,273	253	41,380	5.6
愛媛	3,119	11,148	32,399	9,432	1,318	57,416	7.2
高知	3,545	11,407	14,319	4,981	1,211	35,463	6.8
福岡	11,988	51,223	122,186	21,435	812	207,644	6.1
佐賀	1,538	6,639	16,571	4,678	284	29,710	6.8
長崎	2,668	10,443	26,364	11,631	1,061	52,167	7.5
熊本	4,043	17,147	38,989	9,597	1,178	70,954	6.8
大分	3,602	11,948	20,944	6,133	820	43,447	6.6
宮崎	1,221	5,280	19,000	8,519	910	34,930	8.0
鹿児島	4,585	15,758	32,820	12,444	1,235	66,842	7.1
沖縄	3,497	13,124	30,974	6,185	499	54,279	6.2
合計 (割合)	290,878 (5.6)	1,248,970 (23.8)	2,990,437 (57.1)	658,875 (12.6)	48,556 (0.9)	5,237,716 (100.0)	6.6 —

別表7の2 現場到着所要時間別出場件数の状況(構成比)  
(覚知から現場到着までの所要時間別出場件数の構成比)

(平成18年中 単位:%)

区分 都道府県	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上	合計
北海道	7.4	29.4	51.7	10.3	1.2	100.0
青森	8.8	27.3	49.9	12.8	1.2	100.0
岩手	6.3	21.1	45.8	23.0	3.8	100.0
宮城	5.4	21.8	54.5	16.7	1.6	100.0
秋田	8.1	22.8	49.7	17.4	2.0	100.0
山形	7.0	24.2	50.1	17.0	1.7	100.0
福島	6.0	16.3	54.5	20.9	2.3	100.0
茨城	4.7	20.4	59.1	15.1	0.7	100.0
栃木	6.0	23.2	54.5	15.3	1.0	100.0
群馬	7.6	24.3	56.0	10.9	1.2	100.0
埼玉	5.2	26.6	58.8	9.1	0.3	100.0
千葉	4.6	22.4	58.8	13.6	0.6	100.0
東京	1.4	13.7	66.0	18.2	0.7	100.0
神奈川	3.9	24.8	62.7	8.4	0.2	100.0
新潟	5.4	22.3	55.0	15.8	1.5	100.0
富山	9.1	29.3	53.2	7.8	0.6	100.0
石川	7.0	29.8	51.6	10.9	0.7	100.0
福井	10.9	31.6	47.6	9.1	0.8	100.0
山梨	2.3	11.6	58.3	25.3	2.5	100.0
長野	7.8	24.5	50.4	14.7	2.6	100.0
岐阜	5.0	22.3	58.5	12.8	1.4	100.0
静岡	3.9	20.9	58.6	15.0	1.6	100.0
愛知	3.3	19.9	66.2	10.3	0.3	100.0
三重	4.8	20.5	58.1	15.5	1.1	100.0
滋賀	6.3	25.9	56.0	11.1	0.7	100.0
京都	9.4	37.0	46.4	6.4	0.8	100.0
大阪	8.5	31.5	54.4	5.5	0.1	100.0
兵庫	8.7	33.5	49.6	7.7	0.5	100.0
奈良	4.5	20.6	59.9	13.8	1.2	100.0
和歌山	7.6	26.1	52.8	12.1	1.4	100.0
鳥取	5.2	21.5	54.8	16.9	1.6	100.0
島根	4.4	17.7	51.8	22.5	3.6	100.0
岡山	4.3	20.8	56.5	16.3	2.1	100.0
広島	8.8	29.1	49.4	11.6	1.1	100.0
山口	7.1	25.4	51.5	14.6	1.4	100.0
徳島	7.3	25.6	51.6	13.5	2.0	100.0
香川	10.1	29.7	51.7	7.9	0.6	100.0
愛媛	5.5	19.4	56.4	16.4	2.3	100.0
高知	10.0	32.2	40.4	14.0	3.4	100.0
福岡	5.8	24.7	58.8	10.3	0.4	100.0
佐賀	5.2	22.3	55.8	15.7	1.0	100.0
長崎	5.1	20.0	50.6	22.3	2.0	100.0
熊本	5.7	24.2	54.9	13.5	1.7	100.0
大分	8.3	27.5	48.2	14.1	1.9	100.0
宮崎	3.5	15.1	54.4	24.4	2.6	100.0
鹿児島	6.9	23.6	49.1	18.6	1.8	100.0
沖縄	6.4	24.2	57.1	11.4	0.9	100.0
合計	5.6	23.8	57.1	12.6	0.9	100.0

別表 8 の 1

## 収容所要時間別搬送人員の状況

(覚知から医療機関等に収容するのに要した時間別搬送人員)

(平成18年中)

区分 都道府県	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 120分未満	120分以上	合計		平均 (分)
							人数	人数	
北海道	1519 ( 30)	46,450 ( 780)	81,840 ( 5,678)	65,752 ( 16,338)	9,345 ( 6,302)	939 ( 774)	205,845 ( 29,902)	29.9	
青森	133 ( 1)	6,908 ( 83)	15,387 ( 615)	14,557 ( 2,379)	1,694 ( 637)	113 ( 72)	38,792 ( 3,787)	31.2	
岩手	100 ( 1)	5,463 ( 5)	13,947 ( 150)	18,524 ( 1,642)	2,954 ( 964)	227 ( 159)	41,215 ( 2,921)	35.1	
宮城	145 ( 7)	7,893 ( 195)	26,432 ( 1,826)	38,603 ( 7,377)	4,969 ( 2,096)	228 ( 135)	78,270 ( 11,636)	34.7	
秋田	144 ( 6)	6,924 ( 108)	12,150 ( 458)	13,207 ( 3,208)	1,645 ( 857)	87 ( 58)	34,157 ( 4,695)	31.4	
山形	107 ( 2)	6,941 ( 317)	14,643 ( 2,583)	13,526 ( 4,900)	1,032 ( 508)	62 ( 43)	36,311 ( 8,353)	29.8	
福島	168 ( 1)	8,023 ( 56)	24,335 ( 905)	29,758 ( 6,260)	4,669 ( 2,263)	222 ( 170)	67,175 ( 9,655)	34.4	
茨城	255 ( 24)	9,176 ( 463)	34,414 ( 5,122)	50,694 ( 24,006)	5,228 ( 4,158)	310 ( 246)	100,077 ( 34,019)	34.4	
栃木	124 ( 14)	5,630 ( 149)	21,266 ( 1,858)	32,893 ( 10,488)	3,777 ( 2,404)	147 ( 107)	63,837 ( 15,020)	34.6	
群馬	359 ( 10)	14,105 ( 331)	29,919 ( 2,619)	24,047 ( 7,023)	2,030 ( 869)	153 ( 69)	70,613 ( 10,921)	29.0	
埼玉	277 ( 36)	17,673 ( 1,286)	84,821 ( 12,872)	129,225 ( 45,625)	15,905 ( 10,085)	1,061 ( 774)	248,962 ( 70,678)	35.6	
千葉	436 ( 42)	21,520 ( 1,469)	82,798 ( 11,366)	118,360 ( 37,752)	13,959 ( 8,324)	975 ( 578)	238,048 ( 59,531)	34.8	
東京	34 ( 5)	5,760 ( 83)	87,337 ( 1,602)	441,218 ( 9,943)	94,666 ( 2,914)	5,294 ( 205)	634,309 ( 14,752)	45.2	
神奈川	372 ( 7)	42,297 ( 1,680)	149,473 ( 14,553)	151,417 ( 33,520)	12,377 ( 4,637)	712 ( 312)	356,648 ( 54,709)	31.5	
新潟	135 ( 2)	9,129 ( 78)	27,164 ( 961)	37,097 ( 6,485)	4,285 ( 1,953)	156 ( 84)	77,966 ( 9,563)	34.2	
富山	96 ( 3)	8,207 ( 388)	15,404 ( 2,207)	7,946 ( 2,141)	383 ( 178)	13 ( 9)	31,949 ( 4,926)	25.3	
石川	266 ( 3)	10,581 ( 341)	13,406 ( 1,908)	7,996 ( 3,331)	518 ( 379)	44 ( 39)	32,811 ( 6,001)	25.3	
福井	328 ( 2)	7,791 ( 212)	8,286 ( 1,430)	6,148 ( 2,822)	481 ( 287)	26 ( 21)	23,060 ( 4,774)	26.4	
山梨	89 ( 3)	3,130 ( 170)	12,636 ( 1,503)	14,154 ( 3,713)	1,435 ( 772)	91 ( 56)	31,535 ( 6,217)	31.5	
長野	247 ( 10)	13,092 ( 65)	30,855 ( 1,030)	28,331 ( 3,604)	3,651 ( 1,021)	161 ( 43)	76,337 ( 5,773)	31.6	
岐阜	192 ( 7)	13,869 ( 967)	32,432 ( 4,837)	22,681 ( 8,333)	1,866 ( 1,027)	110 ( 66)	71,150 ( 15,237)	28.5	
静岡	233 ( 5)	18,844 ( 574)	53,070 ( 3,273)	53,010 ( 8,445)	5,378 ( 2,383)	389 ( 219)	130,924 ( 14,899)	31.4	
愛知	302 ( 29)	40,210 ( 2,056)	126,480 ( 18,059)	90,710 ( 26,383)	3,970 ( 2,048)	167 ( 109)	261,839 ( 48,684)	28.4	
三重	237 ( 2)	9,526 ( 146)	27,359 ( 1,148)	28,092 ( 5,129)	2,877 ( 1,781)	94 ( 57)	68,185 ( 8,263)	31.3	
滋賀	233 ( 0)	11,504 ( 192)	21,623 ( 1,090)	15,304 ( 3,512)	880 ( 497)	36 ( 19)	49,580 ( 5,310)	27.4	
京都	386 ( 14)	33,496 ( 1,816)	49,068 ( 5,642)	25,209 ( 6,081)	1,703 ( 811)	87 ( 52)	109,949 ( 14,416)	25.6	
大阪	5,619 ( 114)	144,050 ( 10,430)	199,295 ( 34,166)	100,297 ( 38,159)	6,923 ( 4,066)	896 ( 696)	454,080 ( 87,631)	25.3	
兵庫	846 ( 24)	48,163 ( 2,627)	87,962 ( 9,814)	63,930 ( 17,090)	4,329 ( 2,432)	235 ( 159)	205,465 ( 32,146)	27.6	
奈良	219 ( 4)	8,858 ( 820)	18,838 ( 4,425)	21,654 ( 11,915)	3,195 ( 2,548)	253 ( 209)	53,017 ( 19,921)	33.0	
和歌山	255 ( 28)	10,769 ( 648)	18,015 ( 2,511)	12,426 ( 6,006)	1,869 ( 1,213)	115 ( 79)	43,449 ( 10,485)	28.8	
鳥取	58 ( 0)	3,862 ( 0)	7,884 ( 2)	8,231 ( 98)	551 ( 82)	24 ( 6)	20,610 ( 188)	30.0	
島根	109 ( 1)	4,835 ( 11)	8,626 ( 190)	9,342 ( 1,614)	1,663 ( 850)	44 ( 29)	24,619 ( 2,695)	32.7	
岡山	361 ( 7)	15,202 ( 249)	27,776 ( 2,496)	23,502 ( 6,975)	2,135 ( 1,294)	69 ( 25)	69,045 ( 11,046)	28.7	
広島	1,711 ( 227)	25,214 ( 1,569)	40,964 ( 3,347)	33,843 ( 5,552)	3,306 ( 1,461)	106 ( 56)	104,944 ( 12,212)	28.2	
山口	313 ( 4)	14,300 ( 166)	24,033 ( 1,463)	18,744 ( 3,356)	1,910 ( 821)	59 ( 27)	59,359 ( 5,837)	28.3	
徳島	426 ( 9)	8,440 ( 781)	10,384 ( 2,905)	6,983 ( 3,522)	960 ( 550)	20 ( 8)	27,213 ( 7,775)	26.6	
香川	519 ( 2)	12,090 ( 583)	16,944 ( 2,623)	9,575 ( 3,080)	566 ( 318)	31 ( 24)	39,725 ( 6,630)	25.2	
愛媛	294 ( 5)	10,905 ( 249)	22,760 ( 2,251)	18,592 ( 3,964)	2,355 ( 1,020)	76 ( 35)	54,982 ( 7,524)	29.5	
高知	362 ( 11)	8,523 ( 441)	11,839 ( 3,084)	10,734 ( 6,500)	2,208 ( 1,776)	103 ( 96)	33,769 ( 11,908)	30.8	
福岡	597 ( 25)	46,483 ( 2,632)	90,778 ( 13,630)	51,159 ( 17,716)	2,213 ( 1,290)	95 ( 62)	191,325 ( 35,355)	26.2	
佐賀	136 ( 2)	4,922 ( 153)	11,005 ( 1,441)	11,429 ( 2,984)	1,083 ( 578)	46 ( 24)	28,621 ( 5,182)	31.5	
長崎	236 ( 3)	7,619 ( 29)	18,069 ( 370)	21,079 ( 1,710)	2,158 ( 789)	77 ( 43)	49,238 ( 2,944)	31.6	
熊本	194 ( 17)	9,463 ( 520)	27,386 ( 3,560)	25,968 ( 8,970)	2,369 ( 1,581)	143 ( 101)	65,523 ( 14,749)	30.9	
大分	470 ( 13)	12,735 ( 300)	14,643 ( 1,305)	11,990 ( 3,924)	1,816 ( 1,221)	43 ( 27)	41,697 ( 6,790)	28.3	
宮崎	130 ( 0)	5,417 ( 20)	12,186 ( 226)	13,192 ( 1,934)	1,642 ( 860)	60 ( 27)	32,627 ( 3,067)	31.8	
鹿児島	523 ( 5)	15,395 ( 81)	21,510 ( 723)	22,269 ( 4,909)	2,867 ( 1,489)	166 ( 91)	62,730 ( 7,298)	30.2	
沖縄	381 ( 28)	7,892 ( 1,930)	23,484 ( 10,091)	18,615 ( 11,887)	623 ( 442)	16 ( 10)	51,011 ( 24,388)	28.6	
合計	20,676 ( 795)	809,279 ( 38,249)	1,807,926 ( 205,918)	1,991,713 ( 452,305)	248,418 ( 86,836)	14,581 ( 6,310)	4,892,593 ( 790,413)	32.0	

(注) ( ) 書きは、管外搬送分で内書きである。

別表8の2 収容所要時間別搬送人員の状況(構成比)  
(覚知から医療機関等に収容するのに要した時間別搬送人員の構成比) (平成18年中)

区分	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 120分未満	120分以上	合計	区分
								北海道
北海道	0.7 ( 0.1 )	22.6 ( 2.6 )	39.8 ( 19.0 )	31.9 ( 54.6 )	4.5 ( 21.1 )	0.5 ( 2.6 )	100.0	北海道
青森	0.3 ( 0.0 )	17.8 ( 2.2 )	39.7 ( 16.3 )	37.5 ( 62.8 )	4.4 ( 16.8 )	0.3 ( 1.9 )	100.0	青森
岩手	0.2 ( 0.0 )	13.3 ( 0.2 )	33.8 ( 5.1 )	44.9 ( 56.2 )	7.2 ( 33.0 )	0.6 ( 5.5 )	100.0	岩手
宮城	0.2 ( 0.0 )	10.1 ( 1.7 )	33.8 ( 15.7 )	49.3 ( 63.4 )	6.3 ( 18.0 )	0.3 ( 1.2 )	100.0	宮城
秋田	0.4 ( 0.1 )	20.3 ( 2.3 )	35.6 ( 9.8 )	38.7 ( 68.3 )	4.8 ( 18.3 )	0.2 ( 1.2 )	100.0	秋田
山形	0.3 ( 0.0 )	19.1 ( 3.8 )	40.3 ( 30.9 )	37.3 ( 58.7 )	2.8 ( 6.1 )	0.2 ( 0.5 )	100.0	山形
福島	0.2 ( 0.0 )	11.9 ( 0.6 )	36.2 ( 9.4 )	44.3 ( 64.8 )	7.0 ( 23.4 )	0.3 ( 1.8 )	100.0	福島
茨城	0.2 ( 0.1 )	9.2 ( 1.4 )	34.4 ( 15.0 )	50.7 ( 70.6 )	5.2 ( 12.2 )	0.3 ( 0.7 )	100.0	茨城
栃木	0.2 ( 0.1 )	8.8 ( 1.0 )	33.3 ( 12.4 )	51.5 ( 69.8 )	5.9 ( 16.0 )	0.3 ( 0.7 )	100.0	栃木
群馬	0.5 ( 0.1 )	20.0 ( 3.0 )	42.4 ( 24.0 )	34.0 ( 64.3 )	2.9 ( 8.0 )	0.2 ( 0.6 )	100.0	群馬
埼玉	0.1 ( 0.0 )	7.1 ( 1.8 )	34.1 ( 18.2 )	51.9 ( 64.6 )	6.4 ( 14.3 )	0.4 ( 1.1 )	100.0	埼玉
千葉	0.2 ( 0.1 )	9.0 ( 2.4 )	34.8 ( 19.1 )	49.7 ( 63.4 )	5.9 ( 14.0 )	0.4 ( 1.0 )	100.0	千葉
東京	0.0 ( 0.0 )	0.9 ( 0.6 )	13.8 ( 10.9 )	69.6 ( 67.4 )	14.9 ( 19.7 )	0.8 ( 1.4 )	100.0	東京
神奈川	0.1 ( 0.0 )	11.9 ( 3.1 )	41.9 ( 26.6 )	42.4 ( 61.2 )	3.5 ( 8.5 )	0.2 ( 0.6 )	100.0	神奈川
新潟	0.2 ( 0.0 )	11.7 ( 0.8 )	34.8 ( 10.1 )	47.6 ( 67.8 )	5.5 ( 20.4 )	0.2 ( 0.9 )	100.0	新潟
富山	0.3 ( 0.0 )	25.7 ( 7.9 )	48.2 ( 44.8 )	24.6 ( 43.5 )	1.2 ( 3.6 )	0.0 ( 0.2 )	100.0	富山
石川	0.8 ( 0.1 )	32.2 ( 5.7 )	40.9 ( 31.8 )	24.4 ( 55.5 )	1.6 ( 6.3 )	0.1 ( 0.6 )	100.0	石川
福井	1.4 ( 0.1 )	33.8 ( 4.4 )	35.9 ( 30.0 )	26.7 ( 59.1 )	2.1 ( 6.0 )	0.1 ( 0.4 )	100.0	福井
山梨	0.2 ( 0.1 )	9.9 ( 2.7 )	40.1 ( 24.2 )	44.9 ( 59.7 )	4.6 ( 12.4 )	0.3 ( 0.9 )	100.0	山梨
長野	0.3 ( 0.2 )	17.2 ( 1.1 )	40.4 ( 17.8 )	37.1 ( 62.4 )	4.8 ( 17.7 )	0.2 ( 0.8 )	100.0	長野
岐阜	0.3 ( 0.1 )	19.5 ( 6.4 )	45.6 ( 31.7 )	31.9 ( 54.7 )	2.6 ( 6.7 )	0.1 ( 0.4 )	100.0	岐阜
静岡	0.2 ( 0.0 )	14.4 ( 3.8 )	40.5 ( 22.0 )	40.5 ( 56.7 )	4.1 ( 16.0 )	0.3 ( 1.5 )	100.0	静岡
愛知	0.1 ( 0.1 )	15.4 ( 4.2 )	48.3 ( 37.1 )	34.6 ( 54.2 )	1.5 ( 4.2 )	0.1 ( 0.2 )	100.0	愛知
三重	0.4 ( 0.0 )	14.0 ( 1.8 )	40.1 ( 13.9 )	41.2 ( 62.1 )	4.2 ( 21.5 )	0.1 ( 0.7 )	100.0	三重
滋賀	0.5 ( 0.0 )	23.2 ( 3.6 )	43.6 ( 20.5 )	30.8 ( 66.1 )	1.8 ( 9.4 )	0.1 ( 0.4 )	100.0	滋賀
京都	0.4 ( 0.1 )	30.5 ( 12.6 )	44.6 ( 39.1 )	22.9 ( 42.2 )	1.5 ( 5.6 )	0.1 ( 0.4 )	100.0	京都
大阪	1.3 ( 0.1 )	31.7 ( 11.9 )	43.2 ( 39.0 )	22.1 ( 43.6 )	1.5 ( 4.6 )	0.2 ( 0.8 )	100.0	大阪
兵庫	0.4 ( 0.1 )	23.5 ( 8.2 )	42.8 ( 30.5 )	31.1 ( 53.1 )	2.1 ( 7.6 )	0.1 ( 0.5 )	100.0	兵庫
奈良	0.4 ( 0.0 )	16.7 ( 4.1 )	35.5 ( 22.2 )	40.9 ( 59.8 )	6.0 ( 12.8 )	0.5 ( 1.1 )	100.0	奈良
和歌山	0.6 ( 0.3 )	24.8 ( 6.2 )	41.4 ( 23.9 )	28.6 ( 57.3 )	4.3 ( 11.6 )	0.3 ( 0.7 )	100.0	和歌山
鳥取	0.3 ( 0.0 )	18.7 ( 0.0 )	38.3 ( 1.1 )	39.9 ( 52.1 )	2.7 ( 43.6 )	0.1 ( 3.2 )	100.0	鳥取
島根	0.4 ( 0.0 )	19.6 ( 0.4 )	35.0 ( 7.1 )	38.0 ( 59.9 )	6.8 ( 31.5 )	0.2 ( 1.1 )	100.0	島根
岡山	0.5 ( 0.1 )	22.0 ( 2.3 )	40.2 ( 22.6 )	34.1 ( 63.1 )	3.1 ( 11.7 )	0.1 ( 0.2 )	100.0	岡山
広島	1.6 ( 1.9 )	24.0 ( 12.8 )	39.0 ( 27.4 )	32.1 ( 45.5 )	3.2 ( 12.0 )	0.1 ( 0.4 )	100.0	広島
山口	0.5 ( 0.1 )	24.1 ( 2.8 )	40.5 ( 25.1 )	31.6 ( 57.5 )	3.2 ( 14.1 )	0.1 ( 0.4 )	100.0	山口
徳島	1.6 ( 0.1 )	31.0 ( 10.0 )	38.1 ( 37.4 )	25.7 ( 45.3 )	3.5 ( 7.1 )	0.1 ( 0.1 )	100.0	徳島
香川	1.3 ( 0.0 )	30.4 ( 8.8 )	42.7 ( 29.6 )	24.1 ( 46.4 )	1.4 ( 4.8 )	0.1 ( 0.4 )	100.0	香川
愛媛	0.5 ( 0.1 )	19.8 ( 3.3 )	41.4 ( 29.9 )	33.8 ( 52.7 )	4.3 ( 13.5 )	0.2 ( 0.5 )	100.0	愛媛
高知	1.1 ( 0.1 )	25.2 ( 3.8 )	35.1 ( 25.9 )	31.8 ( 54.5 )	6.5 ( 14.9 )	0.3 ( 0.8 )	100.0	高知
福岡	0.3 ( 0.1 )	24.3 ( 7.4 )	47.4 ( 38.6 )	26.7 ( 50.1 )	1.2 ( 3.6 )	0.1 ( 0.2 )	100.0	福岡
佐賀	0.5 ( 0.0 )	17.2 ( 2.9 )	38.4 ( 27.8 )	39.9 ( 57.6 )	3.8 ( 11.2 )	0.2 ( 0.5 )	100.0	佐賀
長崎	0.5 ( 0.1 )	15.5 ( 1.0 )	36.7 ( 12.6 )	42.8 ( 58.1 )	4.4 ( 26.8 )	0.1 ( 1.4 )	100.0	長崎
熊本	0.3 ( 0.1 )	14.5 ( 3.5 )	41.8 ( 24.2 )	39.6 ( 60.8 )	3.6 ( 10.7 )	0.2 ( 0.7 )	100.0	熊本
大分	1.1 ( 0.2 )	30.5 ( 4.4 )	35.1 ( 19.2 )	28.8 ( 57.8 )	4.4 ( 18.0 )	0.1 ( 0.4 )	100.0	大分
宮崎	0.4 ( 0.0 )	16.6 ( 0.6 )	37.4 ( 7.4 )	40.4 ( 63.1 )	5.0 ( 28.0 )	0.2 ( 0.9 )	100.0	宮崎
鹿児島	0.8 ( 0.1 )	24.5 ( 1.1 )	34.3 ( 9.9 )	35.5 ( 67.3 )	4.6 ( 20.4 )	0.3 ( 1.2 )	100.0	鹿児島
沖縄	0.8 ( 0.1 )	15.5 ( 7.9 )	46.0 ( 41.4 )	36.5 ( 48.8 )	1.2 ( 1.8 )	0.0 ( 0.0 )	100.0	沖縄
合計	0.4 ( 0.1 )	16.5 ( 4.8 )	37.0 ( 26.1 )	40.7 ( 57.2 )	5.1 ( 11.0 )	0.3 ( 0.8 )	100.0	合計

(注) ( ) 書きは、管外搬送分で内書きである。

別表 9 覚知時刻別事故種別搬送人員の状況

(平成18年中)

区分	急病	交通	一般負傷	その他	合計	
合計	2,930,550 (100.0)	656,222 (100.0)	643,228 (100.0)	662,593 (100.0)	4,892,593 (100.0)	
時           刻	0～2時 (構成比)	182,766 (6.2)	23,537 (3.6)	27,819 (4.3)	23,966 (3.6)	258,088 (5.3)
	2～4時 (構成比)	146,856 (5.0)	14,960 (2.3)	17,731 (2.8)	16,978 (2.6)	196,525 (4.0)
	4～6時 (構成比)	141,676 (4.8)	15,681 (2.4)	16,681 (2.6)	12,699 (1.9)	186,737 (3.8)
	6～8時 (構成比)	211,922 (7.2)	48,472 (7.4)	34,895 (5.4)	15,838 (2.4)	311,127 (6.4)
	8～10時 (構成比)	317,088 (10.8)	80,909 (12.3)	71,968 (11.2)	73,923 (11.2)	543,888 (11.1)
	10～12時 (構成比)	292,940 (10.0)	69,916 (10.6)	75,735 (11.8)	122,963 (18.6)	561,554 (11.5)
	12～14時 (構成比)	277,635 (9.5)	67,817 (10.3)	71,450 (11.1)	105,134 (15.9)	522,036 (10.7)
	14～16時 (構成比)	264,250 (9.0)	75,957 (11.6)	74,734 (11.6)	86,243 (13.0)	501,184 (10.2)
	16～18時 (構成比)	263,550 (9.0)	93,553 (14.3)	75,276 (11.7)	79,001 (11.9)	511,380 (10.4)
	18～20時 (構成比)	301,070 (10.3)	80,922 (12.3)	70,315 (10.9)	54,524 (8.2)	506,831 (10.4)
	20～22時 (構成比)	288,776 (9.9)	49,106 (7.5)	62,059 (9.7)	39,875 (6.0)	439,816 (9.0)
	22～24時 (構成比)	242,021 (8.3)	35,392 (5.4)	44,565 (6.9)	31,449 (4.7)	353,427 (7.2)

別表10 応急手当普及啓発活動状況

平成18年中 (単位:人・回・体)

都道府県	区分	普通講習 受講人員	普通講習 実施回数	上級講習 受講人員	上級講習 実施回数	その他講習 受講人員	蘇生訓練用人形数		外傷用 模型セット	訓練用 AED
							成人	乳幼児		
北海道		65,714	3,305	1,285	92	84,980	882	399	36	301
青森		27,901	1,191	1,046	37	17,247	274	101	10	96
岩手		21,992	1,128	574	23	30,205	294	82	28	112
宮城		41,291	2,124	3,476	184	34,275	278	79	4	176
秋田		18,561	868	401	24	17,604	207	77	14	77
山形		12,777	573	368	14	21,960	164	78	12	79
福島		23,026	1,275	339	18	47,851	242	76	9	111
茨城		35,740	1,930	376	36	30,270	317	148	15	199
栃木		14,769	1,444	274	14	25,997	226	79	7	112
群馬		16,898	829	244	11	23,951	248	109	5	130
埼玉		61,097	2,931	3,487	147	93,462	1,013	426	47	315
千葉		42,898	2,321	1,435	52	68,498	679	259	24	300
東京		145,138	6,883	30,768	1,468	486,562	649	627	2	463
神奈川		62,647	2,761	4,300	159	46,343	653	191	17	363
新潟		27,033	1,189	706	39	57,675	343	202	22	209
富山		17,982	917	533	24	22,706	156	93	5	95
石川		17,086	1,033	322	23	13,864	151	62	7	181
福井		9,868	385	48	19	16,678	106	44	2	55
山梨		8,958	457	56	4	17,845	105	54	5	49
長野		37,875	1,743	1,150	69	54,320	442	206	10	193
岐阜		33,481	1,726	1,129	65	54,738	709	261	24	202
静岡		36,062	2,152	1,451	74	71,192	468	189	25	270
愛知		77,807	4,267	3,784	229	138,712	609	347	33	319
三重		28,140	1,375	5,030	213	36,116	266	112	8	122
滋賀		21,119	1,075	252	18	22,382	154	88	12	86
京都		45,256	2,228	923	43	23,789	246	191	12	163
大阪		78,115	6,677	2,523	97	39,112	788	383	17	393
兵庫		65,131	4,345	3,868	199	73,765	571	312	18	313
奈良		17,953	886	153	9	7,375	151	64	5	97
和歌山		9,704	491	369	22	20,327	227	123	7	115
鳥取		16,104	900	38	4	19,103	74	88	3	50
島根		10,712	539	205	11	21,448	355	180	7	72
岡山		13,373	734	258	17	27,597	212	131	10	90
広島		27,077	1,209	399	22	28,204	297	161	21	119
山口		18,651	846	1,072	78	22,325	183	140	9	96
徳島		6,333	324	76	4	19,822	107	55	1	51
香川		6,092	296	32	1	20,961	78	40	4	48
愛媛		20,155	932	1,335	54	36,329	231	120	14	117
高知		9,956	723	140	14	23,341	177	118	7	80
福岡		67,147	2,217	2,145	75	70,605	792	313	20	348
佐賀		6,966	377	55	4	15,594	92	32	4	44
長崎		12,783	556	281	12	25,896	407	190	5	102
熊本		8,978	490	476	43	56,810	213	182	9	85
大分		9,021	475	520	21	21,379	156	82	7	73
宮崎		7,656	377	454	20	27,992	282	106	3	62
鹿児島		15,269	746	112	9	45,558	286	129	7	112
沖縄		9,920	559	654	38	10,030	153	89	6	80
合計		1,388,212	72,809	78,922	3,853	2,192,795	15,713	7,618	579	7,325
前年		1,147,904	54,531	68,081	3,185	2,095,146	15,336	7,278	549	
前年増減数		240,308	18,278	10,841	668	97,649	377	340	30	7,325



別表11 応急手当指導員養成状況

(平成18年中)

区分 都道府県	応急手当指導員養成講習について							本年 累計	抹消者 累計	回数 累計
	本年中 修了者	講習Ⅰ 修了者	講習Ⅱ 修了者	講習Ⅲ 修了者	消防長 認定者	講習Ⅰ 免除者	講習 回数			
北海道	477	253	66	107	51	0	68	7,386	26	1,205
青森	219	45	53	0	121	0	14	1,502	5	109
岩手	65	63	2	0	0	0	11	1,472	0	112
宮城	114	44	70	0	0	0	7	2,321	14	136
秋田	207	96	65	0	0	46	14	1,380	5	147
山形	51	29	11	9	2	0	6	1,353	11	168
福島	115	62	28	0	25	0	7	2,399	17	176
茨城	211	173	16	10	12	0	45	3,288	10	360
栃木	95	85	2	0	0	8	15	1,996	0	216
群馬	47	36	7	0	0	4	29	2,014	9	614
埼玉	375	152	149	0	49	25	53	5,716	29	789
千葉	586	548	25	0	3	10	35	4,924	28	408
東京	903	75	626	177	20	5	0	19,015	0	0
神奈川	563	425	51	1	86	0	58	6,389	18	550
新潟	355	165	162	0	23	5	29	3,954	6	294
富山	15	8	0	0	5	2	3	657	1	23
石川	59	34	20	5	0	0	18	1,132	4	113
福井	13	12	1	0	0	0	4	606	2	158
山梨	134	62	0	1	71	0	3	793	3	45
長野	321	313	4	0	3	1	24	2,744	25	310
岐阜	181	133	0	0	42	6	36	2,508	4	261
静岡	494	98	225	4	152	15	47	3,817	4	539
愛知	397	289	12	3	42	51	64	5,624	24	690
三重	378	165	15	9	159	30	16	3,347	9	244
滋賀	33	25	8	0	0	0	9	1,071	15	137
京都	208	173	6	0	29	0	12	1,734	3	221
大阪	385	226	148	0	7	4	61	7,547	26	653
兵庫	428	379	10	1	37	1	26	4,921	5	446
奈良	33	14	18	0	0	1	1	1,682	6	135
和歌山	47	31	0	0	13	3	5	1,165	10	61
鳥取	28	21	5	0	2	0	10	772	2	55
島根	74	65	9	0	0	0	10	1,018	1	171
岡山	99	99	0	0	0	0	10	1,819	20	183
広島	376	163	197	0	16	0	51	2,589	0	508
山口	94	92	0	0	2	0	3	1,370	3	129
徳島	21	18	0	0	3	0	1	586	1	3
香川	88	85	0	2	1	0	23	546	6	69
愛媛	79	24	0	1	54	0	2	1,129	0	39
高知	98	98	0	0	0	0	13	1,089	1	215
福岡	530	486	24	0	13	0	27	4,723	33	565
佐賀	15	6	0	0	0	9	0	407	0	40
長崎	36	31	0	0	5	0	3	762	0	110
熊本	82	29	51	1	1	0	22	1,401	3	138
大分	17	14	2	0	0	1	2	1,100	3	243
宮崎	35	7	6	3	19	0	4	961	1	56
鹿児島	140	29	87	1	22	1	34	1,836	2	190
沖縄	70	43	0	0	20	7	1	762	0	41
合計	9,391	5,523	2,181	335	1,110	235	936	127,327	395	12,075

別表12 都道府県別経営主体別救急病院及び診療所告示状況一覧表

(平成19年4月1日現在)

区分 都道府県	病 院				病 院 計	診 療 所	合 計	人口10万人 対救急医療 機関数
	国立	公立	公的	私的				
北海道	9	75	45	137	266	32	298	5.3
青森	4	26	2	27	59	2	61	4.2
岩手	0	32	5	18	55	2	57	4.1
宮城	4	29	5	30	68	3	71	3.0
秋田	2	9	10	10	31	0	31	2.7
山形	1	21	2	13	37	0	37	3.0
福島	2	9	9	38	58	0	58	2.8
茨城	5	6	12	85	108	19	127	4.3
栃木	2	3	9	44	58	21	79	3.9
群馬	3	12	3	64	82	53	135	6.7
埼玉	3	11	8	162	184	16	200	2.8
千葉	5	25	4	104	138	12	150	2.5
東京	10	20	11	284	325	18	343	2.7
神奈川	4	15	11	136	166	11	177	2.0
新潟	4	21	16	28	69	2	71	2.9
富山	3	10	8	19	40	21	61	5.5
石川	2	16	5	25	48	23	71	6.0
福井	2	6	6	32	46	20	66	8.0
山梨	2	13	3	19	37	9	46	5.2
長野	5	21	17	43	86	8	94	4.3
岐阜	2	17	12	40	71	7	78	3.7
静岡	5	23	15	42	85	46	131	3.5
愛知	7	29	15	136	187	53	240	3.3
三重	2	14	10	31	57	15	72	3.9
滋賀	3	12	4	15	34	0	34	2.5
京都	4	14	4	74	96	0	96	3.6
大阪	5	19	11	235	270	7	277	3.1
兵庫	4	39	7	143	193	11	204	3.6
奈良	2	9	5	27	43	0	43	3.0
和歌山	4	15	3	37	59	11	70	6.8
鳥取	3	6	4	11	24	1	25	4.1
島根	2	11	3	8	24	0	24	3.2
岡山	4	17	2	63	86	8	94	4.8
広島	6	20	16	88	130	50	180	6.3
山口	5	15	12	32	64	10	74	5.0
徳島	2	6	7	20	35	3	38	4.7
香川	4	10	4	37	55	21	76	7.5
愛媛	2	11	8	35	56	3	59	4.0
高知	2	9	2	23	36	4	40	5.0
福岡	8	14	7	115	144	46	190	3.8
佐賀	4	11	2	40	57	10	67	7.7
長崎	4	18	6	38	66	0	66	4.5
熊本	4	14	7	44	69	10	79	4.3
大分	3	5	3	53	64	4	68	5.6
宮崎	4	10	3	34	51	3	54	4.7
鹿児島	3	12	4	68	87	13	100	5.7
沖縄	1	6	1	17	25	0	25	1.8
合計	171	766	368	2,824	4,129	608	4,737	3.7



## II 救 助 編



◎ 平成19年4月1日現在の救助活動体制

○ 消防本部数	807 本部 (単独 487、組合 320)
○ 救助隊設置消防本部数	781 本部
○ 救助隊設置市町村数	1,705 市町村 (782市、757町、166村)
○ 救助隊数	1,467 隊 (専任 543隊、兼任 924隊)
○ 救助隊員数	23,902 人 (専任 8,007人、兼任 15,895人)

(注) 東京都特別区は全体を1市として計上している。以下同じ。

◎ 平成18年中の救助活動状況

○ 救助出動件数 (うち火災によるもの 6,501件)	83,561 件
○ 救助活動件数 (うち火災によるもの 6,501件)	53,619 件
○ 救助人員 (うち火災によるもの 1,716人)	56,728 人
○ 救助出動人員	
・ 消防職員 (うち火災によるもの 206,999人)	1,133,499 人
・ 消防団員 (うち火災によるもの 109,228人)	138,055 人

(注) 火災による救助出動件数は、実際に救助活動を行った件数のみ計上している。



## 第 1 救助活動体制の現状（平成 19 年 4 月 1 日現在）

### 1 救助隊の範囲

昭和 61 年 4 月の消防法改正により救助隊が法的に位置付けられ、さらにこれを受けて同年 10 月に救助隊の編成、装備及び配置の基準を定める省令（昭和 61 年 10 月 1 日自治省令第 22 号）が公布（昭和 62 年 1 月 1 日施行）されたことに伴い、同省令に基づき市町村が配置する人命の救助を行うため必要な特別の救助器具を装備した消防隊を救助隊として取り扱っている。

なお、昭和 61 年度までの年報の救助隊の定義は、火災のみならず各種の災害、事故に際して、人命救助を任務とする隊が消防機関に設置されている場合は、その名称のいかんを問わず、そのすべてを救助隊として取り扱っていたものである。

### 2 救助隊の設置状況

平成 19 年 4 月 1 日現在、全国で救助隊を設置している消防本部は、807 消防本部の 96.8%に当たる 781 消防本部となっている。このうち、単独市町村の消防本部で救助隊を設置しているのは 474 消防本部≪414 市 59 町 1 村≫（60.7%）、一部事務組合で救助隊を設置しているのは 307 消防本部≪336 市 615 町 146 村≫（39.3%）となっている。

また、これらの消防本部に常備消防を委託している市町村は 32 市 83 町 19 村である。

この結果、平成 19 年 4 月 1 日現在、救助隊を設置している消防本部の管轄対象となっている市町村は、全国 1,805 市町村の 94.5%に当たる 1,705 市町村（782 市、757 町、166 村）となっている。

また、この救助隊設置市町村の人口は 126,934,665 人であり、平成 17 年の国勢調査の確定値による全国人口 127,767,994 人の 99.3%となっている（第 1 表、第 2 図及び別表 1 参照）。

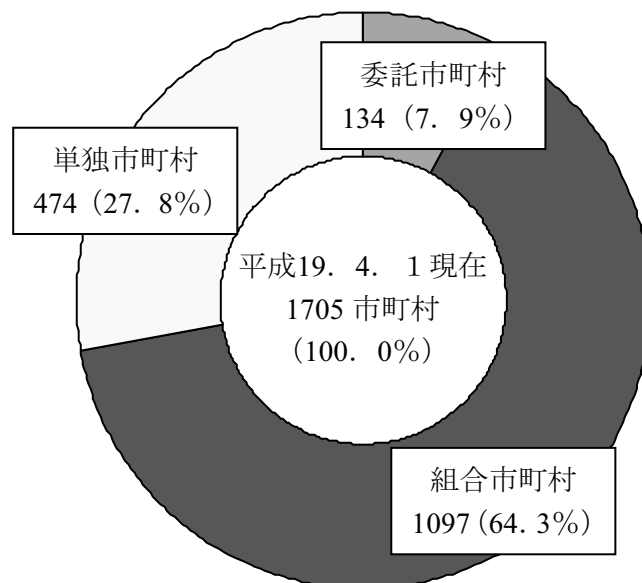


第1表 救助隊の設置状況(設置消防本部及び設置市町村数)

区 分	全国消防本部数 a	設置消防本部数		全市町村数 c	設置市町村数		設置市町村人口
		b	b/a×100		d	d/c×100	
平成19年4月1日	807	781	96.8	1,805	1,705	94.5	126,934,665
平成18年4月1日	811	788	97.2	1,821	1,718	94.3	126,969,503
平成17年4月1日	848	817	96.3	2,396	2,278	95.1	126,294,937
平成16年4月1日	886	851	96.0	3,101	2,942	94.9	126,034,329
平成15年4月1日	894	859	96.1	3,191	3,035	95.1	125,529,291

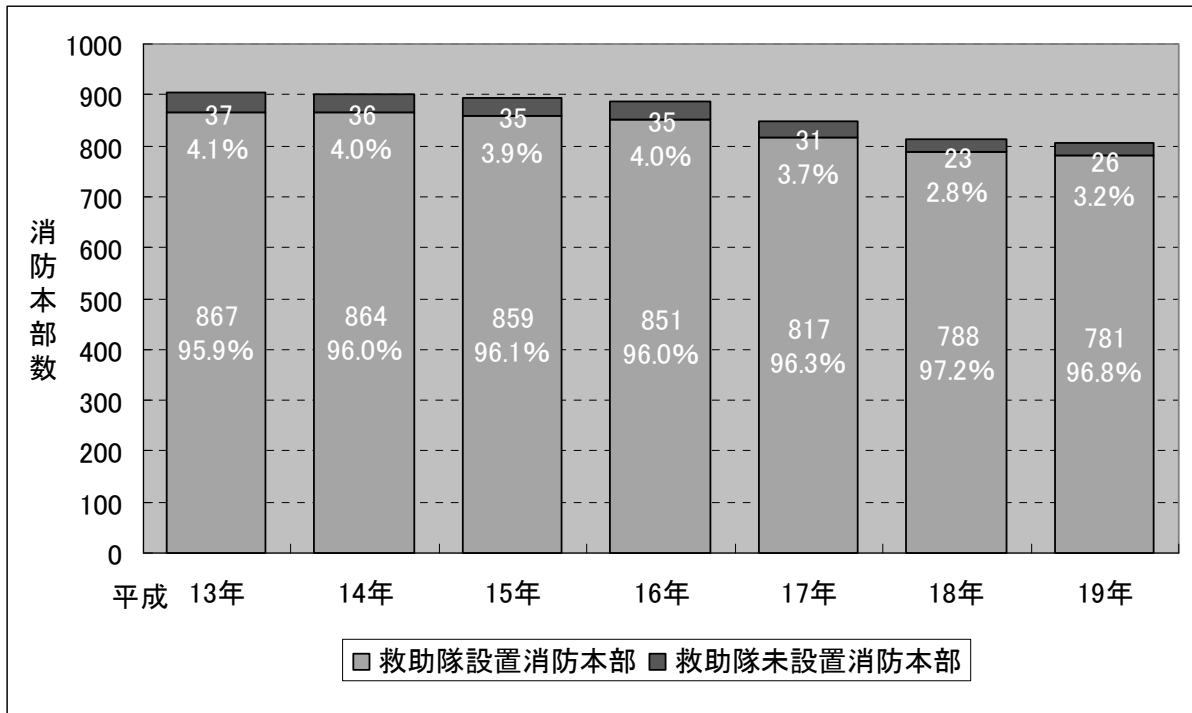
第2図 救助隊設置消防本部の管轄対象市町村の内訳

(平成19年4月1日現在)



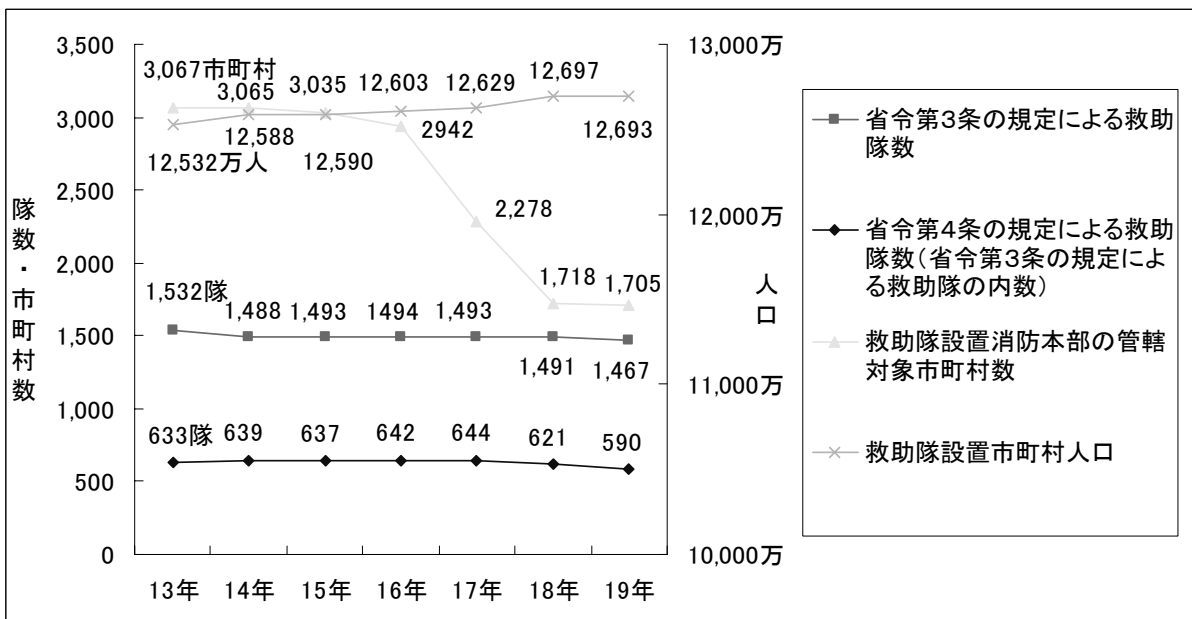
全国の救助隊設置消防本部数の推移は、第3図のとおりである。

第3図 救助隊設置消防本部数の推移



また、救助隊設置状況等の推移は、第4図のとおりである。

第4図 救助隊設置状況等の推移



(注) 1 各年とも4月1日現在の数値である。

2 人口は、平成13年から17年については平成12年国勢調査人口確定値、平成18年については平成17年国勢調査人口速報値、平成19年については平成17年国勢調査人口確定値である。

人口段階別の救助隊の設置状況は第5表のとおりである。人口10万人以上の都市では、すべての消防本部で設置されている（第5表参照）

第5表 消防本部管轄区域内人口段階別救助隊設置率等

(平成19年4月1日現在)

区 分	5万人 未 満	5万人以上 10万人未満	10万人以上 30万人未満	30万人以上 (大都市を 除く)	大都市	計
消防本部数	266	222	239	62	18	807
設置消防本部数 (救助隊数)	242 (258)	220 (288)	239 (446)	62 (206)	18 (269)	781 (1,467)
設置率 (%)	91.0	99.1	100.0	100.0	100.0	96.8

(注)「大都市」とは政令指定都市と東京都特別区（東京都が受託している市町村を含む）。以下同じ。

なお、救助隊設置本部における救助隊1隊当たりの人口等については、第6表のとおりである。

第6表 消防本部管轄区域内人口段階別救助隊1隊当たりの人口等

(平成19年4月1日現在)

区 分	5万人 未 満	5万人以上 10万人未満	10万人以上 30万人未満	30万人以上 (大都市を 除く)	大都市
1隊当たりの人口	30,315	55,228	88,752	128,729	137,415
1本部当たりの部隊数	1.1	1.3	1.9	3.3	14.9
1部隊当たりの隊員数	17.9	16.8	15.2	16.2	16.1

### 3 救助隊及び救助隊員

救助隊は、全国に1,467隊設置されており、このうち、543隊が専任救助隊である。  
 救助隊員数は、23,902人でこのうち、専ら救助活動に従事する専任救助隊員は8,007人となっている。(第7表、第8表、第9表及び別表2参照)。

第7表 救助隊数及び救助隊員数

(平成19年4月1日現在)

区分	救助隊数				救助隊員数			
	基準	隊数	隊数		基準	隊員数	隊員数	
			専任	兼任			専任	兼任
省令第3条の規定による救助隊	1,597	1,467	543	924	21,443	23,902	8,007	15,895
省令第4条の規定による救助隊	658	590	437	153	9,142	9,591	6,687	2,904

(注) 1 「専任隊」とは、災害時において専ら救助工作車で出動し、救助活動を行う隊をいう。

「兼任隊」とは、災害の態様により、救助活動のほか消火活動等を兼ねる隊をいう。

「専任隊員」とは、専任救助隊の隊員のうち辞令又は職務命令により、専ら救助活動を行う救助隊員をいう。

「兼任隊員」とは、救助隊員のうち、専任救助隊員以外の救助隊員をいう。

2 「省令」とは、「救助隊の編成、装備及び配置の基準を定める省令（昭和61年10月1日自治省令第22号）」をいう。

3 「基準」とは、省令第3条及び第4条の規定による救助隊の配置数及び救助隊員数をいう。

4 省令第4条の規定による救助隊（特別救助隊）のうち、中核市消防本部・中核市を有しない県の代表消防本部へ「高度救助隊」、東京消防庁・政令市消防本部へ「特別高度救助隊」を配備することとしている。

第8表 消防本部人口段階別救助隊専任率

(平成19年4月1日現在)

区 分	5万人 未 満	5万人以上 10万人未満	10万人以上 30万人未満	30万人以上 (大都市を 除く)	大都市	計
救助隊数	258	288	446	206	269	1,467
専 任 救助隊数	9	43	184	122	185	543
専任率 (%)	3.5	14.9	41.3	59.2	68.8	37.0

第9表 消防本部人口段階別救助隊員の専任、兼任の状況

(平成19年4月1日現在)

区 分	5万人 未 満	5万人以上 10万人未満	10万人以上 30万人未満	30万人以上 (大都市を 除く)	大都市	計
専任隊員数	122	527	2,492	1,958	2,908	8,007
専任率 (%)	(2.6)	(10.9)	(36.8)	(58.7)	(67.0)	(33.5)
兼任隊員数	4,491	4,317	4,277	1,376	1,434	15,895
専任率 (%)	(97.4)	(89.1)	(63.2)	(41.3)	(33.0)	(66.5)
隊員数計	4,613	4,844	6,769	3,334	4,342	23,902

## 第2 救助活動の状況（平成18年中）

### 1 救助活動の範囲

調査に当たって対象とした救助活動は、次のいずれにも該当する火災、災害又は事故により発生したものである。

- ① 要救助者の存在が予想され、しかも、その生命又は身体に現実の危険が及んでいるものであること。
- ② 緊急に被害者を人力、機械力、器具等を用いて安全な場所に救出する必要があるものであること。
- ③ 消防機関が行ったものであること（救助隊未設置の消防機関が行ったものも含む）。ただし、この調査では直接人命救助を伴わない警戒活動・危険物排除活動等及び死体捜索は調査対象から除外している。
- ④ 「火災」の場合における「救助出動件数」は、出動件数そのものではなく、出動して実際に救助活動を実施した場合のみ救助出動件数として計上している。すなわち、救助出動件数と救助活動件数は同数となっている。また、火災時に救助隊員の誘導に従って自力で脱出した者の数は「救助人員」には含めていないが、救助隊員の誘導については「救助出動件数」及び「救助活動件数」には含めている。

なお、昭和61年度から消防本部及び消防署を置かない市町村における救助活動の状況についても調査対象とした。

## 2 救助活動状況の概要

平成 18 年中における全国の救助活動の状況は、救助出動件数 8 万 3,561 件、救助活動件数 5 万 3,619 件であり、これを前年と比較すると、救助出動件数 2,155 件(2.5%)、救助活動件数 979 件(1.8%)減少している。

また、救助人員は全国で 5 万 6,728 人であり、前年の 5 万 7,300 人に比較すると 572 人(1.0%)減少している(第 10 表、別表 3, 4, 5 参照)。

第 10 表 救助出動・活動件数及び救助人員の推移

(平成 18 年中)

区分 年	救助出動件数		救助活動件数		救助人員	
	件数	対前年増減率 (%)	件数	対前年増減率 (%)	人員	対前年増減率 (%)
平成 14 年	77,845	1.7	50,414	2.3	52,278	1.9
平成 15 年	80,824	3.8	51,810	2.8	52,301	0.0
平成 16 年	88,269	9.2	56,388	8.8	65,854	25.9
平成 17 年	85,716	▲ 2.9	54,598	▲ 3.2	57,300	▲ 13.0
平成 18 年	83,561	▲ 2.5	53,619	▲ 1.8	56,728	▲ 1.0

## 3 事故種別救助活動状況

事故種別ごとに救助活動の状況をみると、救助出動件数で最も多いのは、交通事故の 3 万 3,539 件で全体の 40.1%を占めている。次いで建物等による事故 2 万 960 件(25.1%)、火災 6,501 件(7.8%)の順となっている。

また、救助活動件数でも交通事故が最も多く 1 万 9,259 件で全体の 35.9%を占め、次に多いのは建物等による事故の 1 万 6,440 件(30.7%)で、以下、火災、水難事故、機械による事故の順となっている。交通事故は、救助出動件数では昭和 55 年から、救助活動件数でも昭和 58 年から、第 1 位となっている。

救助人員については、交通事故によるものが最も多く、2 万 6,657 人で全体の 47.0%を占めており、次いで建物等による事故 1 万 6,229 人(28.6%)、水難事故 2,336 人(4.1%)火災 1,716 人(3.0%)の順になっている(第 11 表、第 12 表、別表 3, 4, 5 参照)。

第 11 表 事故種別救助活動状況

(平成 18 年中 単位：件)

事故種別 区分	火災	交通 事故	水難 事故	自然 災害	機械に よる 事 故	建物等 による 事 故	ガス及 び酸欠 事 故	破裂 事故	その他	合 計
救助出動 件 数	6,501 (7.8)	33,539 (40.1)	3,470 (4.2)	422 (0.5)	2,099 (2.5)	20,960 (25.1)	182 (0.2)	11 (0.0)	16,377 (19.6)	83,561 (100)
救助活動 件 数	6,501 (12.1)	19,259 (35.9)	2,297 (4.3)	214 (0.4)	1,034 (1.9)	16,440 (30.7)	76 (0.2)	5 (0.0)	7,793 (14.5)	53,619 (100)
救助人員	1,716 (3.0)	26,657 (47.0)	2,336 (4.1)	648 (1.1)	1,355 (2.4)	16,229 (28.6)	89 (0.2)	2 (0.0)	7,696 (13.6)	56,728 (100)

(注) ( ) 内は、構成比である。

第 12 表 救助活動 1 件当たりの救助人員

(平成 18 年中 単位：人)

事故種別 区分	火災	交通 事故	水難 事故	自然 災害	機械に よる 事 故	建物等 による 事 故	ガス及 び酸欠 事 故	破裂 事故	その他
救 助 人 員	0.3	1.4	1.0	3.0	1.3	1.0	1.2	0.4	1.0

(注) 事故種別は、次により区分した。

- 「火災」とは、火災現場において、直接火災に起因して生じた事故をいう。
- 「交通事故」とは、すべての交通機関相互の衝突及び接触又は単一事故若しくは歩行者等が交通機関に接触したこと等による事故をいう。
- 「水難事故」とは、水泳中の溺者又は水中転落等による事故をいう。
- 「自然災害」とは、暴風、豪雨、豪雪、洪水、高潮、地震、津波、噴火、雪崩、地すべりその他の異常な自然現象に起因する災害事故をいう。
- 「機械による事故」とは、エレベーター、プレス機械、ベルトコンベアーその他の建設機械、工作機械等による事故をいう。
- 「建物等による事故」とは、建物、門、柵、へい等の建物に付帯する施設又はこれらに類する工作物の倒壊による事故、建物等内に閉じ込められる事故、建物等に挟まれる事故等をいう。
- 「ガス及び酸欠事故」とは、一酸化炭素中毒その他のガス中毒事故、酸素欠乏による事故等をいう。
- 「破裂事故」とは、直接火災に起因して生じた事故以外のボイラー、ボンベ等の物理的破裂による事故をいう。
- 「その他」とは、上記に掲げる事故等（1～8）以外の事故等で、消防機関による救助を必要とした事故をいう。



#### 4 救助出動人員及び救助活動人員

救助出動人員は、消防職員 113 万 3,499 人、消防団員 13 万 8,055 人である。このうち、火災以外の出動人員は、消防職員 92 万 6,500 人、消防団員 2 万 8,827 人である。

また、事故種別ごとの出動人員を多い順にみると、消防職員については、交通事故 (39 万 9,458 人) と火災 (20 万 6,999 人) で、消防団員については、火災 (10 万 9,228 人) と水難事故 (5,149 人) である (第 13 表、別表 6 参照)。

次に、救助活動人員は、消防職員で 52 万 2,338 人、消防団員 3 万 3,864 人である。

また、事故種別ごとに、救助活動 1 件当たりの従事人員をみると、破裂事故 20.2 人が最も多く、次に自然災害の 17.1 人となっている。(第 14 表、別表 7 参照)。

第 13 表 救助出動人員及び救助活動人員の状況

(平成 18 年中 単位：人)

事故種別 区分	火災	交通 事故	水難 事故	自然 災害	機械に よる 事故	建物等 による 事故	ガス及 び酸欠 事故	破裂 事故	その他	合 計
専任 救助 隊員	29,368	64,170	12,168	441	6,527	32,718	665	39	45,826	191,922
	18,834	24,955	6,784	202	2,620	13,639	200	23	13,337	80,594
兼任 救助 隊員	10,960	56,871	7,863	900	3,108	5,940	212	16	23,977	109,847
	5,929	24,995	4,654	632	1,422	3,573	110	3	10,197	51,515
消防 隊員	147,560	151,175	32,594	1,433	11,099	111,134	1,696	106	106,992	563,789
	51,165	77,765	16,805	818	4,099	71,203	515	63	27,902	250,335
救急 隊員	19,111	127,242	10,676	599	5,983	59,977	653	36	43,664	267,941
	6,017	67,198	5,565	319	2,400	40,253	234	12	17,896	139,894
消防 職員 計	206,999	399,458	63,301	3,373	26,717	209,769	3,226	197	220,459	1,133,499
	81,945	194,913	33,808	1,971	10,541	128,668	1,059	101	69,332	522,338
消防 団員	109,228	1,711	5,149	1,803	101	488	19	28	19,528	138,055
	23,999	266	3,511	1,690	15	28	0	0	4,355	33,864
計	316,227	401,169	68,450	5,176	26,818	210,257	3,245	225	239,987	1,271,554
	105,944	195,179	37,319	3,661	10,556	128,696	1,059	101	73,687	556,202

(注) 各欄の上段は出動人員、下段は活動人員を示す。(「出動人員」とは、救助活動を行うために出動したすべての人員をいい、火災の場合は、出動したすべての人員をいう。「活動人員」とは、出動人員のうち実際に救助活動を行った人員をいう。)

第 14 表 救助活動 1 件当たりの救助活動人員（消防職員及び消防団員）

（平成 18 年中 単位：人）

区分 \ 事故種別	火災	交通事故	水難事故	自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他
救助活動人員	16.3	10.1	16.2	17.1	10.2	7.8	13.9	20.2	9.5

## 5 火災以外の事故時における出動車両等

火災以外の事故に救助活動のため出動した車両等の状況は第 15 表のとおりであり、救急自動車 8 万 2,409 台、消防ポンプ自動車(水槽付含む) 7 万 4,830 台、救助工作車 5 万 8,131 台の順となっている。

また、事故種別ごとの救助活動車両等の数は、交通事故が 5 万 9,317 台で最も多く、建物等による事故 3 万 6,504 台、水難事故 1 万 1,120 台の順となっている。

さらに、車両別の救出者搬送人員の状況は、第 16 表のとおりである。

第 15 表 火災以外の事故時における救助出動車両及び救助活動車両等の状況

(平成 18 年中 単位：台等)

車両等 区分	事故種別								
	交通 事故	水難 事故	自然 災害	機械に よる 事故	建物等 による 事故	ガス及 び酸欠 事故	破裂 事故	その他	合 計
救助工作車	28,683	3,997	236	2,147	7,897	198	14	14,959	58,131
	12,284	2,346	120	969	4,307	74	6	5,153	25,259
消防ポンプ自動車 (水槽付含む)	30,284	4,763	269	1,912	17,755	267	15	19,565	74,830
	16,301	2,688	144	778	13,159	80	8	5,357	38,515
はしご車・ 屈折はしご車	428	249	4	58	360	3	1	1,881	2,984
	195	110	1	16	147	1	1	171	642
化学車	4,154	517	13	226	2,535	53	5	2,136	9,639
	2,131	323	5	77	1,919	23	3	538	5,019
指揮車 司令車	9,733	2,351	131	992	5,826	126	5	6,577	25,741
	4,349	1,314	72	406	2,624	40	2	2,268	11,075
救急自動車	42,167	3,523	224	1,974	19,742	214	12	14,553	82,409
	22,789	1,872	124	843	14,037	83	4	5,929	45,681
船 船	54	769	7	2	4	0	0	70	906
	51	452	6	2	0	0	0	17	528
ヘリコプター	97	238	4	10	1	1	0	364	715
	50	127	2	5	1	0	0	218	403
その他	2,723	2,798	160	189	574	55	4	3,285	9,788
	1,113	1,554	103	93	263	15	2	1,008	4,151
消防団車両	196	500	87	14	79	4	1	2,345	3,226
	54	334	73	2	47	0	0	440	950
計	118,519	19,705	1,135	7,524	54,773	921	57	65,735	268,369
	59,317	11,120	650	3,191	36,504	316	26	21,099	132,223

(注) 各欄の上段は出動車両等、下段は活動車両等を示す。「出動車両等」とは、救助活動を行うために出動したすべての車両等をいい、「活動車両等」とは、出動車両等のうち実際に救助活動を行った車両等をいう。)

第 16 表 事故種別車両別救出者搬送人員

(平成 18 年中 単位：人)

事故種別 区分	火災	交通 事故	水難 事故	自然 災害	機械に よる 事故	建物等 による 事故	ガス及 び酸欠 事故	破裂 事故	その他	合 計
救 急 自動車	1,052	24,683	1,385	117	871	14,487	81	2	5,764	48,442
消防機関 その他の 車両等	5	208	17	90	5	3	0	0	48	376
消防機関 以外の 車両等	70	167	149	35	10	38	4	0	224	697
計	1,127	25,058	1,551	242	886	14,528	85	2	6,036	49,515

### 第 3 機械器具等の保有状況

#### 1 救助活動のための車両

救助活動に使用している車両の状況は、第 17 表のとおりであり、最も多いのは救助工作車の 1,214 台で全体の 40.2%を占め、次いで、はしご車 497 台 (16.4%)・水槽付ポンプ車 433 台 (14.3%)・ポンプ車 376 台 (12.4%)となっている。

このことは、昭和 61 年までは、救助活動に使用される車両は、多くの場合、消火活動に使われる車両と兼用していたが、救助活動件数の年々の増加及び救助活動を必要とする災害等の多様化、複雑化等に対処するため救助資機材を十分に装備した救助工作車の整備が進められ、救助工作車を救助活動のための専用車両として使用する傾向が強くなったことを示している。(別表 12 参照)

第 17 表 救助活動に使用する車両保有状況

(平成 19 年 4 月 1 日現在)

使用車両	救助 工作車	はしご 車	屈折 はしご 車	消 防 ポンプ 車	水槽付 消防ポ ンプ車	化学車	その他	計
車両台数	1,214	497	58	376	433	114	332	3,024
(占有率%)	(40.2)	(16.4)	(1.9)	(12.4)	(14.3)	(3.8)	(11.0)	(100.0)

(注)「その他」とは、排煙車、電源車、クレーン車等の車両である。

## 2 救助活動のための機械器具等

救助活動のために保有されている主な機械器具等の種類、保有状況は第 18 表のとおりである。

地域の特性、各本部における救助活動の内容、程度の差異により、各本部で保有している機械器具等の種類及び数量は一様でない(別表 8、9、10、11 参照)。

第 18 表 救助活動のための主な機械器具等の保有状況

(平成 19 年 4 月 1 日現在)

区 分	名 称	保 有 数
省令別表第 1	三連はしご	5,680
	救命索発射銃	2,296
	油圧スプレッダー	1,901
	油圧切断機	1,628
	可搬ウィンチ	3,936
	エンジンカッター	4,727
	チェーンソー	5,161
	ガス溶断器	1,511
	可燃性ガス測定器	4,266
	空気呼吸器	40,132
	化学防護服（陽圧除く）	5,827
	陽圧式化学防護服	3,442
	放射線防護服	3,098
省令別表第 2	空気式ジャッキ	2,502
	大型油圧スプレッダー	1,856
	大型油圧切断機	1,780
	削岩機	1,499
	空気鋸	1,892
	簡易画像探索機	647
	ロープ登降機	2,071
	ハンマードリル	1,078
	送排風機	1,614
	酸素呼吸器	3,571
	省令別表第 3	電磁波探査装置
水中探査装置		45
二酸化炭素探査装置		17
画像探索機		407
地中音響探知機		241
熱画像直視装置		548
夜間用暗視装置		252
地震警報器		21

これらの救助活動のための機械器具の保守点検は、各本部においてそれぞれの知識、経験をもとに定期又は随時に実施され、さらに法令等で検査を義務化されているものは、定期に実施し、安全管理に努めている。

#### 第4 救助隊員の教育訓練の実施状況

消防職員の救助活動に関する教育訓練については、消防学校の教育訓練の基準（昭和45年消防庁告示第1号）により、専科教育に救助科を設け、災害救助対策、救助器具取扱訓練等について計140時間以上の教育訓練を行うべきこととされている。

消防本部における救助訓練の状況をみると、月間及び年間の計画を樹立し、基本訓練から応用訓練にいたるまで定期的実施している本部が多い。

訓練内容別の実施状況は第19表のとおりである。

第19表 救助隊員の訓練実施状況

(平成18年中)

回数等	訓練内容	体力錬成 訓練	ロープ基本・応用 訓練	検索救助 訓練	各種救助 器具 取扱訓練	各種救助 事象 想定訓練	その他の 訓練	合計
実施延回数		295,097	95,949	86,492	108,478	62,775	80,225	729,046
実施延人数		1,536,928	519,131	514,903	539,170	354,836	448,973	3,913,941
実施延時間		795496.5	377728.0	359334.5	357827.0	310487.0	476402.0	2677275.0

(注)

- 1 「体力錬成訓練」とは  
柔軟体操、ランニング、サーキット・トレーニング、ウェイト・トレーニング等の体力を錬成するための訓練
- 2 「ロープ基本・応用訓練」とは  
結索、登はん、確保、ロープブリッジ等の基本訓練及びこれを基礎としたロープによる進入、救出等の応用訓練
- 3 「検索・救助訓練」とは  
救助隊員の検索・救助技術の向上のため、隊員が一体となって行う連携訓練
- 4 「各種救助器具取扱訓練」とは  
消防救助操法の基準（昭和53年消防庁告示第4号）第2編第1章から第18章までに規定する消防救助基本操法で第16章に規定するロープ操法以外のもの並びにこれらに類する各種器具の取扱訓練
- 5 「各種救助事象想定訓練」とは  
各種基本・応用訓練を基礎として実際の救助活動を想定した総合訓練
- 6 「その他の訓練」とは  
1から5までの訓練以外の訓練で各地域の特性に応じた定期的に行う訓練

## 第5 国際消防救助隊の活躍

昭和61年、消防庁では、海外で大規模災害が発生した場合に人道上及び国際協力推進の観点から世界のトップレベルにある我が国の消防機関の救助隊を迅速に派遣する体制を整備することとし、国際消防救助隊（International Rescue Team of Japanese Fire-Service 略号‘IRT-JF’愛称‘愛ある手’）を発足させた。

その後、政府において外務省を中心に、海外における大規模災害に対し、被災国政府の要請に応じ、緊急援助活動を行うため、昭和62年9月に「国際緊急援助隊の派遣に関する法律」が制定された。

国際消防救助隊は同法に基づく国際緊急援助隊の一部を構成するものであり、平成19年12月現在、全国62消防本部、599名の隊員が登録されている。これまで15回にわたり、延べ284名が派遣されている。（第20表参照）



## 第 20 表 国際消防救助隊の派遣実績

(平成 19 年 12 月 1 日現在)

	派遣年月日	災 害 名	被 災 地	被 害 状 況 (概 数)	派遣実績、活動概要等
1	昭61. 8. 27 ～ 9. 6 (11日間)	ニオス湖 有毒ガス噴出災害	カメルーン共和国 ニオス湖周辺	死者1,700人以上	国際消防救助隊員1人(東京消防庁) 有毒ガスの再噴出に備え、調査団に対する呼吸保護具の指導
2	昭61. 10. 11 ～10. 20 (10日間)	エル・サルバドル 地震災害	エル・サルバドル共和国 サンサルバドル市	死者1,226人 倒壊家屋3万戸	国際消防救助隊員9人(東京消防庁5人、横浜市消防局3人、消防庁1人) 倒壊ビルからの救助
3	平 2. 6. 22 ～ 7. 2 (11日間)	イラン地震災害	イラン・イスラム共和国 カスピ海沿岸	死者8万人以上	国際消防救助隊員6人(東京消防庁5人、消防庁1人) 倒壊家屋からの救助
4	平 2. 7. 18 ～ 7. 26 (9日間)	フィリピン地震 災害	フィリピン共和国 ルソン島北部	死者1,600人以上	国際消防救助隊員11人(東京消防庁2人、名古屋市消防局4人、広島市消防局4人、消防庁1人) 倒壊ビルからの救助
5	平 3. 5. 15 ～ 6. 6 (23日間)	バングラデシュ サイクロン災害	バングラデシュ人民共和 国	死者13万人	国際消防救助隊員38人(東京消防庁17人、大阪市消防局11人、川崎市消防局4人、神戸市消防局4人、消防庁2人)及びヘリコプター2機 被災民への救援物資の輸送等を実施
6	平 5. 12. 13 ～12. 20 (8日間)	マレーシア ビル倒壊被害	マレーシア クアラルンプール郊外 ウルクラン地区	死者48人 倒壊ビル 1 棟	国際消防救助隊員11人(東京消防庁6人、名古屋市消防局2人、北九州市消防局2人、消防庁1人) 倒壊ビルからの救助
7	平 8. 10. 30 ～11. 6 (8日間)	エジプト ビル崩壊被害	エジプト・アラブ共和国 カイロ郊外 ヘリオポリス	死者64人 崩壊ビル 1 棟	国際消防救助隊員9人(東京消防庁3人、札幌市消防局2人、大阪市消防局2人、松戸市消防局1人、消防庁1人) 崩壊ビルからの救助
8	平 9. 10. 22 ～11. 11 (21日間)	インドネシア 森林火災	インドネシア共和国 ランブン州	焼失面積 1万8,000 ha (ランブン州内)	国際消防救助隊員30人(東京消防庁19人、名古屋市消防局5人、大阪市消防局3人、横浜市消防局2人、消防庁1人)及びヘリコプター2機 火災地点の上空からの情報収集、消火活動の助言
9	平11. 1. 24 ～ 2. 4 (12日間)	コロンビア地震災害	コロンビア共和国 アルメニア市周辺	死者1,171人 負傷者4,765人	国際消防救助隊員15人(東京消防庁8人、大阪市消防局2人、千葉市消防局2人、船橋市消防局2人、消防庁1人) 倒壊ビルからの救助
10	平11. 8. 17 ～ 8. 24 (8日間)	トルコ地震災害	トルコ共和国 ヤロヴァ地区周辺	死者1万5,370人 負傷者2万3,954人	国際消防救助隊員25人(東京消防庁12人、川崎市消防局4人、神戸市消防局4人、市川市消防局2人、尼崎市消防局2人、消防庁1人) 倒壊ビルからの救助
11	平11. 9. 21 ～ 9. 28 (8日間)	台湾地震災害	台湾中部	死者2,333人 負傷者1万2人	国際消防救助隊員46人(東京消防庁18人、仙台市消防局4人、千葉市消防局3人、京都市消防局4人及び川口市、松戸市、新潟市、岡山市、倉敷市、佐世保市、鹿児島市消防局から各2人、消防庁3人) 倒壊建物からの救助
12	平15. 5. 22 ～ 5. 29 (8日間)	アルジェリア 地震災害	アルジェリア民主人民共 和国 ブーメルデス県周辺	死者 2,266 人 負傷者 1 万人以上	国際消防救助隊員 17 人(東京消防庁 8 人、京都市消防局、仙台市消防局、川口市消防本部、朝霞地区一部事務組合埼玉県南西部消防本部から各 2 人、消防庁 1 人) 倒壊建物からの救助
13	平 16. 2. 25 ～ 3. 1 (6日間)	モロッコ地震災害	モロッコ王国 アルホセイマ周辺	死者 628 人 負傷者 300 人以上	国際消防救助隊員 7 人(東京消防庁 4 人、千葉市消防局 1 人、京都市消防局 1 人、消防庁 1 人) 現地被害状況の調査、救助資機材取扱いに関する技術供与等を実施
14	平 16. 12. 29 ～17. 1. 20 (23日間)	スマトラ沖大地震・ インド洋津波災害	タイ王国 ブーケット周辺	死者 17 万 6,453 人 行方不明者 4 万 6,891 人	国際消防救助隊員 46 人(東京消防庁 23 人、大阪市消防局 15 人、千葉市消防局 2 人、横浜市消防局 1 人、相模原市消防本部 1 人、川越地区消防組合消防本部 1 人、消防庁 3 人)及びヘリコプター 2 機 捜索救助活動、人員・物資搬送、捜索救助技術指導等を実施
15	平17. 10. 9 ～17. 10. 18 (10日間)	パキスタン・イスラ ム共和国地震災害	パキスタン・イスラム共 和国 バトグラム周辺	死者7万3,338人 負傷者6万9,412人	国際消防救助隊員 13 人(東京消防庁 6 人、横浜市消防局3人、船橋市消防局 2 人、茨城西南地方広域市町村圏事務組合消防本部 1 人、消防庁 1 人) 倒壊建物からの救助

別表1 都道府県別救助体制

都道府県	消防本部数	救助隊設置消防本部数			単独				組合			
		単独	組合	計	市	町	村	計	市	町	村	計
北海道	68	22	31	53	20	2	0	22	12	81	15	108
青森	14	2	9	11	2	0	0	2	7	19	8	34
岩手	12	4	8	12	4	0	0	4	9	14	6	29
宮城	12	5	7	12	5	0	0	5	8	22	1	31
秋田	13	7	6	13	6	1	0	7	7	8	2	17
山形	15	11	4	15	9	2	0	11	4	13	3	20
福島	12	2	10	12	2	0	0	2	11	32	15	58
茨城	26	18	7	25	14	3	1	18	18	5	1	24
栃木	13	5	8	13	5	0	0	5	9	16	0	25
群馬	11	4	7	11	4	0	0	4	7	14	9	30
埼玉	36	23	13	36	20	3	0	23	20	25	1	46
千葉	31	23	8	31	22	1	0	23	14	15	3	32
東京	6	3	0	3	3	0	0	3	0	0	0	0
神奈川	26	25	1	26	18	7	0	25	1	5	0	6
新潟	19	12	7	19	11	1	0	12	9	6	5	20
富山	13	12	1	13	8	4	0	12	2	0	0	2
石川	11	6	5	11	4	2	0	6	6	7	0	13
福井	9	4	5	9	3	1	0	4	6	7	0	13
山梨	10	5	5	10	5	0	0	5	8	9	3	20
長野	14	2	12	14	2	0	0	2	17	21	34	72
岐阜	22	15	7	22	14	1	0	15	6	18	1	25
静岡	27	16	11	27	13	3	0	16	10	14	0	24
愛知	37	28	9	37	25	3	0	28	10	18	1	29
三重	15	11	4	15	10	1	0	11	3	6	0	9
滋賀	8	3	5	8	3	0	0	3	10	10	0	20
京都	15	11	4	15	9	2	0	11	6	6	1	13
大阪	33	26	5	31	23	3	0	26	10	1	0	11
兵庫	30	27	3	30	25	2	0	27	4	3	0	7
奈良	13	6	7	13	6	0	0	6	6	15	8	29
和歌山	17	13	4	17	7	6	0	13	2	10	0	12
鳥取	3	0	3	3	0	0	0	0	4	14	1	19
島根	9	5	3	8	5	0	0	5	3	7	0	10
岡山	14	10	4	14	10	0	0	10	5	8	0	13
広島	14	11	3	14	9	2	0	11	5	2	0	7
山口	13	9	4	13	9	0	0	9	4	7	0	11
徳島	12	5	7	12	5	0	0	5	3	13	0	16
香川	9	5	4	9	4	1	0	5	4	4	0	8
愛媛	14	10	4	14	7	3	0	10	4	6	0	10
高知	15	8	7	15	8	0	0	8	3	17	5	25
福岡	26	12	14	26	11	1	0	12	17	33	4	54
佐賀	7	3	4	7	2	1	0	3	8	11	0	19
長崎	10	7	3	10	6	1	0	7	6	2	0	8
熊本	13	1	12	13	1	0	0	1	13	26	8	47
大分	14	12	2	14	12	0	0	12	2	3	0	5
宮崎	9	7	2	9	7	0	0	7	2	7	0	9
鹿児島	19	7	11	18	6	1	0	7	10	27	2	39
沖縄	18	11	7	18	10	1	0	11	1	8	9	18
計	807	474	307	781	414	59	1	474	336	615	146	1,097

(平成19年4月1日現在)

都道府県	委託				計				救助隊設置 市町村人口A	全人口に対 するAの割合
	市	町	村	計	市	町	村	計		
北海道	0	1	0	1	32	84	15	131	5,160,478	91.7%
青森	0	0	0	0	9	19	8	36	1,341,857	93.4%
岩手	0	2	0	2	13	16	6	35	1,385,041	100.0%
宮城	0	0	0	0	13	22	1	36	2,360,218	100.0%
秋田	0	0	1	1	13	9	3	25	1,145,501	100.0%
山形	0	2	0	2	13	17	3	33	1,188,243	97.7%
福島	0	0	0	0	13	32	15	60	2,091,319	100.0%
茨城	0	1	0	1	32	9	2	43	2,955,962	99.4%
栃木	0	1	0	1	14	17	0	31	2,016,631	100.0%
群馬	1	2	1	4	12	16	10	38	2,024,135	100.0%
埼玉	0	1	0	1	40	29	1	70	7,054,243	100.0%
千葉	0	1	0	1	36	17	3	56	6,056,462	100.0%
東京都	24	3	1	28	27	3	1	31	12,547,857	99.8%
神奈川県	0	1	0	1	19	13	0	32	8,788,090	100.0%
新潟	0	2	1	3	20	9	6	35	2,431,459	100.0%
富山	0	0	0	0	10	4	0	14	1,109,056	99.8%
石川	0	0	0	0	10	9	0	19	1,174,026	100.0%
福井	0	0	0	0	9	8	0	17	821,592	100.0%
山梨	0	0	3	3	13	9	6	28	884,515	100.0%
長野	0	4	3	7	19	25	37	81	2,196,114	100.0%
岐阜	1	0	1	2	21	19	2	42	2,107,226	100.0%
静岡県	0	2	0	2	23	19	0	42	3,792,377	100.0%
愛知県	0	5	1	6	35	26	2	63	7,254,704	100.0%
三重	1	8	0	9	14	15	0	29	1,866,963	100.0%
滋賀	0	3	0	3	13	13	0	26	1,380,361	100.0%
京都	0	2	0	2	15	10	1	26	2,647,660	100.0%
大阪	0	2	1	3	33	6	1	40	8,769,138	99.5%
兵庫県	0	7	0	7	29	12	0	41	5,590,601	100.0%
奈良	0	0	2	2	12	15	10	37	1,416,177	99.6%
和歌山	0	3	0	3	9	19	0	28	1,031,893	99.6%
鳥取	0	0	0	0	4	14	1	19	607,012	100.0%
島根	0	2	0	2	8	9	0	17	718,527	96.8%
岡山	0	2	2	4	15	10	2	27	1,957,264	100.0%
広島	0	5	0	5	14	9	0	23	2,876,642	100.0%
山口	0	2	0	2	13	9	0	22	1,492,606	100.0%
徳島	0	0	0	0	8	13	0	21	798,892	98.6%
香川	0	3	0	3	8	8	0	16	1,008,862	99.7%
愛媛	0	0	0	0	11	9	0	20	1,467,815	100.0%
高知	0	1	1	2	11	18	6	35	796,292	100.0%
福岡	0	0	0	0	28	34	4	66	5,049,908	100.0%
佐賀	0	1	0	1	10	13	0	23	866,369	100.0%
長崎	1	7	0	8	13	10	0	23	1,478,632	100.0%
熊本	0	0	0	0	14	26	8	48	1,842,233	100.0%
大分	0	0	1	1	14	3	1	18	1,209,571	100.0%
宮崎	4	7	0	11	13	14	0	27	1,114,643	96.7%
鹿児島	0	0	0	0	16	28	2	46	1,719,051	98.1%
沖縄	0	0	0	0	11	9	9	29	1,340,447	98.4%
計	32	83	19	134	782	757	166	1,705	126,934,665	99.3%

別表2 都道府県別救助隊数、救助隊員数

(平成19年4月1日現在)

都道府県	省令第3条の規定								省令第4条の規定							
	救助隊数				救助隊員数				救助隊数				救助隊員数			
	基準	計	専任	兼任	基準	計	専任	兼任	基準	計	専任	兼任	基準	計	専任	兼任
北海道	102	78	24	54	1,536	1,479	440	1,039	23	22	19	3	371	423	329	94
青森	35	22	7	15	513	379	79	300	9	8	5	3	115	127	52	75
岩手	23	15	2	13	254	282	42	240	6	4	2	2	71	76	42	34
宮城	26	25	12	13	388	522	162	360	15	14	11	3	222	380	156	224
秋田	21	17	3	14	336	514	113	401	7	6	2	4	95	122	64	58
山形	15	15	2	13	157	192	22	170	4	3	1	2	47	41	12	29
福島	31	28	5	23	420	412	77	335	16	15	5	10	198	239	77	162
茨城	57	52	19	33	855	833	280	553	24	16	13	3	319	257	183	74
栃木	18	18	9	9	216	249	109	140	13	10	9	1	176	148	107	41
群馬	21	19	10	9	275	251	127	124	10	6	3	3	124	106	75	31
埼玉	65	62	46	16	1,014	967	697	270	42	37	35	2	696	625	561	64
千葉	72	57	37	20	1,049	941	561	380	46	42	36	6	688	728	549	179
東京都	86	81	27	54	1,285	1,304	494	810	38	27	27	0	565	494	494	0
神奈川県	64	64	51	13	1,048	1,085	910	175	51	48	45	3	863	859	845	14
新潟	45	45	16	29	738	701	219	482	16	14	13	1	240	201	186	15
富山	24	22	3	19	275	285	42	243	7	5	2	3	57	53	22	31
石川	26	20	2	18	363	332	28	304	7	6	2	4	98	85	28	57
福井	20	19	3	16	151	245	36	209	4	4	3	1	35	48	36	12
山梨	15	14	1	13	161	176	16	160	3	3	1	2	30	32	16	16
長野	49	32	5	27	583	549	76	473	10	6	5	1	140	92	76	16
岐阜	39	40	7	33	402	553	80	473	10	16	7	9	114	193	80	113
静岡	44	44	17	27	683	784	216	568	18	16	10	6	252	271	140	131
愛知	70	72	24	48	1,040	1,281	350	931	32	36	23	13	498	663	329	334
三重	28	23	3	20	269	376	41	335	7	9	3	6	65	91	41	50
滋賀	21	21	7	14	219	306	73	233	9	7	6	1	75	74	62	12
京都	31	29	7	22	385	514	105	409	10	9	7	2	130	159	105	54
大阪	77	76	55	21	1,030	1,202	747	455	46	41	38	3	632	623	526	97
兵庫	54	56	18	38	538	810	250	560	28	20	15	5	225	289	214	75
奈良	20	18	4	14	251	309	56	253	8	7	4	3	109	112	56	56
和歌山	29	25	2	23	231	402	18	384	4	4	2	2	50	77	18	59
鳥取	14	12	0	12	214	225	0	225	3	3	0	3	33	69	0	69
島根	17	15	3	12	150	204	32	172	4	2	2	0	40	22	22	0
岡山	22	22	5	17	243	453	86	367	9	9	5	4	93	118	86	32
広島	35	32	15	17	449	429	216	213	20	18	11	7	299	263	175	88
山口	24	23	7	16	327	357	55	302	12	8	1	7	198	124	14	110
徳島	16	13	2	11	220	224	30	194	3	3	2	1	60	57	30	27
香川	16	14	4	10	246	247	34	213	5	4	3	1	60	54	26	28
愛媛	20	22	10	12	270	373	144	229	11	12	9	3	132	186	138	48
高知	20	21	2	19	256	403	60	343	3	4	2	2	60	60	60	0
福岡	45	45	25	20	613	635	351	284	28	26	21	5	385	375	304	71
佐賀	16	15	2	13	229	244	36	208	6	4	2	2	67	73	36	37
長崎	17	17	8	9	214	307	121	186	9	8	7	1	93	169	96	73
熊本	25	22	10	12	338	342	116	226	7	6	4	2	95	92	58	34
大分	18	18	7	11	213	254	92	162	5	5	3	2	65	69	36	33
宮崎	13	17	5	12	157	203	47	156	4	11	5	6	86	94	47	47
鹿児島	28	27	9	18	313	297	102	195	5	5	5	0	57	60	60	0
沖縄	23	23	1	22	326	470	19	451	1	1	1	0	19	18	18	0
合計	1,597	1,467	543	924	21,443	23,902	8,007	15,895	658	590	437	153	9,142	9,591	6,687	2,904

別表3 都道府県別事故種別救助出動件数

(平成18年中 単位:件)

事故種別 都道府県	火災	交通事故	水難事故	自然災害	機械に よる事故	建物等に よる事故	ガス及び 酸欠事故	破裂事故	その他 の事故	計
北海道	183	1,460	185	21	70	323	7	0	1,063	3,312
青森	68	413	64	0	25	24	0	0	172	766
岩手	76	561	30	8	32	30	2	0	94	833
宮城	102	518	70	3	18	75	11	0	340	1,137
秋田	62	669	31	22	25	13	0	0	223	1,045
山形	13	376	33	8	24	15	2	0	117	588
福島	88	689	34	2	30	19	1	1	270	1,134
茨城	191	1,026	103	3	46	43	3	0	235	1,650
栃木	121	602	32	4	27	36	4	0	355	1,181
群馬	250	490	20	2	23	26	1	0	165	977
埼玉	620	1,157	125	8	112	455	10	0	662	3,149
千葉	323	1,019	163	11	80	327	3	1	488	2,415
東京都	202	6,165	258	4	333	14,378	11	1	1,342	22,694
神奈川県	433	1,296	172	5	93	1,136	23	0	1,685	4,843
新潟	67	790	100	23	39	27	3	0	263	1,312
富山	31	283	31	1	12	27	0	0	100	485
石川	42	301	43	2	22	8	0	0	127	545
福井	13	245	13	0	9	6	0	0	76	362
山梨	30	303	15	0	20	10	1	0	175	554
長野	108	690	45	56	32	21	3	0	268	1,223
岐阜	97	759	73	3	40	29	5	0	235	1,241
静岡	513	902	135	1	60	82	2	1	405	2,101
愛知	434	1,453	160	1	104	458	2	0	643	3,255
三重	104	657	50	2	25	54	0	1	124	1,017
滋賀	26	412	26	2	26	19	2	0	203	716
京都	66	477	68	7	43	286	1	0	361	1,309
大阪	517	1,017	192	5	194	1,838	34	2	1,225	5,024
兵庫	319	1,239	134	6	97	588	11	0	1,078	3,472
奈良	43	337	38	0	13	86	0	2	279	798
和歌山	35	350	54	4	23	45	4	0	161	676
鳥取	8	205	29	0	15	6	1	0	66	330
島根	20	334	30	16	5	6	0	0	83	494
岡山	143	766	56	2	23	43	5	0	260	1,298
広島	187	708	108	21	45	102	14	0	266	1,451
山口	134	524	58	2	24	31	2	0	177	952
徳島	23	188	41	0	10	15	0	0	87	364
香川	20	304	43	0	27	23	0	0	57	474
愛媛	59	339	35	0	23	17	1	0	176	650
高知	17	216	35	0	3	7	0	0	100	378
福岡	233	951	190	96	80	101	7	1	1,175	2,834
佐賀	26	320	30	14	15	4	0	0	117	526
長崎	29	264	42	8	24	20	1	0	172	560
熊本	263	611	49	9	40	11	0	0	160	1,143
大分	52	320	28	2	20	29	0	0	172	623
宮崎	6	247	33	5	13	6	1	0	78	389
鹿児島	62	419	61	13	20	15	4	0	163	757
沖縄	42	167	105	20	15	40	0	1	134	524
計	6,501	33,539	3,470	422	2,099	20,960	182	11	16,377	83,561

(注)火災による救助出動件数は、実際に救助活動を行った件数のみ計上している。

別表4 都道府県別事故種別救助活動件数

(平成18年中 単位:件)

事故種別 都道府県	火災	交通事故	水難事故	自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	計
北海道	183	846	121	14	40	218	6	0	616	2,044
青森	68	228	40	0	15	22	0	0	68	441
岩手	76	229	15	4	10	20	0	0	62	416
宮城	102	329	40	3	14	63	1	0	130	682
秋田	62	193	20	8	12	9	0	0	167	471
山形	13	172	16	3	10	11	2	0	67	294
福島	88	302	15	1	16	11	0	0	152	585
茨城	191	558	57	2	26	30	1	0	121	986
栃木	121	317	22	2	10	27	0	0	143	642
群馬	250	296	15	2	15	22	1	0	103	704
埼玉	620	606	89	3	53	318	7	0	292	1,988
千葉	323	583	110	7	32	256	1	1	230	1,543
東京	202	5,236	154	4	125	11,784	7	1	779	18,292
神奈川	433	427	115	2	43	932	4	0	472	2,428
新潟	67	306	65	14	17	16	1	0	130	616
富山	31	156	19	0	7	16	0	0	43	272
石川	42	144	33	2	4	8	0	0	56	289
福井	13	139	7	0	6	6	0	0	40	211
山梨	30	148	8	0	6	4	0	0	95	291
長野	108	348	34	51	19	17	1	0	171	749
岐阜	97	319	46	3	21	20	1	0	112	619
静岡	513	527	92	1	28	60	2	0	221	1,444
愛知	434	853	114	0	57	313	1	0	291	2,063
三重	104	380	37	1	11	39	0	0	94	666
滋賀	26	214	14	0	11	15	2	0	103	385
京都	66	234	48	4	19	235	1	0	238	845
大阪	517	497	133	3	100	1,078	19	1	423	2,771
兵庫	319	589	93	5	58	449	5	0	383	1,901
奈良	43	148	19	0	7	67	0	1	188	473
和歌山	35	205	39	3	15	39	2	0	102	440
鳥取	8	115	18	0	9	3	1	0	43	197
島根	20	155	18	9	3	5	0	0	37	247
岡山	143	342	40	1	15	32	2	0	92	667
広島	187	374	65	10	27	64	1	0	158	886
山口	134	264	42	1	12	21	1	0	105	580
徳島	23	112	34	0	4	13	0	0	43	229
香川	20	174	27	0	15	18	0	0	36	290
愛媛	59	197	25	0	14	16	1	0	133	445
高知	17	140	25	0	3	6	0	0	79	270
福岡	233	527	138	6	43	64	2	0	284	1,297
佐賀	26	188	20	9	8	2	0	0	90	343
長崎	29	137	24	3	11	16	1	0	120	341
熊本	263	347	33	7	24	9	0	0	118	801
大分	52	179	21	2	12	19	0	0	122	407
宮崎	6	150	22	4	7	5	0	0	53	247
鹿児島	62	222	35	10	8	12	2	0	101	452
沖縄	42	107	80	10	12	30	0	1	87	369
計	6,501	19,259	2,297	214	1,034	16,440	76	5	7,793	53,619

別表5 都道府県別事故種別救助人員

(平成18年中 単位:件)

事故種別 都道府県	火 災	交通事故	水難事故	自然災害	機械に よる事故	建物等に よる事故	ガス及び 酸欠事故	破裂事故	その他 の事故	計
北海道	99	1,708	236	39	57	257	4	0	608	3,008
青森	17	314	54	0	12	22	0	0	67	486
岩手	6	285	14	5	10	20	0	0	56	396
宮城	27	374	35	5	14	62	1	0	124	642
秋田	4	254	19	14	12	10	0	0	159	472
山形	9	193	17	5	11	11	2	0	71	319
福島	9	410	13	1	14	10	0	0	153	610
茨城	26	678	79	4	26	30	0	0	120	963
栃木	18	361	18	1	10	26	0	0	138	572
群馬	19	367	8	0	16	21	2	0	98	531
埼玉	107	672	73	4	57	296	7	0	306	1,522
千葉	67	662	98	6	44	246	0	1	211	1,335
東京都	194	8,408	122	4	174	11,547	30	0	770	21,249
神奈川県	125	483	106	2	60	910	6	0	421	2,113
新潟	26	346	52	23	19	18	2	0	113	599
富山	9	190	19	0	7	16	0	0	40	281
石川	14	187	36	4	4	8	0	0	54	307
福井	1	172	7	0	5	6	0	0	41	232
山梨	2	221	8	0	5	4	0	0	146	386
長野	19	412	32	138	20	16	2	0	170	809
岐阜	30	415	55	4	24	21	0	0	108	657
静岡	49	631	78	2	27	53	1	0	215	1,056
愛知	117	1,034	96	0	61	388	1	0	290	1,987
三重	17	444	32	3	11	33	0	0	88	628
滋賀	2	248	21	0	13	12	2	0	107	405
京都	23	369	56	7	48	207	1	0	278	989
大阪	161	534	117	8	173	1,081	10	0	352	2,436
兵庫県	139	694	87	7	95	434	7	0	332	1,795
奈良	11	179	25	0	7	75	0	1	183	481
和歌山	10	227	39	4	13	40	4	0	93	430
鳥取	4	131	17	0	9	3	2	0	46	212
島根	5	199	16	158	3	5	0	0	36	422
岡山	17	449	36	1	15	29	0	0	89	636
広島	38	695	94	34	39	76	0	0	211	1,187
山口	21	357	34	0	12	22	1	0	101	548
徳島	104	179	56	0	4	13	0	0	57	413
香川	11	208	26	0	15	14	0	0	34	308
愛媛	19	234	27	0	16	17	1	0	140	454
高知	6	169	22	0	3	6	0	0	74	280
福岡	58	644	135	16	58	66	2	0	303	1,282
佐賀	10	194	12	29	9	2	0	0	79	335
長崎	7	252	31	8	36	17	1	0	107	459
熊本	22	421	30	9	23	8	0	0	119	632
大分	15	287	17	0	24	17	0	0	122	482
宮崎	2	210	20	3	12	4	0	0	66	317
鹿児島	7	395	41	99	7	11	0	0	104	664
沖縄	13	161	70	1	21	39	0	0	96	401
計	1,716	26,657	2,336	648	1,355	16,229	89	2	7,696	56,728

別表6 都道府県別事故種別救助出動人員

事故種別 都道府県	火 災		交通事故		水難事故		自然災害		機 械 に よる事故	
北海道	7,015	(985)	16,977	(52)	4,618	(35)	220	(15)	824	(5)
青森	1,306	(2,954)	4,348	(0)	1,172	(1,030)	0	(0)	263	(0)
岩手	1,266	(2,776)	5,614	(17)	351	(44)	103	(0)	314	(0)
宮城	4,433	(1,040)	6,450	(23)	1,125	(159)	29	(0)	210	(4)
秋田	1,935	(94)	6,675	(0)	397	(5)	247	(36)	230	(0)
山形	354	(188)	3,786	(0)	351	(0)	75	(20)	213	(0)
福島	1,772	(1,977)	7,230	(3)	425	(124)	16	(0)	299	(0)
茨城	4,908	(4,540)	10,484	(344)	1,447	(28)	32	(0)	455	(0)
栃木	2,924	(6,153)	6,409	(0)	478	(88)	37	(0)	243	(0)
群馬	6,305	(3,718)	5,769	(66)	291	(0)	6	(4)	283	(0)
埼玉	15,997	(12,130)	15,993	(4)	2,611	(98)	100	(20)	1,462	(0)
千葉	10,824	(6,386)	14,153	(48)	2,669	(51)	130	(76)	963	(0)
東京	16,563	(745)	82,338	(0)	9,847	(12)	100	(0)	6,888	(0)
神奈川	20,785	(7,445)	20,131	(40)	4,136	(9)	54	(0)	1,560	(2)
新潟	1,781	(886)	8,792	(10)	1,655	(0)	290	(60)	430	(0)
富山	826	(1,123)	2,648	(1)	377	(78)	13	(0)	113	(0)
石川	1,810	(1,984)	3,115	(510)	729	(320)	38	(27)	242	(42)
福井	589	(70)	2,274	(5)	145	(0)	0	(0)	64	(0)
山梨	371	(115)	2,193	(3)	156	(200)	0	(0)	126	(0)
長野	2,132	(611)	5,862	(6)	442	(210)	313	(533)	262	(0)
岐阜	2,484	(1,287)	7,476	(1)	1,103	(41)	21	(0)	370	(0)
静岡	8,221	(10,726)	12,005	(0)	2,381	(44)	13	(0)	779	(0)
愛知	18,554	(7,544)	19,656	(19)	3,655	(125)	7	(0)	1,417	(0)
三重	2,506	(1,350)	7,026	(18)	676	(29)	17	(28)	240	(0)
滋賀	727	(90)	4,420	(0)	393	(0)	17	(14)	230	(0)
京都	2,707	(1,001)	5,927	(183)	1,268	(85)	176	(153)	681	(31)
大阪	16,026	(1,942)	16,674	(5)	2,600	(0)	61	(0)	1,801	(0)
兵庫	15,918	(4,296)	14,737	(66)	2,745	(29)	73	(0)	1,117	(0)
奈良	710	(203)	3,590	(23)	347	(0)	0	(0)	106	(0)
和歌山	869	(524)	3,805	(5)	595	(1)	30	(33)	225	(0)
鳥取	269	(149)	2,928	(5)	503	(2)	0	(0)	217	(0)
島根	1,589	(1,173)	2,704	(0)	289	(75)	172	(55)	50	(0)
岡山	3,349	(3,377)	7,248	(10)	643	(30)	48	(53)	169	(0)
広島	10,629	(2,731)	8,833	(0)	2,139	(123)	217	(0)	557	(0)
山口	1,877	(469)	5,398	(0)	742	(4)	15	(0)	235	(4)
徳島	325	(494)	1,645	(47)	496	(241)	0	(0)	92	(0)
香川	582	(757)	3,314	(0)	730	(20)	0	(0)	283	(0)
愛媛	1,224	(1,381)	3,549	(1)	432	(0)	0	(0)	229	(1)
高知	191	(447)	1,921	(6)	364	(51)	0	(0)	31	(0)
福岡	5,764	(5,456)	13,593	(42)	3,575	(584)	124	(0)	1,033	(0)
佐賀	606	(76)	3,231	(0)	350	(0)	140	(210)	145	(0)
長崎	619	(489)	2,604	(0)	474	(2)	51	(2)	245	(0)
熊本	4,441	(5,514)	5,034	(70)	852	(274)	109	(4)	388	(10)
大分	876	(1,112)	2,987	(0)	352	(244)	7	(15)	206	(2)
宮崎	148	(176)	2,832	(4)	638	(631)	38	(0)	120	(0)
鹿児島	1,483	(529)	3,801	(72)	529	(0)	171	(443)	170	(0)
沖縄	409	(15)	1,279	(2)	1,008	(23)	63	(2)	137	(0)
計	206,999	(109,228)	399,458	(1,711)	63,301	(5,149)	3,373	(1,803)	26,717	(101)

(注)各欄の左側は消防職員、( )内は消防団員を示す。



(平成18年中 単位:人)

事故種別 都道府県	建物等による事故		ガス及び酸欠事故		破裂事故		その他の事故		計	
北海道	4,784	(27)	176	(0)	0	(0)	12,132	(535)	46,746	(1,654)
青森	241	(0)	0	(0)	0	(0)	1,740	(333)	9,070	(4,317)
岩手	315	(0)	27	(0)	0	(0)	975	(252)	8,965	(3,089)
宮城	923	(4)	160	(1)	0	(0)	6,268	(233)	19,598	(1,464)
秋田	116	(0)	0	(0)	0	(0)	2,293	(260)	11,893	(395)
山形	185	(0)	18	(0)	0	(0)	996	(0)	5,978	(208)
福島	153	(0)	6	(0)	26	(0)	2,843	(161)	12,770	(2,265)
茨城	371	(0)	34	(0)	0	(0)	3,170	(180)	20,901	(5,092)
栃木	302	(0)	47	(0)	0	(0)	4,237	(1,236)	14,677	(7,477)
群馬	202	(0)	15	(0)	0	(0)	1,399	(205)	14,270	(3,993)
埼玉	5,305	(12)	117	(0)	0	(0)	8,938	(1,079)	50,523	(13,343)
千葉	3,875	(0)	74	(0)	11	(0)	7,027	(758)	39,726	(7,319)
東京都	143,642	(0)	509	(0)	43	(0)	24,546	(3)	284,476	(760)
神奈川県	11,453	(21)	409	(0)	0	(0)	36,722	(2,651)	95,250	(10,168)
新潟	381	(0)	37	(0)	0	(0)	2,870	(637)	16,236	(1,593)
富山	257	(0)	0	(0)	0	(0)	1,037	(409)	5,271	(1,611)
石川	80	(24)	0	(0)	0	(0)	2,074	(1,134)	8,088	(4,041)
福井	35	(0)	0	(0)	0	(0)	652	(25)	3,759	(100)
山梨	50	(0)	4	(0)	0	(0)	1,159	(3)	4,059	(321)
長野	186	(0)	32	(0)	0	(0)	2,537	(84)	11,766	(1,444)
岐阜	242	(0)	111	(18)	0	(0)	3,016	(480)	14,823	(1,827)
静岡県	1,033	(11)	38	(0)	18	(0)	5,006	(876)	29,494	(11,657)
愛知県	7,026	(10)	17	(0)	0	(0)	7,693	(659)	58,025	(8,357)
三重	407	(0)	0	(0)	6	(0)	1,013	(21)	11,891	(1,446)
滋賀	191	(0)	13	(0)	0	(0)	1,971	(178)	7,962	(282)
京都	2,518	(277)	7	(0)	0	(0)	5,028	(415)	18,312	(2,145)
大阪	14,017	(0)	698	(0)	49	(0)	15,379	(712)	67,305	(2,659)
兵庫県	5,621	(0)	122	(0)	0	(0)	20,018	(923)	60,351	(5,314)
奈良	691	(0)	0	(0)	12	(0)	2,142	(8)	7,598	(234)
和歌山	468	(0)	50	(0)	0	(0)	2,057	(27)	8,099	(590)
鳥取	61	(0)	20	(0)	0	(0)	769	(65)	4,767	(221)
島根	26	(0)	0	(0)	0	(0)	456	(0)	5,286	(1,303)
岡山	347	(102)	57	(0)	0	(0)	3,157	(156)	15,018	(3,728)
広島	1,382	(0)	221	(0)	0	(0)	3,155	(6)	27,133	(2,860)
山口	234	(0)	28	(0)	0	(0)	1,685	(24)	10,214	(501)
徳島	91	(0)	0	(0)	0	(0)	999	(1,524)	3,648	(2,306)
香川	251	(0)	0	(0)	0	(0)	505	(8)	5,665	(785)
愛媛	135	(0)	16	(0)	0	(0)	1,422	(259)	7,007	(1,642)
高知	84	(0)	0	(0)	0	(0)	841	(63)	3,432	(567)
福岡	1,034	(0)	96	(0)	27	(28)	11,975	(2,040)	37,221	(8,150)
佐賀	47	(0)	0	(0)	0	(0)	848	(149)	5,367	(435)
長崎	176	(0)	13	(0)	0	(0)	1,660	(8)	5,842	(501)
熊本	111	(0)	0	(0)	0	(0)	1,673	(220)	12,608	(6,092)
大分	258	(0)	0	(0)	0	(0)	1,362	(402)	6,048	(1,775)
宮崎	48	(0)	6	(0)	0	(0)	740	(70)	4,570	(881)
鹿児島	158	(0)	48	(0)	0	(0)	1,385	(48)	7,745	(1,092)
沖縄	256	(0)	0	(0)	5	(0)	889	(9)	4,046	(51)
計	209,769	(488)	3,226	(19)	197	(28)	220,459	(19,528)	1,133,499	(138,055)

別表7 都道府県別事故種別救助活動人員

事故種別 都道府県	火 災		交通事故		水難事故		自然災害		機 械 に よる事故	
北海道	2,279	(312)	7,868	(9)	2,078	(18)	118	(15)	317	(0)
青森	383	(40)	2,059	(0)	730	(1,030)	0	(0)	135	(0)
岩手	588	(497)	2,020	(0)	153	(13)	20	(0)	88	(0)
宮城	1,059	(34)	3,170	(0)	521	(86)	29	(0)	131	(0)
秋田	402	(94)	1,662	(0)	225	(1)	91	(36)	79	(0)
山形	329	(175)	1,650	(0)	163	(0)	34	(20)	96	(0)
福島	1,046	(1,056)	2,832	(0)	186	(124)	10	(0)	137	(0)
茨城	1,606	(202)	5,381	(23)	913	(17)	12	(0)	237	(0)
栃木	1,250	(1,363)	2,995	(0)	283	(88)	18	(0)	92	(0)
群馬	3,773	(508)	2,700	(4)	191	(0)	6	(4)	158	(0)
埼玉	5,478	(1,864)	6,864	(0)	1,463	(54)	28	(0)	516	(0)
千葉	3,416	(1,205)	6,902	(1)	1,474	(8)	52	(56)	341	(0)
東京都	12,945	(599)	57,186	(0)	4,267	(12)	77	(0)	2,272	(0)
神奈川	5,026	(833)	4,593	(15)	1,736	(0)	17	(0)	472	(0)
新潟	852	(196)	3,215	(3)	981	(0)	186	(59)	161	(0)
富山	194	(20)	1,284	(1)	264	(78)	0	(0)	57	(0)
石川	401	(86)	1,319	(51)	471	(122)	21	(27)	24	(0)
福井	403	(0)	1,299	(0)	74	(0)	0	(0)	47	(0)
山梨	123	(0)	980	(3)	78	(70)	0	(0)	39	(0)
長野	1,578	(43)	2,717	(3)	322	(200)	284	(493)	136	(0)
岐阜	848	(0)	2,831	(1)	719	(41)	21	(0)	150	(0)
静岡県	6,772	(7,264)	6,274	(0)	1,385	(34)	13	(0)	363	(0)
愛知	3,599	(174)	8,697	(1)	1,807	(110)	0	(0)	579	(0)
三重	1,493	(486)	3,533	(3)	452	(28)	14	(28)	85	(0)
滋賀	572	(0)	2,222	(0)	144	(0)	0	(0)	97	(0)
京都	624	(71)	2,175	(1)	566	(0)	133	(153)	188	(0)
大阪	6,575	(536)	6,584	(0)	1,710	(0)	39	(0)	899	(0)
兵庫県	2,847	(135)	4,812	(35)	1,066	(24)	36	(0)	445	(0)
奈良	368	(0)	1,258	(5)	152	(0)	0	(0)	55	(0)
和歌山	444	(495)	1,843	(0)	409	(1)	25	(33)	118	(0)
鳥取	111	(0)	1,226	(0)	250	(0)	0	(0)	86	(0)
島根	548	(492)	1,351	(0)	205	(75)	130	(55)	27	(0)
岡山	858	(76)	2,657	(0)	356	(30)	39	(53)	101	(0)
広島	2,983	(712)	4,363	(0)	1,382	(127)	83	(0)	295	(0)
山口	1,007	(31)	2,257	(0)	517	(4)	5	(0)	95	(4)
徳島	154	(146)	969	(0)	350	(129)	0	(0)	42	(0)
香川	243	(308)	1,758	(0)	336	(0)	0	(0)	152	(0)
愛媛	1,022	(513)	1,978	(1)	297	(0)	0	(0)	132	(1)
高知	114	(0)	1,184	(6)	226	(0)	0	(0)	28	(0)
福岡	3,860	(1,796)	6,558	(0)	2,208	(246)	68	(0)	387	(0)
佐賀	228	(76)	1,552	(10)	205	(0)	80	(200)	81	(0)
長崎	426	(253)	1,237	(0)	270	(0)	13	(0)	98	(0)
熊本	1,360	(675)	2,821	(17)	521	(205)	71	(0)	158	(10)
大分	188	(130)	1,530	(0)	233	(104)	7	(15)	87	(0)
宮崎	58	(49)	1,680	(1)	395	(417)	33	(0)	74	(0)
鹿児島	1,193	(450)	1,973	(72)	343	(0)	132	(443)	73	(0)
沖縄	319	(4)	894	(0)	731	(15)	26	(0)	111	(0)
計	81,945	(23,999)	194,913	(266)	33,808	(3,511)	1,971	(1,690)	10,541	(15)

(注)各欄の左側は消防職員、( )内は消防団員を示す。

(平成18年中 単位:人)

事故種別 都道府県	建物等に よる事故	ガス及び 酸欠事故	破裂事故	その他 の事故	計
北海道	1,509 (13)	39 (0)	0 (0)	4,923 (347)	19,131 (714)
青森	180 (0)	0 (0)	0 (0)	528 (313)	4,015 (1,383)
岩手	175 (0)	0 (0)	0 (0)	640 (252)	3,684 (762)
宮城	490 (0)	14 (0)	0 (0)	1,117 (27)	6,531 (147)
秋田	77 (0)	0 (0)	0 (0)	1,426 (260)	3,962 (391)
山形	104 (0)	18 (0)	0 (0)	529 (0)	2,923 (195)
福島	76 (0)	0 (0)	0 (0)	1,161 (35)	5,448 (1,215)
茨城	209 (0)	3 (0)	0 (0)	1,102 (27)	9,463 (269)
栃木	184 (0)	0 (0)	0 (0)	1,183 (0)	6,005 (1,451)
群馬	143 (0)	15 (0)	0 (0)	825 (174)	7,811 (690)
埼玉	2,738 (0)	62 (0)	0 (0)	2,517 (1)	19,666 (1,919)
千葉	2,060 (0)	4 (0)	11 (0)	1,984 (10)	16,244 (1,280)
東京都	95,611 (0)	360 (0)	43 (0)	11,355 (3)	184,116 (614)
神奈川県	6,124 (0)	49 (0)	0 (0)	4,482 (27)	22,499 (875)
新潟	187 (0)	16 (0)	0 (0)	1,283 (554)	6,881 (812)
富山	123 (0)	0 (0)	0 (0)	305 (7)	2,227 (106)
石川	54 (0)	0 (0)	0 (0)	507 (97)	2,797 (383)
福井	32 (0)	0 (0)	0 (0)	329 (17)	2,184 (17)
山梨	23 (0)	0 (0)	0 (0)	594 (1)	1,837 (74)
長野	101 (0)	13 (0)	0 (0)	1,189 (9)	6,340 (748)
岐阜	118 (0)	4 (0)	0 (0)	842 (0)	5,533 (42)
静岡県	632 (11)	38 (0)	0 (0)	2,088 (115)	17,565 (7,424)
愛知	2,217 (0)	10 (0)	0 (0)	2,293 (0)	19,202 (285)
三重	268 (0)	0 (0)	0 (0)	728 (16)	6,573 (561)
滋賀	132 (0)	13 (0)	0 (0)	755 (1)	3,935 (1)
京都	1,178 (4)	7 (0)	0 (0)	2,278 (41)	7,149 (270)
大阪	7,860 (0)	204 (0)	36 (0)	3,711 (67)	27,618 (603)
兵庫	2,522 (0)	42 (0)	0 (0)	2,783 (168)	14,553 (362)
奈良	399 (0)	0 (0)	6 (0)	1,200 (5)	3,438 (10)
和歌山	328 (0)	22 (0)	0 (0)	795 (12)	3,984 (541)
鳥取	23 (0)	8 (0)	0 (0)	362 (9)	2,066 (9)
島根	26 (0)	0 (0)	0 (0)	290 (0)	2,577 (622)
岡山	198 (0)	12 (0)	0 (0)	624 (0)	4,845 (159)
広島	855 (0)	11 (0)	0 (0)	1,713 (1)	11,685 (840)
山口	131 (0)	15 (0)	0 (0)	738 (22)	4,765 (61)
徳島	64 (0)	0 (0)	0 (0)	357 (538)	1,936 (813)
香川	118 (0)	0 (0)	0 (0)	298 (5)	2,905 (313)
愛媛	116 (0)	13 (0)	0 (0)	1,046 (215)	4,604 (730)
高知	47 (0)	0 (0)	0 (0)	566 (63)	2,165 (69)
福岡	548 (0)	31 (0)	0 (0)	2,541 (141)	16,201 (2,183)
佐賀	16 (0)	0 (0)	0 (0)	557 (149)	2,719 (435)
長崎	129 (0)	13 (0)	0 (0)	1,036 (8)	3,222 (261)
熊本	65 (0)	0 (0)	0 (0)	1,088 (151)	6,084 (1,058)
大分	110 (0)	0 (0)	0 (0)	803 (361)	2,958 (610)
宮崎	44 (0)	0 (0)	0 (0)	437 (57)	2,721 (524)
鹿児島	103 (0)	23 (0)	0 (0)	801 (48)	4,641 (1,013)
沖縄	221 (0)	0 (0)	5 (0)	623 (1)	2,930 (20)
計	128,668 (28)	1,059 (0)	101 (0)	69,332 (4,355)	522,338 (33,864)

別表8 救助活動のための主な資機材の保有状況(省令別表第1)

(平成19年4月1日現在)

資機材名 都道府県	三連 はしご	救命索 発射銃	油圧 スプレッター	油圧 切断機	可搬 ウインチ	エンジン カッター	チェーン ソー	ガス 溶断機	可燃性ガス 測定器	空気 呼吸器
北海道	349	123	113	113	252	374	302	76	239	2,484
青森	104	33	44	41	59	66	60	19	60	600
岩手	61	24	24	25	47	61	67	22	66	432
宮城	122	45	28	37	60	62	70	26	57	617
秋田	60	26	31	27	47	61	48	17	42	456
山形	70	28	14	11	37	39	33	18	40	462
福島	67	40	23	30	62	48	39	28	55	583
茨城	172	76	51	53	104	125	147	45	98	1,077
栃木	94	39	30	24	61	60	73	21	60	560
群馬	120	36	40	35	81	97	83	16	78	661
埼玉	402	103	96	83	223	290	242	87	246	2,268
千葉	264	82	92	71	168	283	307	70	244	1,906
東京都	758	95	86	82	294	331	193	60	357	3,369
神奈川県	186	107	76	59	269	303	411	70	350	1,967
新潟	201	71	67	46	96	97	95	48	82	1,188
富山	48	44	26	27	41	35	36	28	31	452
石川	68	33	19	19	45	55	72	19	48	448
福井	37	38	12	13	34	39	40	14	42	390
山梨	26	48	13	8	32	22	24	15	21	168
長野	101	61	72	52	89	84	101	31	72	759
岐阜	99	58	55	37	123	101	135	50	57	706
静岡県	181	86	77	54	150	231	300	61	192	1,310
愛知県	292	114	89	86	241	244	257	100	243	2,361
三重	106	44	42	44	84	95	90	30	72	867
滋賀	59	28	24	12	52	38	65	16	29	436
京都	75	23	33	19	49	55	50	23	69	772
大阪	226	81	70	72	132	211	144	52	223	2,523
兵庫県	167	72	81	63	134	161	195	52	173	1,148
奈良	47	24	27	20	39	38	52	21	34	346
和歌山	56	40	25	14	51	50	68	19	44	414
鳥取	41	17	13	16	31	30	33	12	34	220
島根	43	28	34	20	27	30	31	16	39	338
岡山	44	26	22	17	40	47	38	25	35	620
広島	73	46	41	32	68	123	168	36	99	913
山口	76	34	30	28	48	71	99	22	50	571
徳島	27	28	17	14	34	30	42	12	26	229
香川	41	30	17	6	38	38	87	14	42	341
愛媛	78	30	24	17	63	52	124	25	61	535
高知	42	40	22	18	48	39	40	12	34	284
福岡	157	69	46	33	107	131	199	47	112	1,323
佐賀	34	23	16	21	24	25	33	13	21	287
長崎	65	24	31	31	33	74	68	17	59	375
熊本	84	33	32	24	32	57	103	25	56	570
大分	62	38	7	7	35	34	71	18	49	446
宮崎	39	27	15	16	31	32	44	12	28	349
鹿児島	95	58	29	28	76	88	124	26	70	623
沖縄	61	23	25	23	45	70	58	25	27	378
合計	5,680	2,296	1,901	1,628	3,936	4,727	5,161	1,511	4,266	40,132

別表9 救助活動のための主な資機材の保有状況(省令別表第2)

(平成19年4月1日現在)

資機材名 都道府県	空気 ジャッキ	大型油圧 スプレッター	大型油圧 切断機	削岩機	空気鋸	簡易画像 探索機	ロープ 登降機	ハンマー ドリル	送排風機	酸素 呼吸器
北海道	181	168	156	48	109	17	58	36	99	149
青森	36	31	31	14	24	2	16	12	25	26
岩手	34	28	26	11	31	5	21	10	25	73
宮城	29	47	70	47	27	14	48	16	26	83
秋田	31	26	23	13	24	7	21	16	20	55
山形	24	22	22	12	21	3	16	10	19	27
福島	27	37	36	21	30	5	38	17	27	79
茨城	67	45	42	36	66	30	37	33	45	102
栃木	32	36	26	18	27	13	35	20	34	76
群馬	41	22	23	11	29	6	27	13	18	49
埼玉	130	87	95	79	112	54	155	64	91	306
千葉	138	82	78	69	97	41	85	61	73	200
東京都	86	31	31	46	82	80	30	35	29	123
神奈川県	206	83	78	220	82	54	118	70	92	258
新潟	72	51	46	34	54	16	125	24	43	88
富山	29	27	27	12	23	5	8	13	17	21
石川	33	20	21	17	24	3	11	14	21	21
福井	27	22	23	15	15	7	13	10	14	32
山梨	28	14	14	9	16	3	20	13	18	34
長野	63	51	52	23	47	13	59	21	34	65
岐阜	64	49	46	32	50	19	38	30	39	79
静岡	90	78	73	69	56	26	50	42	57	118
愛知	130	106	117	113	93	40	95	69	104	272
三重	37	20	17	31	33	10	53	26	24	66
滋賀	21	21	21	18	16	4	48	13	21	34
京都	41	26	26	23	31	13	101	20	26	60
大阪	108	102	103	93	113	28	92	69	82	100
兵庫	81	76	68	68	62	20	94	46	91	79
奈良	25	20	21	20	26	7	32	18	23	68
和歌山	37	25	24	17	27	5	23	11	16	26
鳥取	8	10	9	6	9	3	6	4	7	28
島根	23	9	10	9	18	3	18	3	12	15
岡山	31	27	23	20	33	8	28	19	24	65
広島	54	31	30	31	39	12	38	29	39	96
山口	47	26	23	19	26	10	33	17	24	62
徳島	20	11	11	10	13	3	12	8	13	25
香川	28	20	19	12	10	1	14	14	17	49
愛媛	43	27	26	17	29	5	30	14	27	85
高知	27	14	18	8	25	4	72	8	10	20
福岡	62	47	47	41	76	15	99	33	40	132
佐賀	18	13	11	9	14	2	15	6	11	31
長崎	25	18	17	8	23	6	10	12	14	22
熊本	40	32	29	20	36	10	42	21	21	59
大分	21	24	23	11	16	7	11	10	14	9
宮崎	14	48	12	10	13	5	24	10	19	38
鹿児島	50	27	21	18	43	3	38	10	27	62
沖縄	43	19	15	11	22	0	14	8	42	4
合計	2,502	1,856	1,780	1,499	1,892	647	2,071	1,078	1,614	3,571

別表10 救助活動のための主な資機材の保有状況  
〔省令別表第1(地域の実情に応じ備えるもの)〕

(平成19年4月1日現在)

資機材名 都道府県	耐熱服	放射線 防護服	潜水器具	救助用 簡易起重機	有毒ガス 測定器	化学防護服 (陽圧除く)	陽圧式化 学防護服	除染 シャワー	除染剤 散布器	酸素濃度 測定器
北海道	346	58	128	2	148	235	78	9	20	163
青森	88	44	153	4	16	21	32	1	0	40
岩手	54	25	7	4	21	22	27	1	8	26
宮城	90	47	41	5	40	140	83	4	12	24
秋田	35	12	91	0	23	15	49	1	2	23
山形	65	7	8	1	21	19	11	2	2	21
福島	76	51	53	1	33	57	37	5	8	36
茨城	133	513	139	4	48	100	102	6	6	54
栃木	64	42	76	4	43	115	48	4	6	51
群馬	95	23	27	4	13	47	36	3	6	19
埼玉	227	172	209	18	137	327	246	25	61	167
千葉	237	121	171	16	137	414	327	26	52	127
東京都	350	61	72	3	376	1,390	56	21	58	355
神奈川県	158	381	268	7	136	340	324	30	34	291
新潟	105	52	86	2	37	60	47	3	6	46
富山	62	2	37	9	25	15	40	1	1	17
石川	87	119	99	0	25	81	46	3	4	32
福井	37	70	54	3	28	10	29	1	5	27
山梨	19	11	5	1	15	63	39	3	3	16
長野	96	14	29	6	39	77	32	2	2	52
岐阜	80	33	155	9	49	26	47	2	2	43
静岡	150	102	204	11	82	45	130	6	2	94
愛知	441	118	322	12	162	375	206	14	19	176
三重	62	19	103	3	30	24	14	2	3	33
滋賀	40	41	60	0	21	236	46	3	6	23
京都	55	87	81	9	29	140	103	3	4	57
大阪	264	371	180	3	112	232	254	16	17	138
兵庫	154	113	185	18	98	200	170	5	7	114
奈良	44	26	77	2	24	58	41	1	4	24
和歌山	53	16	96	1	26	12	32	2	3	32
鳥取	35	20	21	0	9	20	19	2	2	16
島根	43	8	5	0	15	55	23	2	3	24
岡山	68	36	32	0	46	38	55	1	1	26
広島	87	38	295	0	37	67	80	4	7	32
山口	65	28	98	1	28	92	70	1	6	23
徳島	34	9	80	0	22	7	17	1	2	20
香川	65	17	62	1	17	13	19	3	3	27
愛媛	63	18	45	0	36	52	51	1	0	46
高知	17	6	86	0	13	8	4	2	4	12
福岡	162	58	319	1	85	105	114	6	5	51
佐賀	45	9	79	0	15	36	30	2	4	14
長崎	65	21	17	0	16	12	16	2	0	18
熊本	55	23	148	2	35	20	67	3	6	37
大分	46	17	63	0	26	104	24	3	6	22
宮崎	25	13	17	2	14	131	48	5	4	11
鹿児島	96	12	97	3	54	158	40	2	2	43
沖縄	35	14	327	0	22	13	33	3	3	18
合計	4,773	3,098	5,007	172	2,484	5,827	3,442	248	421	2,761

別表11 救助活動のための主な資機材の保有状況(省令別表第3)

(平成19年4月1日現在)

資機材名 都道府県	画像 探査機	地中音響 探知機	熱画像 直視装置	夜間用 暗視装置	地震警報 器	電磁波 探査装置	二酸化炭素 探査装置	水中 探査装置
北海道	13	6	25	10	0	1	0	1
青森	8	3	6	7	1	0	0	0
岩手	8	3	7	3	0	0	0	0
宮城	8	5	12	6	1	1	0	3
秋田	4	2	4	2	0	0	0	0
山形	3	1	4	3	1	1	1	0
福島	9	4	6	4	0	0	0	1
茨城	8	4	6	4	1	0	2	0
栃木	7	4	13	5	0	0	0	0
群馬	7	2	4	3	0	0	0	0
埼玉	32	16	54	16	2	5	1	1
千葉	36	10	40	15	1	1	1	1
東京都	3	15	31	10	3	3	1	6
神奈川県	23	35	53	16	0	4	1	4
新潟	8	7	10	6	0	0	0	0
富山	5	2	6	3	0	0	0	1
石川	6	2	4	2	0	0	0	0
福井	6	3	5	3	1	0	0	2
山梨	0	0	0	0	0	0	0	0
長野	5	2	2	2	1	0	0	1
岐阜	5	3	4	4	2	1	1	1
静岡県	26	15	25	16	0	0	0	0
愛知県	16	7	26	12	0	1	0	4
三重	6	3	5	5	0	0	2	0
滋賀	4	2	5	2	0	0	0	0
京都	10	4	5	4	1	1	1	2
大阪	19	19	53	16	1	2	1	2
兵庫県	31	15	31	19	0	1	1	1
奈良	6	3	6	3	0	0	0	2
和歌山	2	1	3	1	0	0	0	0
鳥取	2	2	4	2	0	0	0	0
島根	3	1	1	1	0	0	0	0
岡山	9	3	9	2	1	0	0	0
広島	11	6	12	6	1	2	0	2
山口	7	4	6	5	0	0	0	0
徳島	4	2	3	3	0	0	0	1
香川	5	3	4	3	0	0	0	1
愛媛	4	3	10	3	1	1	1	1
高知	3	3	4	3	0	0	0	1
福岡	14	7	17	8	1	2	1	4
佐賀	1	0	1	1	0	0	0	0
長崎	2	1	1	1	0	0	0	0
熊本	2	2	7	3	0	0	0	2
大分	0	0	2	0	0	0	0	0
宮崎	9	3	5	6	0	0	1	0
鹿児島	6	2	6	2	1	0	1	0
沖縄	1	1	1	1	0	0	0	0
計	407	241	548	252	21	27	17	45

別表12 救助活動に使用する車両等台数

(平成19年4月1日現在)

車両等 都道府県	救 助 工 作 車	はしご車	屈 折 はしご車	ポンプ車	水槽付 ポンプ車	化学車	その他	計
北海道	56	13	5	19	39	4	18	154
青森	15	5	1	7	9	1	7	45
岩手	14	3	4	3	1	1	2	28
宮城	20	15	1	11	3	2	1	53
秋田	17	4	1	4	5	1	1	33
山形	16	4	1	0	3	2	3	29
福島	23	13	0	11	9	5	3	64
茨城	35	18	4	21	40	7	5	130
栃木	18	8	1	1	0	2	0	30
群馬	15	9	2	4	4	0	1	35
埼玉	61	30	4	4	2	4	8	113
千葉	50	38	3	3	8	3	7	112
東京都	33	2	0	23	24	8	0	90
神奈川県	65	29	3	8	3	1	23	132
新潟	35	31	1	10	7	4	15	103
富山	17	9	1	9	7	2	1	46
石川	13	2	0	4	2	0	5	26
福井	16	9	2	1	4	0	0	32
山梨	14	2	0	7	3	2	1	29
長野	29	10	1	6	3	2	4	55
岐阜	33	15	2	19	23	8	15	115
静岡	43	12	2	5	7	2	3	74
愛知	71	31	1	8	15	3	17	146
三重	17	12	2	7	25	6	8	77
滋賀	15	3	0	5	10	3	8	44
京都	22	4	0	10	4	2	3	45
大阪	52	15	0	11	24	3	4	109
兵庫	42	5	0	12	6	3	2	70
奈良	18	7	0	0	1	0	5	31
和歌山	22	6	1	7	11	1	10	58
鳥取	5	1	0	4	4	1	0	15
島根	15	2	2	0	0	0	1	20
岡山	21	15	0	13	3	3	1	56
広島	32	24	1	42	39	4	47	189
山口	20	13	1	8	6	2	3	53
徳島	13	2	0	1	1	0	2	19
香川	12	8	1	6	3	1	3	34
愛媛	21	9	2	12	16	7	18	85
高知	13	3	0	12	10	1	22	61
福岡	45	14	0	4	9	2	5	79
佐賀	11	7	1	2	5	2	3	31
長崎	17	5	0	10	9	3	16	60
熊本	21	6	1	4	1	1	2	36
大分	14	3	2	9	8	2	3	41
宮崎	12	4	3	0	3	2	3	27
鹿児島	23	8	1	1	2	0	5	40
沖縄	22	9	0	8	12	1	18	70
計	1,214	497	58	376	433	114	332	3,024





# III 航空編

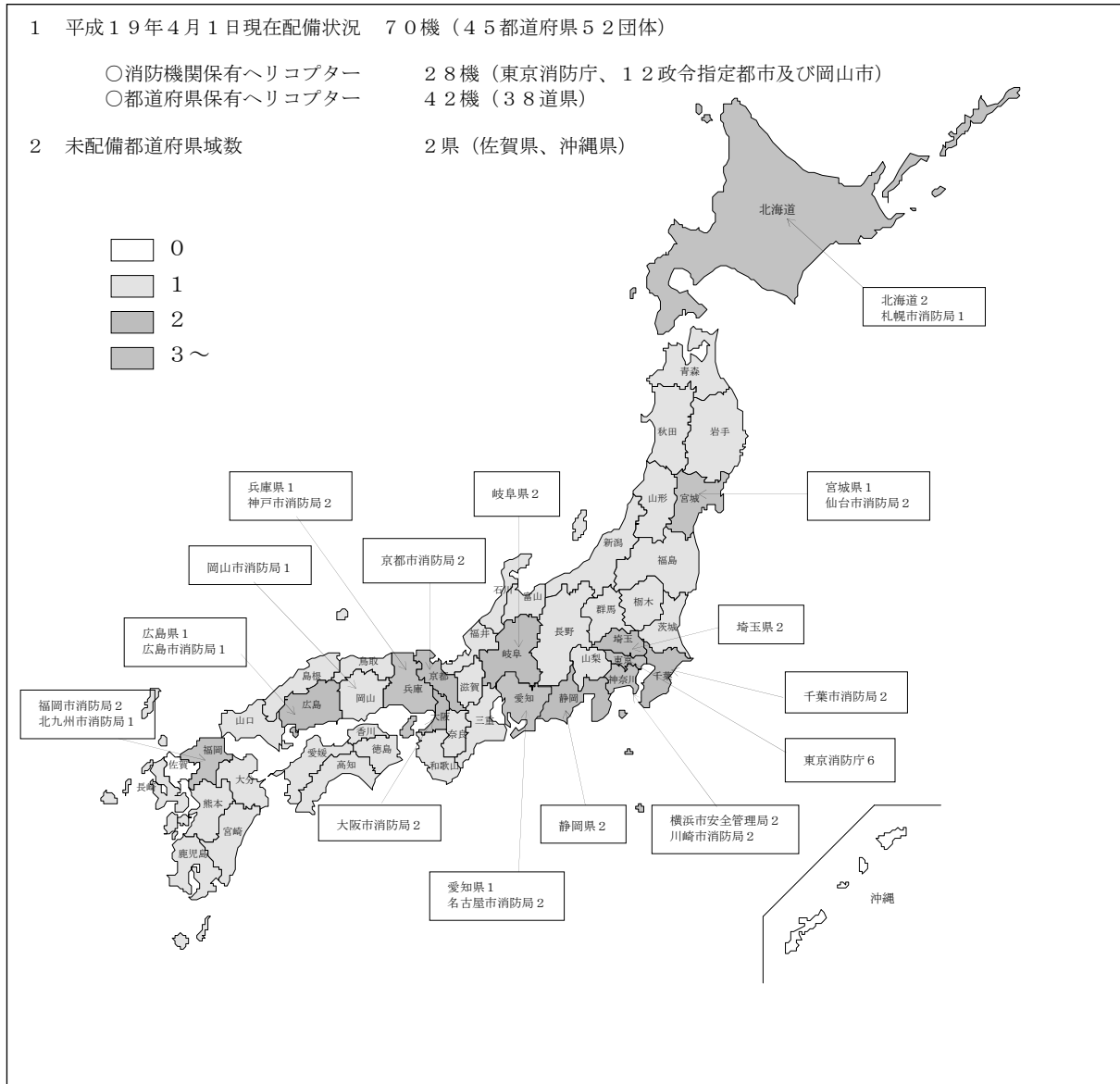


# ヘリコプターによる救急・救助業務

## 1 消防防災ヘリコプターの保有状況

平成19年4月1日現在の消防防災ヘリコプターの保有状況は、消防機関保有が28機、道県保有が42機の計70機となっており、未配備県は2県となっている。(別図、第1表参照)

別図 消防防災ヘリコプターの保有状況



第1表 消防防災ヘリコプター保有状況の推移

区分	年					
	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年
消防機関保有ヘリ	27	27	27	27	28	28
都道府県保有ヘリ	41	41	41	42	42	42
計	68	68	68	69	70	70

(注) 各年とも4月1日現在

## 2 消防防災ヘリコプターの災害活動状況

平成18年中の消防防災ヘリコプターの出動実績は、火災出動1,073件、救助出動1,562件、救急出動2,762件、その他の出動209件、合計5,606件となっている。(第2表、第3表参照)

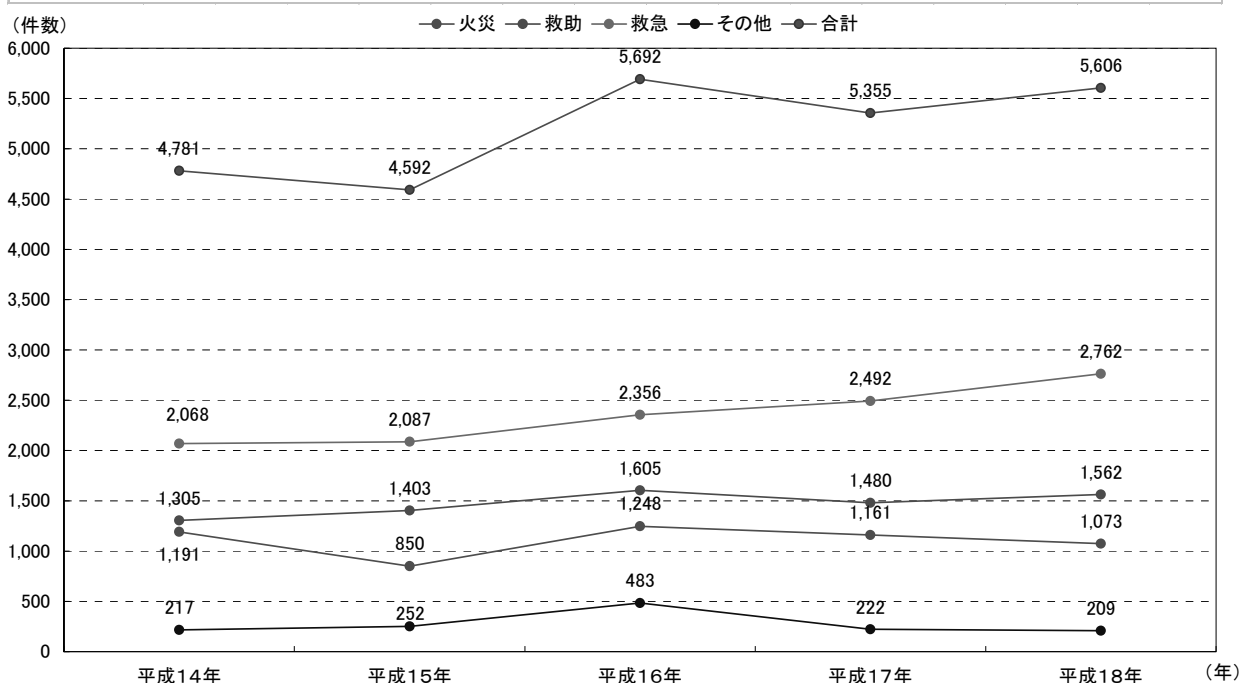
第2表 平成18年中消防防災ヘリコプター災害出動状況

区 分		災 害 区 分											計			
		火 災			救 助			救 急			そ の 他			管内	管外 応援	合計
		管内	管外 応援	合計	管内	管外 応援	合計	管内	管外 応援	合計	管内	管外 応援	合計			
消防ヘリ	1 札幌市消防局	12	1	13	16	0	16	72	5	77	3	0	3	103	6	109
	2 仙台市消防局	45	1	46	36	2	38	23	7	30	24	0	24	128	10	138
	3 千葉市消防局	31	0	31	1	0	1	15	11	26	9	2	11	56	13	69
	4 東京消防庁	180	2	182	86	2	88	292	0	292	7	0	7	565	4	569
	5 横浜市消防局	82	1	83	2	4	6	0	0	0	11	0	11	95	5	100
	6 川崎市消防局	41	0	41	17	4	21	5	0	5	7	2	9	70	6	76
	7 名古屋市消防局	84	3	87	19	4	23	7	4	11	2	0	2	112	11	123
	8 京都市消防局	23	0	23	23	5	28	83	16	99	1	0	1	130	21	151
	9 大阪市消防局	22	0	22	1	0	1	4	0	4	1	0	1	28	0	28
	10 神戸市消防局	158	0	158	55	0	55	32	0	32	5	0	5	250	0	250
	11 岡山市消防局	21	5	26	8	1	9	28	1	29	5	0	5	62	7	69
	12 広島市消防局	39	11	50	29	4	33	26	47	73	5	0	5	99	62	161
	13 北九州市消防局	29	0	29	10	3	13	12	4	16	8	0	8	59	7	66
	14 福岡市消防局	79	1	80	23	4	27	38	12	50	5	0	5	145	17	162
小計	846	25	871	326	33	359	637	107	744	93	4	97	1,902	169	2,071	
道県ヘリ	1 北海道	4	0	4	33	0	33	91	0	91	8	0	8	136	0	136
	2 青森県	0	0	0	67	0	67	41	0	41	0	0	0	108	0	108
	3 岩手県	1	0	1	36	0	36	18	0	18	0	0	0	55	0	55
	4 宮城県	3	0	3	20	1	21	18	4	22	0	0	0	41	5	46
	5 秋田県	0	0	0	37	0	37	27	1	28	2	0	2	66	1	67
	6 山形県	1	0	1	57	0	57	44	0	44	4	0	4	106	0	106
	7 福島県	8	1	9	48	6	54	52	5	57	1	0	1	109	12	121
	8 茨城県	3	2	5	48	1	49	58	4	62	4	0	4	113	7	120
	9 栃木県	12	4	16	37	5	42	43	9	52	0	0	0	92	18	110
	10 群馬県	6	6	12	48	5	53	66	4	70	1	0	1	121	15	136
	11 埼玉県	19	8	27	31	4	35	34	12	46	4	0	4	88	24	112
	12 新潟県	0	0	0	36	0	36	29	2	31	22	0	22	87	2	89
	13 富山県	1	0	1	35	0	35	52	0	52	3	0	3	91	0	91
	14 石川県	0	0	0	26	10	36	28	5	33	2	0	2	56	15	71
	15 福井県	0	0	0	29	2	31	38	2	40	0	0	0	67	4	71
	16 山梨県	4	2	6	34	0	34	39	0	39	2	0	2	79	2	81
	17 長野県	9	1	10	60	2	62	126	2	128	19	0	19	214	5	219
	18 岐阜県	16	0	16	53	3	56	108	0	108	4	0	4	181	3	184
	19 静岡県	2	1	3	39	1	40	23	0	23	0	0	0	64	2	66
	20 愛知県	3	0	3	35	0	35	28	0	28	0	0	0	66	0	66
	21 三重県	4	0	4	23	5	28	27	5	32	0	0	0	54	10	64
	22 滋賀県	2	0	2	31	0	31	18	0	18	0	0	0	51	0	51
	23 兵庫県	6	0	6	17	0	17	83	0	83	2	0	2	108	0	108
	24 奈良県	0	0	0	17	0	17	12	3	15	1	0	1	30	3	33
	25 和歌山県	4	0	4	25	3	28	18	3	21	0	0	0	47	6	53
	26 鳥取県	2	3	5	22	0	22	57	5	62	1	1	2	82	9	91
	27 島根県	3	1	4	9	6	15	81	10	91	6	0	6	99	17	116
	28 広島県	13	1	14	2	0	2	41	0	41	1	0	1	57	1	58
	29 山口県	5	0	5	21	0	21	19	0	19	3	0	3	48	0	48
	30 徳島県	6	2	8	20	0	20	18	9	27	0	0	0	44	11	55
	31 香川県	2	0	2	6	1	7	14	6	20	5	0	5	27	7	34
	32 愛媛県	0	5	5	14	0	14	17	13	30	0	0	0	31	18	49
	33 高知県	10	0	10	38	2	40	221	1	222	2	0	2	271	3	274
	34 長崎県	3	0	3	5	0	5	22	0	22	7	0	7	37	0	37
	35 熊本県	6	1	7	25	4	29	203	6	209	1	0	1	235	11	246
	36 大分県	3	0	3	23	0	23	16	1	17	0	0	0	42	1	43
	37 宮崎県	1	1	2	26	0	26	38	4	42	3	0	3	68	5	73
	38 鹿児島県	1	0	1	9	0	9	34	0	34	3	0	3	47	0	47
小計	163	39	202	1,142	61	1,203	1,902	116	2,018	111	1	112	3,318	217	3,535	
合計	1,009	64	1,073	1,468	94	1,562	2,539	223	2,762	204	5	209	5,220	386	5,606	

※ 「その他」とは、地震、風水害、大規模事故等における警戒、指揮支援、情報収集等の調査活動並びに資機材、人員搬送等の出動で、火災、救助、救急出動以外の出動をいう。

第3表 消防防災ヘリコプター災害出動状況の推移

区分	災害区分												計		
	火災			救助			救急			その他			管内	管外 応援	合計
	管内	管外 応援	合計	管内	管外 応援	合計	管内	管外 応援	合計	管内	管外 応援	合計			
平成14年	1,008	183	1,191	1,251	54	1,305	1,835	233	2,068	176	41	217	4,270	511	4,781
平成15年	806	44	850	1,334	69	1,403	1,894	193	2,087	214	38	252	4,248	344	4,592
平成16年	1,132	116	1,248	1,412	193	1,605	2,096	260	2,356	303	180	483	4,943	749	5,692
平成17年	1,046	115	1,161	1,379	101	1,480	2,292	200	2,492	207	15	222	4,924	431	5,355
平成18年	1,009	64	1,073	1,468	94	1,562	2,539	223	2,762	204	5	209	5,220	386	5,606



### 3 消防防災ヘリコプターによる救急業務実施状況

#### (1) 救急出動件数

平成18年中の消防防災ヘリコプターの救急出動件数は、2,762件（前年比10.8%増）である。（第4表参照）

消防防災ヘリコプターによる救急業務については、平成10年3月に消防法施行令が一部改正され、ヘリコプターによる救急業務が消防法上の救急業務として明確に位置づけられた。

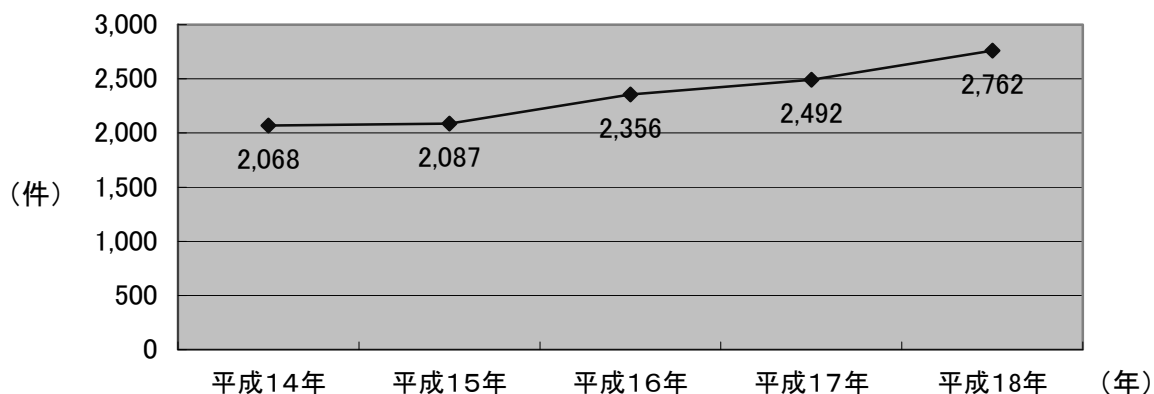
さらに、平成12年2月に、救急ヘリコプターの出動基準ガイドラインを示し、各都道府県はこれをもとに出動基準を作成し、それぞれの地域の実情を踏まえた実効性のあるヘリコプター救急業務実施体制の整備が進められている。

平成15年6月、消防組織法が改正され、都道府県航空消防隊が航空機（ヘリコプター等）を用いて管内市町村の消防を支援できることが法律に明記された。消防防災ヘリコプターの

積極的活用とより安全かつ効果的な運航の推進のため、消防防災ヘリコプターのさらなる整備推進、医療機関との連携体制の整備、離着陸場の整備推進、救急業務実施体制の充実等を図り、消防防災ヘリコプターの機動力を救急活動へ積極的に活用していく。

**第4表 消防防災ヘリコプター救急出動件数の推移**

年 区分	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年
救急出動件数	2,068	2,087	2,356	2,492	2,762
対前年比割合	+24.0%	+0.9%	+12.9%	+5.8%	+10.8%



(2) 事故種別救急出動件数

消防防災ヘリコプターの事故種別救急出動件数は、第5表のとおりである。

**第5表 消防防災ヘリコプター事故種別救急出動件数の推移**

事故種別	平成14年中	平成15年中	平成16年中	平成17年中	平成18年中	増減数
火災	6	8	12	11	14	+3
自然災害	4	3	66	6	4	-2
水難	32	22	42	36	48	+12
交通事故	105	109	145	157	168	+11
労働災害	82	78	97	86	110	+24
運動競技	11	5	5	11	6	-5
一般負傷	411	405	479	522	545	+23
加害	1	2	1	2	2	±0
自損行為	17	30	41	23	31	+8
急病	232	253	254	233	258	+25
転院搬送	1,054	1,098	1,100	1,295	1,403	+108
その他	113	74	114	110	173	+63
合計	2,068	2,087	2,356	2,492	2,762	+270

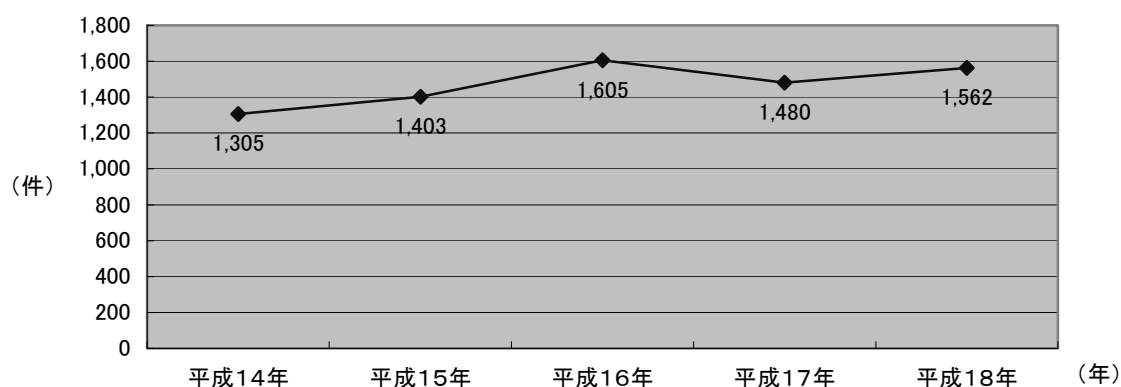
#### 4 消防防災ヘリコプターによる救助業務実施状況

##### (1) 救助出動件数

平成 18 年中の消防防災ヘリコプターの救助出動件数は、1,562 件（前年比 5.5%増）である。（第 6 表参照）

**第 6 表 消防防災ヘリコプター救助出動件数の推移**

年 区分	平成 14 年	平成 15 年	平成 16 年	平成 17 年	平成 18 年
救助出動件数	1,305	1,403	1,605	1,480	1,562
対前年比割合	+9.1%	+7.5%	+14.4%	-7.8%	+5.5%



##### (2) 事故種別救助出動件数

消防防災ヘリコプターの事故種別救助出動件数は、第 7 表のとおりである。

**第 7 表 消防防災ヘリコプター事故種別救助出動件数の推移**

事故種別	平成 14 年中	平成 15 年中	平成 16 年中	平成 17 年中	平成 18 年中	増減数
火 災	0	1	2	0	0	±0
水 難	403	506	533	484	585	+101
自然災害	25	11	114	26	20	-6
山 岳	684	649	689	689	706	+17
そ の 他	193	236	267	281	251	-30
合 計	1,196	1,403	1,605	1,480	1,562	+82